

# ウレタン塗膜防水システム プルーフロン シリーズ

【改訂第4版】

# PROOF FLON

## JIS A 6021 建築用塗膜防水材認証品

認証番号 JP0308008JP  
 (プルーフロンエコ・プルーフロンバリュー・プルーフロンエコ速乾・  
 プルーフロンエコ目止材・プルーフロンバリュー NS・プルーフロンエコNS・  
 プルーフロンエコMID・プルーフロンエコ速乾NS)

認証番号 TC 03 07 200 EBS  
 (プルーフロンQS)



登録品種	登録番号
●プルーフロンエコ	N03139
●プルーフロンエコNS	N03140
●プルーフロンエコMID	N03185
●プルーフロンバリュー	N03174
●プルーフロンバリューNS	N03181
●プルーフロンエコ速乾	N03199
●プルーフロンエコ速乾NS	N03200
●プルーフロンエコ目止材	N03201
●プルーフロンNT-F水性ボンド	N03203
●プルーフロンNT-FエコボンドH	N03184
●プルーフロンプライマー-S	N03121
●プルーフロンプライマー-U	N03124
●プルーフロンエコプライマー	N03141
●プルーフロンエコ水性プライマー	N03138
●プルーフロンGRトップフッ素	N03183
●プルーフロンGRトップ	N03122
●プルーフロンEGトップシリコンマイルド	N03177
●プルーフロンエコ水性GRトップ	N03182
●プルーフロンエコ水性トップ	N03145
●エボラ#2プライマー	N03105
●エボラ#3プライマー	N03188
●シルビア金属用プライマー-M	N03102
●NTミラクルファイラー	N03179
●NTカチオンエース	N03202





# ウレタン塗膜防水材料に最新の塗料技術を結集、大きく生まれ変わった「ブルーフロン」シリーズ。

近年、いっそうの長寿命化が求められている建築物の保全、維持には高い性能を持つ防水材料の存在が欠かせません。日本特殊塗料は建築用塗膜防水材料「ブルーフロン」シリーズを一新し、進化する高度なニーズに柔軟に対応できるウレタン塗膜防水材料システムを確立しました。

多様化する施工環境や要求性能を網羅するため、ブルーフロンのカatalogは、各種工法を主体に掲載しています。従来はウレタン塗膜防水材料を使用できなかったケースでの施工を可能にした、下地処理を必要としない機械的固定工法「PK工法」、遮熱・断熱性能の付与により、居住性の向上も実現した断熱・遮熱工法「PD工法」、集合住宅における標準的な仕様となった長尺シート+ウレタン塗膜防水材料に対応する複合法「PF工法」など、バリエーションに富んだ工法をラインアップしました。

さらに、地球環境保全に貢献する「遮熱仕様」「環境対応仕様」をはじめ、「官公庁仕様」など、多彩なニーズに応える仕様も用意しています。

また、工法を充実させるため、防水材料の製品ラインアップも一新。

鉛・クロムフリーの環境対応型で容器回収システムも備えた「ブルーフロンエコ」をはじめ、独自技術の採用※により、JIS A 6021の規格値を大きく上回る740%の伸び率を実現した汎用タイプ「ブルーフロンバリュー」、速硬化タイプで工期短縮のニーズに応える「ブルーフロンエコ速乾」、専用スプレーマシンにより、究極の工期短縮と高い塗膜性能を同時に実現した「ブルーフロンQS」など、工法との組み合わせによる仕様選択の幅がさらに広がりました。

強力な密着力と弾性に富み、高耐久性、高耐候性、特殊機能付与など優れた性能を発揮し、工法と製品の組み合わせにより、新たな提案も可能にした高品質のウレタン塗膜防水材料「ブルーフロン」シリーズ。スピーディーで美しく、しかも機能的な防水施工を約束します。

(※特許出願中)



当社の生産拠点である6工場すべてが、ISO9001(品質マネジメントシステム)およびISO14001(環境マネジメントシステムに関する国際規格)を取得しています。



▲平塚工場



▲愛知工場



▲静岡工場



▲広島工場



より速く、より美しく——。  
 確実な防水効果を実現します。



▲施工前



◀施工後



▲東九州工場



▲九州工場

製品・工法概要

3~10

防水材の製品概要 ..... ③~④  
 トップコートの製品概要 ..... ⑤~⑥  
 施工フロー ..... ⑦~⑧  
 各種工法の概要 ..... ⑨~⑩

工法案内

11~38

ブルーフロン遮熱仕様 ..... ⑪~⑫  
 ブルーフロンエコ環境対応仕様 ..... ⑬~⑭  
 官公庁仕様 ..... ⑮~⑯  
 PM工法 [密着工法] ..... ⑰~⑱  
 PG工法 [密着補強布入り工法] ..... ⑲~⑳  
 PN工法 [通気緩衝工法] ..... ㉑~㉒  
 PK工法 [機械的固定工法] ..... ㉓~㉔  
 PKD工法 [機械的固定・断熱・遮熱工法] ..... ㉕~㉖  
 PD工法 [断熱・遮熱工法] ..... ㉗~㉘  
 PS工法 [スポーツ床防水工法] ..... ㉙~㉚  
 PY工法 [金属屋根・防水・遮熱・遮音工法] ..... ㉛  
 PH工法 [保護モルタル工法] ..... ㉜  
 PP工法 [PCタンク工法] ..... ㉝  
 PF工法 [側溝・巾木・複合工法(長尺シート)] ..... ㉞  
 PO工法 [室内簡易防水工法] ..... ㉟  
 PU工法 [トップコートの塗り替え工法] ..... ㊱  
 PRV工法 [塩ビシート屋上防水材リフレッシュ工法] ..... ㊲  
 UR都市機構仕様 ..... ㊳

各部位の納まり

39~45

各部位の納まり①②③ ..... ㉿~㊱  
 脱気筒の施工 ..... ㊲

製品データ

46~50

ブルーフロンプライマー各種 ..... ㊳  
 ブルーフロン金属面用プライマー各種 ..... ㊴  
 ブルーフロン防水層各種 ..... ㊵  
 ブルーフロントップコート各種 ..... ㊶  
 ブルーフロン通気緩衝シート各種 ..... ㊷

製品性能

51

ブルーフロンシリーズ試験成績 ..... ㊸

製品荷姿

52~54

ブルーフロンシリーズ副資材一覧 ..... ㊹~㊺

製品一覧

55~58

ブルーフロンシリーズ製品一覧① ..... ㊻~㊼  
 ブルーフロンシリーズ製品一覧② ..... ㊽~㊾

# 多様なニーズに応えるための豊富な製品ラインアップ。

## ■防水材の製品概要

### ブルーフロンエコホワイト遮熱 ブルーフロンエコNSホワイト遮熱



「ブルーフロンエコ」に遮熱性能を付与した機能性ウレタン塗膜防水材です。集合住宅のベランダ、屋上、ルーフバルコニーなどを確実に防水するとともに、居住性の向上や環境改善、ヒートアイランド対策も実現します。

各種ホワイト遮熱を使用する場合は、ブルーフロンエコ専用硬化促進剤を下記表を参考に添加してください。

#### ●標準色



▲ホワイト遮熱

●比重：1.3

●荷姿：18kgセット（主剤6kg、硬化剤12kg\*）  
※通年タイプです（ブルーフロンエコ専用硬化促進剤で調整します）。



硬化促進剤の添加量 (18kgセットに対して)	気温	可使時間	次工程までの時間
0.06kg	5℃	50分	20～72時間
0.10kg		30分	16～72時間
0.03kg	10℃	50分	20～72時間
0.06kg		40分	16～72時間
添加なし	15℃	50分	20～72時間
0.03kg		40分	16～72時間
添加なし	20℃	40分	16～72時間
0.03kg		30分	14～72時間
添加なし	25℃	30分	16～72時間
0.03kg		25分	14～72時間
添加なし	30℃	25分	16～72時間
0.03kg		20分	12～72時間

●硬化促進剤は最大1%までの添加としてください。

### ブルーフロンエコ ブルーフロンエコNS



鉛・クロムフリー、非トルエン・キシレンをはじめ、厚生労働省の室内濃度指針値 14 品目を使用していない環境対応型のウレタン塗膜防水材です。高い公共性が求められる各種の施設や集合住宅など、環境対策が必要なケースでの使用に適しています。また、日本ウレタン建材工業会の「環境対応型ウレタン防水材システム」を取得し、廃材容器のリサイクル対応が可能です。

#### ●標準色



▲ニューグレー

●比重：1.3

●荷姿：18kgセット（主剤6kg、硬化剤12kg\*）  
※夏型、冬型があります。



### ブルーフロンバリュー ブルーフロンバリューNS

スタンダードタイプのウレタン塗膜防水材です。一般の屋上防水、ベランダ、側溝、ひさしなど、幅広く使用できます。

#### ●標準色



▲ニューグレー

●比重：1.4

●荷姿：20kgセット（主剤5kg、硬化剤15kg\*）  
※夏型、冬型があります。





## ブルーフロンエコ速乾 ブルーフロンエコ速乾NS



塗膜硬化性に優れたウレタン塗膜防水材です。一般屋上のほか、短い工期が求められる集合住宅の開放廊下やベランダ、または冬期の工事に最適です。特定化学物質障害予防規則に非該当で、鉛、クロム化合物、トルエン、キシレンをはじめ厚生労働省の室内濃度指針値14品目を使用していない、環境対応型のウレタン塗膜防水材です。

### ●標準色



▲ニューグレー

### ●比重: 1.3

### ●荷姿: 18kgセット (主剤6kg、硬化剤12kg\*)

※通年タイプです(促進剤で調整します)。  
促進剤の添加量は48ページをご参照ください。



●「ブルーフロンエコ速乾」「ブルーフロンエコ速乾NS」は他の防水材との組み合わせや塗り重ね、取り合いが生じた場合、付着不良が起るため同一現場で併用しないでください。「ブルーフロンエコ速乾」「ブルーフロンエコ速乾NS」の硬化を速める場合は、「ブルーフロンエコ速乾専用硬化促進剤」をご使用ください。

## ブルーフロンエコMID



鉛・クロムフリー、非トルエン・キシレンをはじめ、厚生労働省の室内濃度指針値14品目を使用していない、環境対応型のウレタン塗膜防水材です。適度な粘性があるため、側溝・巾木などに適しています。

### ●標準色



▲ニューグレー

### ●比重: 1.3

### ●荷姿: 18kgセット (主剤6kg、硬化剤12kg\*)

※夏型、冬型があります。



## ブルーフロンエコ目止材



鉛・クロムフリー、非トルエン・キシレンをはじめ、厚生労働省の室内濃度指針値14品目を使用していない、環境対応型のウレタン塗膜防水材です。パンチシートの目止めに適しています。

### ●標準色



▲ニューグレー

### ●比重: 1.3

### ●荷姿: 18kgセット (主剤6kg、硬化剤12kg\*)

※夏型、冬型があります。



## ブルーフロンQS

専用のスプレーマシンにより、10秒程度で指触乾燥、3分の初期塗膜硬化を実現させた超速硬化型のウレタン塗膜防水材です。工期を大幅に短縮するだけでなく、膜厚の確保ができるとともに、強度にも優れた美しい防水塗膜を実現します。大規模な集合住宅のベランダ、開放廊下、階段、屋上や競技スタンド、駐車場などに適しています。また、特定化学物質障害予防規則に該当しないウレタン塗膜防水材です。

### ●標準色



▲グレー U-11



▲ホワイト遮熱

### ●特注色



▲グリーン U-62



▲ベージュ U-35



▲ブラウン U-21



※別途、石油缶荷姿もあります。

### ●比重: 1.0

### ●荷姿: 390kgセット (A液182kg、B液200kg、トナー8kg) 36kgセット (A液18kg、B液18kg)

- 標準色は印刷のため、実際の色とは相違があります。ご了承ください。
- 特注色は納期に日数がかかります。
- 実際の標準色は別資料のブルーフロン標準色見本帳をご参照ください。
- 容器回収工法のリサイクルペール缶は上記荷姿とは異なり、青色ペール缶となります。
- 容器回収工法のリサイクルペール缶は受注生産品のため、事前に最寄りの営業所にて納期確認を行なってください。

## ■ トップコートの製品概要

### ブルーフロンエコ水性GRトップ 遮熱



環境に配慮した水性タイプでアクリルウレタン樹脂系の高日射反射率トップコートです。防水層の表面温度を大幅に下げる効果があり、室内へ侵入する熱を低減します。さらに、防水層の熱劣化を抑えるとともに、耐久性を向上させるトップコートです。

#### ●標準色



▲グレー



### ブルーフロンエコ水性GRトップ



環境対応とVOC削減を目指し、「ブルーフロンGRトップ」の水性タイプとして開発したアクリルウレタン樹脂塗料です。乾燥が速く、耐候性に優れた水性トップコートです。

#### ●標準色



▲グレー



▲シルバーグレー



▲グリーン



#### ●特注色



▲983ダークグレー



▲433スモークグリーン



▲883ウッドベージュ



▲885ローズブラウン

### ブルーフロンエコ水性トップ



アクリルエマルジョン樹脂を主成分とする1液水性タイプのトップコートです。無機質系骨材入り既調合タイプで適度な防滑性が得られるとともに作業性にも優れています。

#### ●標準色



▲グレー



▲グリーン



### ブルーフロン水性上塗りシルバー〈非歩行タイプ〉

特殊変成アクリルエマルジョンを使用した水性タイプのシルバー仕上げ塗料です。臭気が少なく、作業性に優れます。

#### ●標準色



▲シルバー

※実際はシルバー色となります。



### ブルーフロンEGトップ シリコンマイルド



弱溶剤型シリコン樹脂トップコートで耐候性に優れます。臭気が少なく、作業性に優れ、高光沢の仕上がりが得られます。

#### ●標準色



▲グレー



▲シルバーグレー



▲グリーン



●冬場などで粘度が高い場合はブルーフロンエコシンナーにて希釈を行ってください(塗料用シンナーAでは溶解しません)。

#### ●特注色



▲983ダークグレー



▲433スモークグリーン



▲883ウッドベージュ



▲885ローズブラウン

## ブルーフロンGRトップ 遮熱



遮熱性に優れたアクリルウレタン樹脂系の高日射反射率トップコートです。ブルーフロンエコ水性GRトップ遮熱と同様に優れた遮熱効果があり、室内に侵入する熱を低減、防水層の熱劣化を抑えます。

### ●標準色



## ブルーフロンGRトップ フッ素

フッ素樹脂の特性を生かしたウレタン塗膜防水材専用の高耐候性トップコートです。屋上やバルコニーなど、過酷な個所の防水層を酸性雨や紫外線から守り、メンテナンス周期を延長できます。

### ●標準色



## ブルーフロンGRトップ 艶消T

「ブルーフロンGRトップ」に軽量骨材を配合した艶消しタイプのトップコートです。シックな仕上がりと適度な防滑性が得られます。

### ●標準色



## ブルーフロンGRトップ

アクリルウレタン樹脂の特性を生かした標準的なトップコートです。弾力のある塗膜を形成し、耐候性に優れた高光沢の仕上がりが見られます。

### ●標準色



### ●特注色



- 標準色は印刷のため、実際の色とは相違があります。ご了承ください。
- 特注色は価格が割高になります。また、納期は受注後1週間程度となります。
- 実際の標準色は別資料のブルーフロン標準色見本帳をご参照ください。
- その他、当社のユータック標準色見本および建築外装用標準見本もご参照ください。
- 別途、トップコートとしてユータックFTも用意しています。
- 荷姿は予告なく変更する場合があります。



# 確実な防水効果のために——。

## ■ 施工フロー

### 1 素地調整



屋上防水改修施工前



清掃・突起物  
などの処理



著しい汚れは漏水に配慮し、高圧水洗浄などで除去してください。



下地処理では必要に応じ、NTカチオンタイトFなどで下地処理を行なってください。



下地処理完了

### 2 ボンドおよび通気緩衝シートの施工



接着剤(ブルーフロンNT-FエコボンドH)の施工



通気緩衝シート(ブルーフロンNT-Fシート#2)の施工



通気緩衝シートのジョイント処理(ブルーフロンNT-Fジョイントテープ)の施工



### 3 プルーフロンの施工



防水材の調合



立上がり部はNSタイプを使用するか、増粘剤を調合した平場用ウレタン防水材で施工してください。

#### 脱気筒または脱気盤の取り付け



通気緩衝工法は脱気筒、または脱気盤の設置が必要となります。

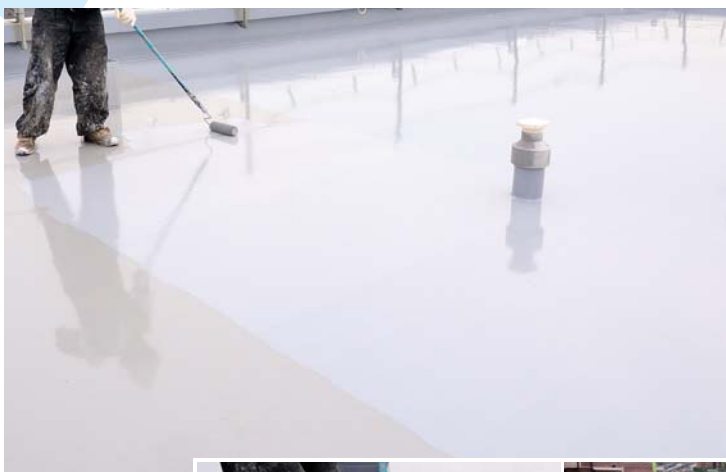


防水材の施工(1層目)



防水材の施工(2層目)

### 4 トップコートの施工



各種トップコートをローラー・刷毛で施工してください。



完成

# 多彩な工法で、さまざまな用途に対応します。

## ■各種工法の概要

### PM工法

[密着工法]

●掲載ページ……17～18

シームレスで複雑な形状にも施工できる一般的なウレタン塗膜防水材の密着工法です。

### PG工法

[密着補強布入り工法]

●掲載ページ……19～20

均一に必要な膜厚を確保できる補強布入りの密着工法です。立上がり部ではダレ下がり防止効果があります。また、防水層の補強効果もあり、下地の経年変形による破断も低減できます。

### PN工法

[通気緩衝工法]

●掲載ページ……21～22

国土交通省「公共建築工事標準仕様書」（平成22年度版）や日本建築学会 JASS8防水工事にも採用されている工法です。コンクリート下地と防水層が絶縁されているため、下地にクラックが発生しても防水層の破断が防止できます。また、下地水分が多い場合、通気緩衝シートの通気層を通して脱気装置から水分が放出されるため、防水層のフクレも防ぎます。

### PK工法

[機械的固定工法]

●掲載ページ……23～26

下地処理の必要がなく、さまざまな下地に対応できる新しい防水工法です。機械的固定のため、下地水分が多くても施工が可能です。また、既存下地のほとんどが撤去不要のため、廃材の発生も低減できます。

### PKD工法

[機械的固定・断熱・遮熱工法]

●掲載ページ……27～28

機械的固定工法(PK工法)に断熱材を組み合わせ、さらに遮熱性を付与した工法です。

### PD工法

[断熱・遮熱工法]

●掲載ページ……29～30

屋上からの熱を遮断し、室内への熱の侵入を防ぐとともに、建物の躯体を熱による劣化から長期にわたり保護します。ブルーフロンGRトップ遮熱を組み合わせることで高い耐久性が得られ、防水層をより強固に守ります。

### PS工法

[スポーツ床防水工法]

●掲載ページ……31～32

ウレタン塗膜防水材と当社のウレタン塗り床材(ユータック)を組み合わせたシームレスのスポーツ床防水工法です。密着補強布入り工法(PSG工法)と通気緩衝工法(PSN工法)があり、スポーツ施設や屋上の活用に最適な工法です。

### PY工法

[金属屋根・防水・遮熱・遮音工法]

●掲載ページ……33

勾配屋根にも施工が可能で、防水層の厚みが十分に確保できるとともに、防錆効果や雨音をやわらげる防音効果もある金属屋根専用の工法です。また、ブルーフロンGRトップ遮熱仕上げを行なうことで、室内温度の上昇も抑制できます。

## 工法記号の見方

工法記号の例：**P M - H 20 S**

用途・目的に応じた性能を付与できます。また、さまざまな組み合わせが可能です。

●ブルーフロン  
全工法共通

●工法の種類

**M**：密着工法

**MT**：密着立上がり工法

**G**：密着補強布入り工法

**GT**：密着補強布入り立上がり工法

**N**：通気緩衝工法

**K**：機械的固定工法

**D**：断熱・遮熱工法

**SG**：スポーツ床密着補強布入り工法

**SN**：スポーツ床通気緩衝工法

**KD**：機械的固定・断熱・遮熱

**Y**：金属屋根・防水・遮熱・遮音工法

**H**：保護モルタル工法

**HT**：保護モルタル立上がり工法

**P**：PCタンク工法

**F**：側溝・巾木・複合工法(長尺シート)

**O**：室内簡易防水工法

**U**：トップコートの塗り替え工法

**RV**：塩ビシート屋上防水材料  
リフレッシュ工法



## PH工法 [保護モルタル工法]

●掲載ページ……34

浴室やトイレなど、PC構造下地の水廻りに使用する保護モルタル(別途工事が必要)工法です。屋上にも施工可能です。

## PP工法 [PCタンク工法]

●掲載ページ……34

超速硬化のため、複雑な形状の場所や傾斜の大きい部分にも膜厚確保が可能な信頼性の高い工法です。また、作業の効率性も大幅に高めています。

## PF工法 [側溝・巾木複合法(長尺シート)]

●掲載ページ……35

長尺シートを使用することにより、高い防水機能、防滑機能に加え、長期にわたり建物の美観を保持します。

## PO工法 [室内簡易防水工法]

●掲載ページ……36

簡易防水工法で、さまざまな状況に応じた工法の選定ができます。また、環境対応仕様も可能なため、室内防水にも適用できます。

## PU工法 [トップコート塗り替え工法]

●掲載ページ……36

既存塗膜がウレタン塗膜防水材のケースを想定した、トップコートを塗り替える場合の工法です。

## PRV工法 [塩ビシート屋上防水材リフレッシュ工法]

●掲載ページ……37

塩ビシート防水の太陽光(紫外線)による劣化を防ぎ、屋上をお好みに応じた色相にコーディネートが可能です。

### ■ 部位による最適工法

◎：最適 ○：適

工 法	PM工法 [密着工法]	PG工法 [密着補強布入り 工法]	PN工法 [通気緩衝工法]	PK工法 PKD工法 [機械的固定工法]	PD工法 [断熱・遮熱工法]	PS工法 [スポーツ床 防水工法]	PHI工法 [保護モルタル 工法]	PFI工法 [側溝・巾木・複合 工法(長尺シート)]	PO工法 [室内簡易 防水工法]
一般屋根防水	○	◎	◎	◎	◎	◎	○		
断熱・遮熱防水	○(遮熱)	○(遮熱)	○(遮熱)	○(遮熱・断熱)	◎(遮熱・断熱)				
役物が多い屋根	○	◎							
バルコニー、 ベランダ	○	◎				◎	○	◎	○
ひさし	○	◎							
開放廊下	○(QS)					◎		◎	○
室内(トイレなど)		○				◎	◎		
室内(OAなど)	◎								◎
スポーツ床防水						◎			

※PY工法[金属屋根・防水・遮熱・遮音工法]、PP工法[PCタンク工法]、PRV工法[塩ビシート屋上防水材リフレッシュ工法]は、最寄りの営業所へお問い合わせください。

#### ● 防水層の種類

- H** : ブルーフロンエコホワイト遮熱  
ブルーフロンエコNSホワイト遮熱
- E** : ブルーフロンエコ  
ブルーフロンエコNS
- V** : ブルーフロンバリュー  
ブルーフロンバリュー NS
- S** : ブルーフロンエコ速乾  
ブルーフロンエコ速乾NS
- Q** : ブルーフロンQS
- M** : ブルーフロンエコMID

#### ● 防水層平均塗膜厚

- 15** : 1.5mm
- 20** : 2.0mm
- 30** : 3.0mm
- 40** : 4.0mm
- 50** : 5.0mm
- 60** : 6.0mm

#### ● トップコートの種類

- S** : ブルーフロンGRトップ遮熱
- F** : ブルーフロンGRトップ フッ素
- ES** : ブルーフロンEGトップ シリコンマイルド
- G** : ブルーフロンGRトップ
- T** : ブルーフロンGRトップ艶消T
- WS** : ブルーフロンエコ水性GRトップ遮熱
- WG** : ブルーフロンエコ水性GRトップ
- WE** : ブルーフロンエコ水性トップ
- WP** : ブルーフロン水性上塗シルバー
- FT** : ユータックFT

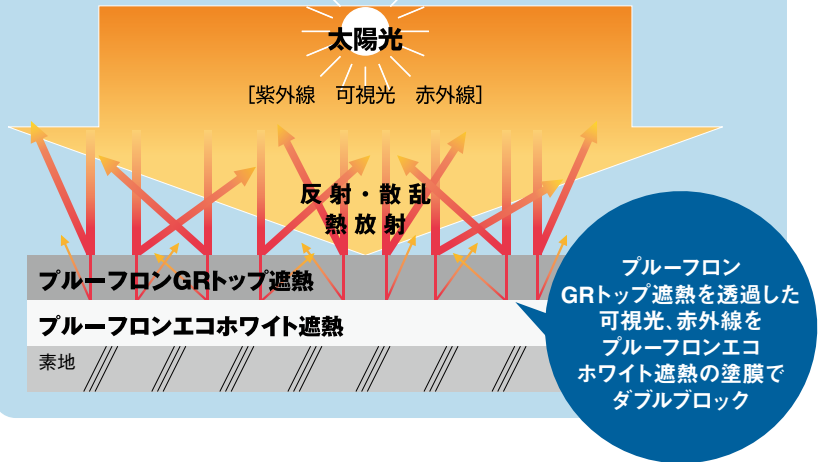
# ブルーフロン遮熱仕様

ブルーフロン遮熱仕様は屋根用遮熱塗料(高反射率塗料)「パラサーモ」をはじめとする各種の遮熱塗料で実績と経験を誇る当社が、その技術を防水システムに応用した仕様です。

ブルーフロンエコホワイト遮熱とブルーフロンGRトップ遮熱を使用することにより、ヒートアイランド対策や環境改善、省エネ効果が大きく期待できる工法です。

このように熱を遮ります。

トップコートとウレタン塗膜防水材でのダブル遮熱効果



## PM工法 [密着工法]



工法名	工程	①	②	③	④
<b>PM-H20S</b> (平均塗膜厚：2.0mm)			ブルーフロンエコ ホワイト遮熱 1.3kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ ホワイト遮熱 1.3kg/m <sup>2</sup>	
<b>PM-H30S</b> (平均塗膜厚：3.0mm)	ブルーフロン プライマーS 0.2kg/m <sup>2</sup>		ブルーフロンエコ ホワイト遮熱 2.0kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ ホワイト遮熱 1.9kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロン GRトップ遮熱 0.2kg/m <sup>2</sup>
<b>PMT-H20S</b> (立上がり) (平均塗膜厚：2.0mm)			ブルーフロンエコNS ホワイト遮熱 1.3kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコNS ホワイト遮熱 1.3kg/m <sup>2</sup>	



## PG工法 [密着補強布入り工法]



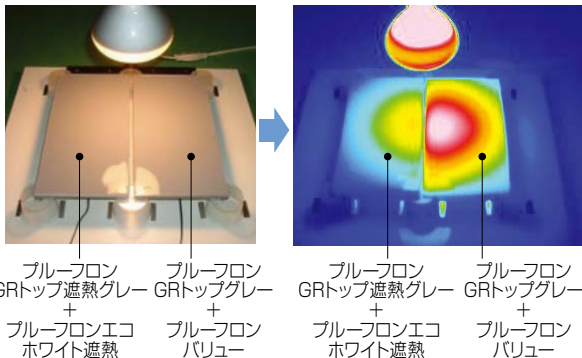
工法名	工程	①	②	③	④	⑤	⑥
<b>PG-H20S</b> (平均塗膜厚：2.0mm)			ブルーフロンエコ ホワイト遮熱 0.3kg/m <sup>2</sup>	補強布	ブルーフロンエコ ホワイト遮熱 1.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ ホワイト遮熱 1.1kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロン GRトップ遮熱 0.2kg/m <sup>2</sup>
<b>PG-H30S</b> (平均塗膜厚：3.0mm)	ブルーフロン プライマーS 0.2kg/m <sup>2</sup>		ブルーフロンエコNS ホワイト遮熱 0.3kg/m <sup>2</sup>		ブルーフロンエコ ホワイト遮熱 2.0kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ ホワイト遮熱 1.6kg/m <sup>2</sup>	
<b>PGT-H20S</b> (立上がり) (平均塗膜厚：2.0mm)					ブルーフロンエコNS ホワイト遮熱 1.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコNS ホワイト遮熱 1.1kg/m <sup>2</sup>	



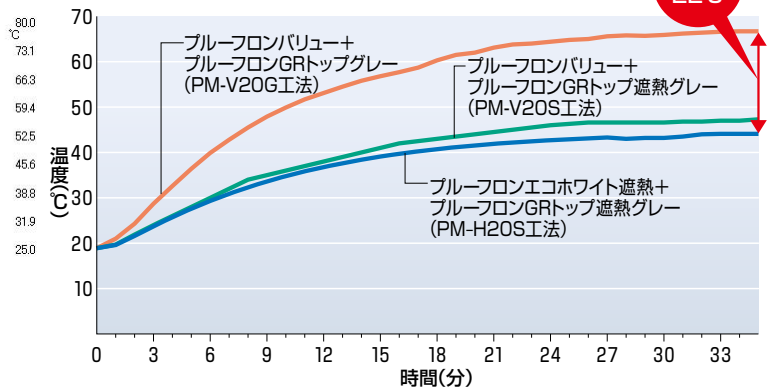


■照射試験結果

●試験用ランプを一定時間照射し、表面温度は赤外線カメラで測定しました。



●試験用ランプを用い、一定の時間照射し、スレート板裏面の温度を測定しました。



PN工法 [通気緩衝工法]



工法名	工程	①	②	③	④	⑤	⑥
PN-H20S (平均塗膜厚：2.0mm)	接着剤 (ボンドまたはプライマー)	ブルーフロン プライマー-S 0.2kg/m <sup>2</sup>	通気緩衝シート (推奨:NT-Fシート)	ブルーフロンエコ ホワイト遮熱 1.3kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ ホワイト遮熱 1.3kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロン GRトップ遮熱 0.2kg/m <sup>2</sup>	
PN-H30S (平均塗膜厚：3.0mm)				ブルーフロンエコ ホワイト遮熱 2.0kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ ホワイト遮熱 1.9kg/m <sup>2</sup>		
PGT-H20S (立上がり) (平均塗膜厚：2.0mm)		ブルーフロン プライマー-S 0.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコNS ホワイト遮熱 0.3kg/m <sup>2</sup>	補強布	ブルーフロンエコNS ホワイト遮熱 1.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコNS ホワイト遮熱 1.1kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロン GRトップ遮熱 0.2kg/m <sup>2</sup>

PK工法 [機械的固定工法]



工法名	工程	①	②	③	④	⑤	⑥
PK-H30S (平均塗膜厚：3.0mm)	※下地状況により ボンドまたは プライマー、 もしくは不要		ブルーフロンNT-F タックシートS	メカニカルアンカー	ブルーフロンエコ ホワイト遮熱 2.0kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ ホワイト遮熱 1.9kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロン GRトップ遮熱 0.2kg/m <sup>2</sup>
PGT-H20S (立上がり) (平均塗膜厚：2.0mm)	ブルーフロン プライマー-S 0.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコNS ホワイト遮熱 0.3kg/m <sup>2</sup>	補強布	ブルーフロンエコNS ホワイト遮熱 1.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコNS ホワイト遮熱 1.1kg/m <sup>2</sup>		

PD工法 [断熱・遮熱工法]



工法名	工程	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
PD-H20S (平均塗膜厚：2.0mm)	ブルーフロン NT-Fボンド 下地：0.3kg/m <sup>2</sup> 断熱シート：0.3kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロン断熱材	ブルーフロン NT-Fボンド 断熱材：0.3kg/m <sup>2</sup> NT-Fシート：0.3kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロン NT-Fシート (3mm)	ブルーフロンエコ ホワイト遮熱 1.3kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ ホワイト遮熱 1.3kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロン GRトップ遮熱 0.2kg/m <sup>2</sup>	
PD-H30S (平均塗膜厚：3.0mm)					ブルーフロンエコ ホワイト遮熱 2.0kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ ホワイト遮熱 1.9kg/m <sup>2</sup>		
PGT-H20S (立上がり) (平均塗膜厚：2.0mm)	ブルーフロン プライマー-S 0.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコNS ホワイト遮熱 0.3kg/m <sup>2</sup>	補強布	ブルーフロンエコNS ホワイト遮熱 1.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコNS ホワイト遮熱 1.1kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロン GRトップ遮熱 0.2kg/m <sup>2</sup>		

【遮熱仕様の注意事項】

- プライマーは各種選択可能です。ただし、下地の状況に応じてプライマーを選定してください(46、47ページの適合表をご参照ください)。
- 各工法の厚みは上記以外にも変更可能です。
- ブルーフロンエコ各種 ホワイト遮熱を冬期に使用する場合はブルーフロンエコ専用硬化促進剤をご使用ください。各温度と促進剤添加量は3ページの表をご参照ください。
- 必要に応じ、脱気装置の設置を行なってください。
- ブルーフロンエコホワイト遮熱以外のウレタン塗膜防水材にブルーフロンGRトップ遮熱を使用しても効果があります。ただし、本遮熱仕様と比較して遮熱性能は劣ります。

# ブルーフロンエコ環境対応仕様

地球に、周辺地域に、人に配慮したウレタン塗膜防水材「ブルーフロンエコ」

## シックハウス症候群の原因とされる物質を含みません。

シックハウス症候群は建築工事に使用された建材などから放散される有害化学物質が原因とされています。これに対して厚生労働省、文部科学省、国土交通省が規制を強化し今日に至っています。「ブルーフロンエコ」は、これら規制対象物質(14物質)と環境ホルモンの疑いのある可塑剤を使用していません。

物質	各省庁の規制			
	厚生労働省	国土交通省		文部科学省
		建築基準法	品確法	
ホルムアルデヒド	●	●	●	●
トルエン	●		○	●
キシレン	●		○	○
パラジクロロベンゼン	●			○
クロルピリホス	●	●		
エチルベンゼン	●		○	○
スチレン	●		○	○
フタル酸ジ-n-ブチル	●			
テトラデカン	●			
フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	●			
ダイアジノン	●			
アセトアルデヒド	●			
フェノブカルブ	●			
ノナール	●			
TVOC	●			

●：測定が必要 ○：必要に応じ測定

## F☆☆☆☆を取得しています。

(日本塗料工業会ホルムアルデヒド規制自主管理登録済み)

国土交通省のホルムアルデヒドの規制に合格しています。

放散分類等級	放散速度 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3\cdot\text{hr}$ )	制限
F☆☆☆☆(対象外)	5以下	制限なし
F☆☆☆☆(第3種)	5~20	面積制限
F☆☆☆☆(第2種)	20~120	面積制限
—(第1種)	120以上	使用禁止

## 鉛・クロムフリー、非トルエン・キシレンを実現しました。

シックハウス症候群を引き起こす化学物質のみならず、人体や動物に有害な鉛やクロム、トルエン、キシレンを含有していません。

## 日本ウレタン建材工業会認定品です。

日本ウレタン建材工業会が定めた「環境対応型ウレタン防水材システム」の品質と基準をクリアし、認定を取得しています。

## 「環境対応型ウレタン防水材システム」の認定を取得しています。

### ■「環境対応型ウレタン防水材システム・認定基準」(概要)

※日本ウレタン建材工業会ホームページより抜粋



日本ウレタン建材工業会  
認定品  
認定番号=NUK-05013

対象		試験項目	基準
品質基準	ウレタン防水材	JIS A 6021 全項目	試験結果がJIS A 6021の規格を満足していること またはJIS A 6021適合製品
	保護仕上塗料	耐候性	色：グレーまたは申請者の指定色 光沢保持率：平均80%以上
		耐水接着性	分類：0(カットの縁が完全に滑らかで、どの格子の目にもはがれがない)
	プライマー	耐水接着性	はく離接着強度：平均50N/25mm以上(水浸漬後) かつ いずれかの部材の材料破壊(凝集破壊)
接着剤	耐水接着性	はく離接着強度：平均40N/25mm以上(水浸漬後) または通気緩衝シートの100%材料破壊(凝集破壊)	
環境基準	溶剤	---	「労働安全衛生法施行令 別表第6-2」に規定されている溶剤を「使用していない」こと
	化学物質	---	環境省「化学物質の内分泌かく乱作用に関する環境省の今後の対応方針について-EXTEND2005-」ならびに厚生労働省「シックハウス対象物質に関する指針」(最新版)にリストアップされている物質を「使用していない」こと
	容器	---	容器の大部分が再利用又は再資源化が可能なもの

1. 防水材システムには、施工対象部位(平場・立上り等)ごとの工法を、総て試験対象とすること
2. 試験体は、全ての試験項目において公共建築協会「公共建築工事標準仕様書」における当該適用部位の仕様(X-1、X-2)により作製すること(JIS A 6021による試験を除く)
3. 環境基準における「使用していない」状態とは、配合設計意図に含まれず、製造工程上および施工時において混入しないことが確認されていることをいう



## PM工法 [密着工法]



工法名	工程	①	②	③	④
<b>PM-E20WG</b> (平均塗膜厚: 2.0mm)			ブルーフロンエコ 1.3kg/㎡	ブルーフロンエコ 1.3kg/㎡	
<b>PM-E30WG</b> (平均塗膜厚: 3.0mm)		ブルーフロンエコ 水性プライマーホワイト 0.2kg/㎡	ブルーフロンエコ 2.0kg/㎡	ブルーフロンエコ 1.9kg/㎡	ブルーフロンエコ 水性GRトップ 0.2kg/㎡
<b>PMT-E20WG</b> (立上がり) (平均塗膜厚: 2.0mm)			ブルーフロンエコNS 1.3kg/㎡	ブルーフロンエコNS 1.3kg/㎡	

注: 工程①でブルーフロンエコプライマーも使用できます。また、トップコートとしてブルーフロンEGトップシリコンマイルド、ブルーフロンエコ水性GRトップ遮熱、ブルーフロンエコ水性トップも使用できます。



## PG工法 [密着補強布入り工法]



工法名	工程	①	②	③	④	⑤	⑥
<b>PG-E20WG</b> (平均塗膜厚: 2.0mm)			ブルーフロンエコ 0.3kg/㎡		ブルーフロンエコ 1.2kg/㎡	ブルーフロンエコ 1.1kg/㎡	
<b>PG-E30WG</b> (平均塗膜厚: 3.0mm)		ブルーフロンエコ 水性プライマーホワイト 0.2kg/㎡		補強布	ブルーフロンエコ 2.0kg/㎡	ブルーフロンエコ 1.6kg/㎡	ブルーフロンエコ 水性GRトップ 0.2kg/㎡
<b>PGT-E20WG</b> (立上がり) (平均塗膜厚: 2.0mm)			ブルーフロンエコNS 0.3kg/㎡		ブルーフロンエコNS 1.2kg/㎡	ブルーフロンエコNS 1.1kg/㎡	

注: 工程①でブルーフロンエコプライマーも使用できます。また、トップコートとしてブルーフロンEGトップシリコンマイルド、ブルーフロンエコ水性GRトップ遮熱、ブルーフロンエコ水性トップも使用できます。

## PN工法 [通気緩衝工法]



工法名	工程	①	②	③	④	⑤	⑥
<b>PN-E20WG</b> (平均塗膜厚: 2.0mm)		環境対応型接着剤 (ボンドまたは プライマー)	通気緩衝シート	ブルーフロンエコ 1.3kg/㎡	ブルーフロンエコ 1.3kg/㎡	ブルーフロンエコ 水性GRトップ 0.2kg/㎡	
<b>PN-E30WG</b> (平均塗膜厚: 3.0mm)	ブルーフロンエコ 2.0kg/㎡			ブルーフロンエコ 1.9kg/㎡			
<b>PGT-E20WG</b> (立上がり) (平均塗膜厚: 2.0mm)		ブルーフロンエコ 水性プライマーホワイト 0.2kg/㎡	ブルーフロンエコNS 0.3kg/㎡	補強布	ブルーフロンエコNS 1.2kg/㎡	ブルーフロンエコNS 1.1kg/㎡	ブルーフロンエコ 水性GRトップ 0.2kg/㎡

注: トップコートとしてブルーフロンEGトップシリコンマイルド、ブルーフロンエコ水性GRトップ遮熱、ブルーフロンエコ水性トップも使用できます。

注: 接着用ボンド、プライマー、通気緩衝シートについては50ページをご参照ください。

## PK工法 [機械的固定工法]



工法名	工程	①	②	③	④	⑤	⑥
<b>PK-E30WG</b> (平均塗膜厚: 3.0mm)		※下地状況によりボンド またはプライマー もしくは不要	ブルーフロンNT-F タックシートS	メカニカルアンカー	ブルーフロンエコ 2.0kg/㎡	ブルーフロンエコ 1.9kg/㎡	ブルーフロンエコ 水性GRトップ 0.2kg/㎡
<b>PGT-E20WG</b> (立上がり) (平均塗膜厚: 2.0mm)		ブルーフロンエコ 水性プライマーホワイト 0.2kg/㎡	ブルーフロンエコNS 0.3kg/㎡	補強布	ブルーフロンエコNS 1.2kg/㎡	ブルーフロンエコNS 1.1kg/㎡	

注: トップコートとしてブルーフロンEGトップシリコンマイルド、ブルーフロンエコ水性GRトップ遮熱、ブルーフロンエコ水性トップも使用できます。

注: 接着用ボンド、プライマーは環境対応型をご使用ください(50ページをご参照ください)。

### 【環境対応仕様の注意事項】

- 各工法の厚みは上記以外にも変更可能です。
- この環境対応仕様は労働安全衛生法、特定化学物質障害予防規制とは異なりますのでご注意ください。
- 必要に応じ、脱気装置の設置を行なってください。
- 環境対応仕様の場合は液状ダレ止め剤、ウレタンゴム用硬化促進剤は使用できません。ブルーフロンエコ専用硬化促進剤、ミルコンMS-2が使用可能です(48ページをご参照ください)。
- ブルーフロンNT-FタックシートSの裏面には接着層が0.2kg/㎡コーティングされています。

# 官公庁仕様

公共建築工事標準仕様書[平成22年度版](国土交通省、文部科学省、厚生労働省、防衛省、総務省)

公共建築改修工事標準仕様書[平成22年度版]

日本建築学会 建築工事標準仕様書JASS8[2008年版]

## [ブルーフロンエコ環境対応仕様]

工法名	①	②	③	④	⑤	⑥
<b>X-1</b> (平均塗膜厚: 3.0mm)	環境対応型接着剤 (ボンドまたはプライマー)	通気緩衝シート	ブルーフロンエコ 2.0kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ 1.9kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ 水性GRトップ 0.2kg/m <sup>2</sup>	
<b>X-2</b> (平均塗膜厚: 3.0mm)	ブルーフロンエコ 水性プライマー	ブルーフロンエコ 0.3kg/m <sup>2</sup>	補強布	ブルーフロンエコ 2.0kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ 1.6kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ 水性GRトップ 0.2kg/m <sup>2</sup>
<b>X-2 立上がり用</b> (平均塗膜厚: 2.0mm)	ホワイト 0.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコNS 0.3kg/m <sup>2</sup>		ブルーフロンエコNS 1.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコNS 1.1kg/m <sup>2</sup>	

## [ブルーフロンエコ一般仕様]

工法名	①	②	③	④	⑤	⑥
<b>X-1</b> (平均塗膜厚: 3.0mm)	接着剤 (ボンドまたはプライマー)	通気緩衝シート	ブルーフロンエコ 2.0kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ 1.9kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンGRトップ 0.2kg/m <sup>2</sup>	
<b>X-2</b> (平均塗膜厚: 3.0mm)	ブルーフロン プライマーS	ブルーフロンエコ 0.3kg/m <sup>2</sup>	補強布	ブルーフロンエコ 2.0kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ 1.6kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンGRトップ 0.2kg/m <sup>2</sup>
<b>X-2 立上がり用</b> (平均塗膜厚: 2.0mm)	0.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコNS 0.3kg/m <sup>2</sup>		ブルーフロンエコNS 1.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコNS 1.1kg/m <sup>2</sup>	

## [ブルーフロンバリュー仕様]

工法名	①	②	③	④	⑤	⑥
<b>X-1</b> (平均塗膜厚: 3.0mm)	接着剤 (ボンドまたはプライマー)	通気緩衝シート	ブルーフロンバリュー 2.1kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンバリュー 2.1kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンGRトップ 0.2kg/m <sup>2</sup>	
<b>X-2</b> (平均塗膜厚: 3.0mm)	ブルーフロン プライマーS	ブルーフロンバリュー 0.4kg/m <sup>2</sup>	補強布	ブルーフロンバリュー 2.1kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンバリュー 1.7kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンGRトップ 0.2kg/m <sup>2</sup>
<b>X-2 立上がり用</b> (平均塗膜厚: 2.0mm)	0.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンバリューNS 0.4kg/m <sup>2</sup>		ブルーフロンバリューNS 1.3kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンバリューNS 1.1kg/m <sup>2</sup>	

### ■公共建築工事標準仕様書[平成22年度版]より抜粋

#### ●ウレタンゴム系塗膜防水の種別及び工程

種別	X-1		X-2	
	材料・工法	使用量 (kg/m <sup>2</sup> )	材料・工法	使用量 (kg/m <sup>2</sup> )
1	接着剤塗り、 通気緩衝シート張り	0.3	プライマー塗り	0.2
2	ウレタンゴム系防水材塗り	1.5 <sup>(注1)</sup>	ウレタンゴム系防水材塗り、 補強布張り	0.3
3	ウレタンゴム系防水材(1類) 塗り	1.5 <sup>(注1)</sup>	ウレタンゴム系防水材塗り	1.5 <sup>(注1)</sup> (0.9 <sup>(注1)</sup> )
4	仕上塗料塗り	0.2	ウレタンゴム系防水材(1類) 塗り	1.2 <sup>(注1)</sup> (0.8 <sup>(注1)</sup> )
5	—	—	仕上塗料塗り	0.2

(注)1: 表中のウレタンゴム系防水材塗りの使用量は、硬化物比重が1.0である材料の場合を示しており、硬化物比重がこれ以外の場合には所要塗膜厚を確保するように使用量を換算する。

2: 立上がり部はすべて、種別X-2とし、工程3及び工程4を( )内とする。

3: ウレタンゴム系防水材塗りについては、工程数を増やすことができる。

4: L4X工法で既存防水層の表面に層間接着用プライマーを塗布した場合は、工程1を省略する。

#### ●建築工事監理指針(平成22年度版)より抜粋

国土交通省建築工事監理指針(平成22年版)には以下の記載があるため、補強用クロスを省略することが可能となります。

#### 建築工事監理指針(平成22年度版)

##### 9章 防水工事 7節「標仕」以外の工法

##### 9.7.5 塗膜防水「標仕」以外の工法

##### (a) 高強度超速硬化ウレタンゴム系塗膜防水

(3) この工法の内、次のような塗膜強度の高い高強度超速

硬化ウレタン防水材を用いたものについては、実績も多い。

(i) 抗張積(伸びと引張応力の積)が、JIS A 6021(建築用塗膜防水材)に規定するウレタンゴム系1類の規格値(280N/mm以上)の2倍(560N/mm)以上。

(ii) 破断時の伸び率が250%以上。

(iii) 密着工法では、補強布を使用しない。

(iv) 所定量のウレタン防水材を、1工程で吹き付ける。

\*ブルーフロンQS: 抗張積 1357N/mm、破断時の伸び率 640%



## [ブルーフロンエコ速乾一般仕様]

工法名	工程	①	②	③	④	⑤	⑥
<b>X-1</b> (平均塗膜厚：3.0mm)	接着剤 (ボンドまたはプライマー)	接着剤 (ボンドまたはプライマー)	通気緩衝シート	ブルーフロンエコ速乾 2.0kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ速乾 1.9kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンGRトップ 0.2kg/m <sup>2</sup>	
<b>X-2</b> (平均塗膜厚：3.0mm)	ブルーフロン プライマー-U 0.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ速乾 0.3kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ速乾NS 0.3kg/m <sup>2</sup>	補強布	ブルーフロンエコ速乾 2.0kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ速乾 1.6kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンGRトップ 0.2kg/m <sup>2</sup>
<b>X-2 立上がり用</b> (平均塗膜厚：2.0mm)					ブルーフロンエコ速乾NS 1.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ速乾NS 1.1kg/m <sup>2</sup>	

## [ブルーフロンQS仕様]

工法名	工程	①	②	③	④	⑤	⑥
<b>X-1</b> (平均塗膜厚：3.0mm)	接着剤 (ボンドまたはプライマー)	接着剤 (ボンドまたはプライマー)	通気緩衝シート	ブルーフロンQS 1.5kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンQS 1.5kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンGRトップ 0.2kg/m <sup>2</sup>	
<b>X-2</b> (平均塗膜厚：3.0mm)	ブルーフロン プライマー-S 0.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンバリュー 0.5kg/m <sup>2</sup>	補強布	ブルーフロンQS 1.4kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンQS 1.3kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンQS 1.3kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンGRトップ 0.2kg/m <sup>2</sup>
<b>X-2 立上がり用</b> (平均塗膜厚：2.0mm)							

※補強布なしの場合【補強布なしの場合は関連公的機関と別途打ち合わせを行なってください】

<b>X-2 平場用</b> (平均塗膜厚：3.0mm)	ブルーフロン プライマー-S 0.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンQS 3.0kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンGRトップ 0.2kg/m <sup>2</sup>
<b>X-2 立上がり用</b> (平均塗膜厚：2.0mm)	ブルーフロン プライマー-S 0.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンQS 2.0kg/m <sup>2</sup>	

## 【官公庁仕様の注意事項】

- トップコートは各種選択可能です(49ページの一覧表をご参照ください)。
- 接着用ボンドと通気緩衝シートの組み合わせは50ページの適合表をご参照ください。
- プライマーは各種選択可能です。ただし、下地の状況に応じてプライマーを選定してください(46、47ページの適合表をご参照ください)。
- 必要に応じ、脱気装置の設置を行なってください。
- 各通気緩衝シートのジョイント、端末処理方法については39～45ページをご参照ください。
- ブルーフロンNT-FタックシートSの裏面には接着層が0.2kg/m<sup>2</sup>コーティングされています。
- ブルーフロンバリュー仕様の場合は立上がり工法にブルーフロンエコNSもご使用いただけます。
- ブルーフロンエコ速乾を使用する場合は、通気緩衝シートのブルーフロンNT-Fシート#2(フィルム付き)は使用できません。

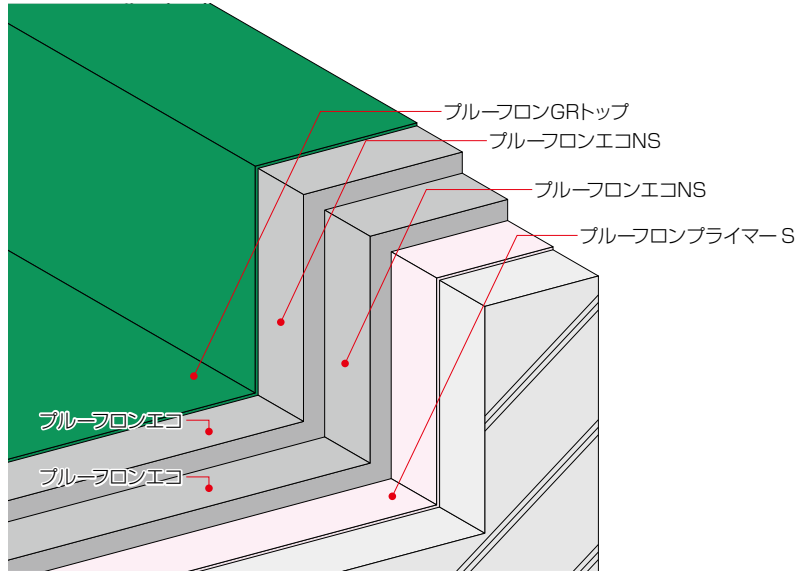
## ※類似仕様について

公的仕様	通気緩衝工法	密着工法	立上がり
公共建築工事標準仕様書	X-1	X-2	X-1立上がり、X-2立上がり
公共建築改修工事標準仕様書	POX	L4X	POX、L4X
日本建築学会JASS8防水工事	L-US	L-UF	L-US、L-UF

# PM工法 [密着工法]

PM工法は一般的なウレタン塗膜防水材の密着工法で、複雑な形状に簡単に対応し、シームレスな仕上がりが得られます。

## ● PM-E30Gの施工例



- 用途**
- ベランダ、バルコニー
  - ひさし、パラペット
  - 役物の多い屋根防水
  - 開放廊下など

### [ブルーフロンエコ一般仕様]

工法名	工程	①	②	③	④
<b>PM-E20G</b> (平均塗膜厚：2.0mm)	ブルーフロンプライマーS 0.2kg/m <sup>2</sup>		ブルーフロンエコ 1.3kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ 1.3kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンGRトップ 0.2kg/m <sup>2</sup>
<b>PM-E30G</b> (平均塗膜厚：3.0mm)			ブルーフロンエコ 2.0kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ 1.9kg/m <sup>2</sup>	
<b>PMT-E20G</b> (立上がり) (平均塗膜厚：2.0mm)			ブルーフロンエコNS 1.3kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコNS 1.3kg/m <sup>2</sup>	

### [ブルーフロンバリュー仕様]

工法名	工程	①	②	③	④
<b>PM-V20G</b> (平均塗膜厚：2.0mm)	ブルーフロンプライマーS 0.2kg/m <sup>2</sup>		ブルーフロンバリュー 1.4kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンバリュー 1.4kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンGRトップ 0.2kg/m <sup>2</sup>
<b>PM-V30G</b> (平均塗膜厚：3.0mm)			ブルーフロンバリュー 2.1kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンバリュー 2.1kg/m <sup>2</sup>	
<b>PMT-V20G</b> (立上がり) (平均塗膜厚：2.0mm)			ブルーフロンバリューNS 1.4kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンバリューNS 1.4kg/m <sup>2</sup>	

### [ブルーフロンエコ速乾一般仕様]

工法名	工程	①	②	③	④
<b>PM-S20G</b> (平均塗膜厚：2.0mm)	ブルーフロンプライマーU 0.2kg/m <sup>2</sup>		ブルーフロンエコ速乾 1.3kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ速乾 1.3kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンGRトップ 0.2kg/m <sup>2</sup>
<b>PM-S30G</b> (平均塗膜厚：3.0mm)			ブルーフロンエコ速乾 2.0kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ速乾 1.9kg/m <sup>2</sup>	
<b>PMT-S20G</b> (立上がり) (平均塗膜厚：2.0mm)			ブルーフロンエコ速乾NS 1.3kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ速乾NS 1.3kg/m <sup>2</sup>	





## [ブルーフロンQS仕様]

工法名	工程	①	②	③
<b>PM-Q20G</b> (平均塗膜厚：2.0mm)	ブルーフロンプライマーS 0.2kg/m <sup>2</sup>		ブルーフロンQS 2.0kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンGRトップ 0.2kg/m <sup>2</sup>
<b>PM-Q30G</b> (平均塗膜厚：3.0mm)			ブルーフロンQS 3.0kg/m <sup>2</sup>	
<b>PMT-Q20G</b> (立上がり) (平均塗膜厚：2.0mm)			ブルーフロンQS 2.0kg/m <sup>2</sup>	

## 【PM工法の注意事項】

- 各工法の厚みは上記以外にも変更可能です。
- トップコートは各種選択可能です(49ページの一覧表をご参照ください)。
- プライマーは各種選択可能です。ただし、下地の状況に応じてプライマーを選定してください(46、47ページの適合表をご参照ください)。
- 必要に応じ、脱気装置の設置を行なってください。
- 作業手順は一般施工仕様書をご参照ください。
- 立上がり工法には、平場用に各種増粘剤(48ページ参照)を添加して使用可能です(ブルーフロンQS仕様は液状ダレ止め剤は不要です)。
- ブルーフロンバリュー仕様の場合は、立上がり工法にブルーフロンエコNSもご使用いただけます。

## 塗 布 量 工 法

## PM-VW工法 密着塗布量[ブルーフロンバリュー仕様]

工法の防水層の種類の下にWの記号を付けるとm<sup>2</sup>に対する塗布量工法となります。

**W2.5**=2.5kg/m<sup>2</sup> **W3.0**=3.0kg/m<sup>2</sup> **W3.5**=3.5kg/m<sup>2</sup> **W4.0**=4.0kg/m<sup>2</sup>

工法名	工程	①	②	③	④
<b>PM-VW2.5G</b>	ブルーフロン プライマーS 0.2kg/m <sup>2</sup>		ブルーフロンバリュー 1.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンバリュー 1.3kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンGRトップ 0.2kg/m <sup>2</sup>
<b>PM-VW3.0G</b>			ブルーフロンバリュー 1.5kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンバリュー 1.5kg/m <sup>2</sup>	
<b>PM-VW3.5G</b>			ブルーフロンバリュー 1.7kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンバリュー 1.8kg/m <sup>2</sup>	
<b>PM-VW4.0G</b>			ブルーフロンバリュー 2.0kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンバリュー 2.0kg/m <sup>2</sup>	
<b>PMT-VW2.5G</b> (立上がり)	ブルーフロン プライマーS 0.2kg/m <sup>2</sup>		ブルーフロンバリューNS 1.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンバリューNS 1.3kg/m <sup>2</sup>	
<b>PMT-VW3.0G</b> (立上がり)			ブルーフロンバリューNS 1.5kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンバリューNS 1.5kg/m <sup>2</sup>	
<b>PMT-VW3.5G</b> (立上がり)			ブルーフロンバリューNS 1.7kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンバリューNS 1.8kg/m <sup>2</sup>	

## 【PM-VW工法の注意事項】

- 各工法の厚みは上記以外にも変更可能です。
- トップコートは各種選択可能です(49ページの一覧表をご参照ください)。
- プライマーは各種選択可能です。ただし、下地の状況に応じてプライマーを選定してください(46、47ページの適合表をご参照ください)。
- 必要に応じ、脱気装置の設置を行なってください。
- 作業手順は一般施工仕様書をご参照ください。
- 立上がり工法には、平場用に液状ダレ止め剤を添加して使用可能です。

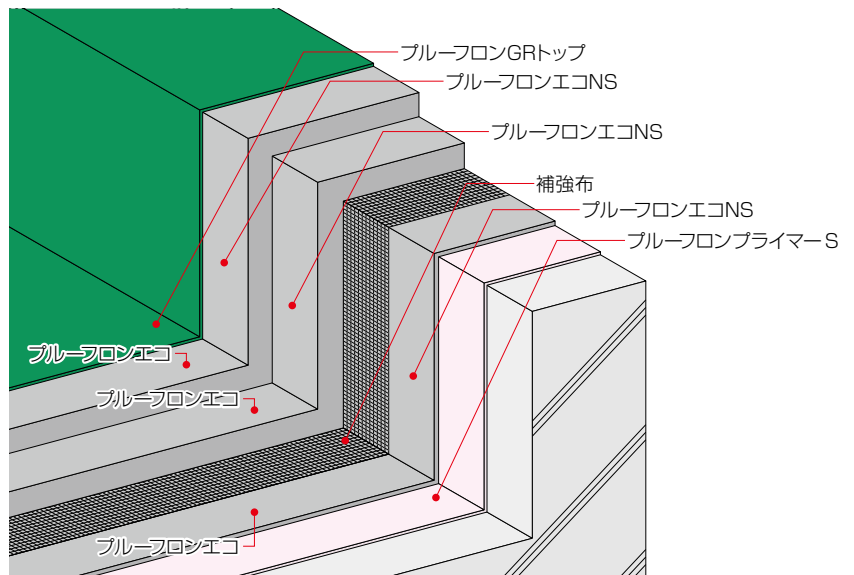


# PG工法 [密着補強布入り工法]

PG工法は均一に必要な膜厚を確保できる密着補強布入りの工法です。立上がり部ではダレ下がり防止効果があります。また、防水層の補強効果もあり、下地の経年変形による防水層の破断も抑制できます。

- 用途**
- 一般屋上
  - 役物の多い屋根防水
  - バルコニー、ベランダ
  - ひさし、パラペット
  - 入隅、出隅など

## ● PG-E30G の施工例



### [ブルーフロンエコ一般仕様]

工法名	工程	①	②	③	④	⑤	⑥
<b>PG-E20G</b> (平均塗膜厚：2.0mm)	ブルーフロンプライマー-S 0.2kg/m <sup>2</sup>		ブルーフロンエコ 0.3kg/m <sup>2</sup>	補強布	ブルーフロンエコ 1.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ 1.1kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンGRトップ 0.2kg/m <sup>2</sup>
<b>PG-E30G</b> (平均塗膜厚：3.0mm)					ブルーフロンエコ 2.0kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ 1.6kg/m <sup>2</sup>	
<b>PGT-E20G</b> (立上がり) (平均塗膜厚：2.0mm)					ブルーフロンエコNS 0.3kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコNS 1.2kg/m <sup>2</sup>	

### [ブルーフロンバリュー仕様]

工法名	工程	①	②	③	④	⑤	⑥
<b>PG-V20G</b> (平均塗膜厚：2.0mm)	ブルーフロンプライマー-S 0.2kg/m <sup>2</sup>		ブルーフロンバリュー 0.4kg/m <sup>2</sup>	補強布	ブルーフロンバリュー 1.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンバリュー 1.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンGRトップ 0.2kg/m <sup>2</sup>
<b>PG-V30G</b> (平均塗膜厚：3.0mm)					ブルーフロンバリュー 2.1kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンバリュー 1.7kg/m <sup>2</sup>	
<b>PGT-V20G</b> (立上がり) (平均塗膜厚：2.0mm)					ブルーフロンバリューNS 0.4kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンバリューNS 1.3kg/m <sup>2</sup>	

### [ブルーフロンエコ速乾一般仕様]

工法名	工程	①	②	③	④	⑤	⑥
<b>PG-S20G</b> (平均塗膜厚：2.0mm)	ブルーフロンプライマー-U 0.2kg/m <sup>2</sup>		ブルーフロンエコ速乾 0.3kg/m <sup>2</sup>	補強布	ブルーフロンエコ速乾 1.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ速乾 1.1kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンGRトップ 0.2kg/m <sup>2</sup>
<b>PG-S30G</b> (平均塗膜厚：3.0mm)					ブルーフロンエコ速乾 2.0kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ速乾 1.6kg/m <sup>2</sup>	
<b>PGT-S20G</b> (立上がり) (平均塗膜厚：2.0mm)					ブルーフロンエコ速乾NS 0.3kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ速乾NS 1.2kg/m <sup>2</sup>	

### [PG工法の注意事項]

- 各工法の厚みは上記以外にも変更可能です。
- トップコートは各種選択可能です(49ページの一覧表をご参照ください)。
- プライマーは各種選択可能です。ただし、下地の状況に応じてプライマーを選定してください(46,47ページの適合表をご参照ください)。
- 必要に応じ、脱気装置の設置を行なってください。
- 作業手順は一般施工仕様書をご参照ください。
- 立上がり工法には、平場用に各種増粘剤(48ページ参照)を添加して使用可能です。
- ブルーフロンバリュー仕様の場合は立上がり工法にブルーフロンエコNSもご使用いただけます。





**塗 布 量 工 法**

**PG-VW工法 密着補強布塗布量 [ブルーフロンバリュー仕様]**

工法の防水層の種類の下にWの記号を付けると㎡に対する塗布量工法となります。

**W2.5**=2.5kg/㎡ **W3.0**=3.0kg/㎡ **W3.5**=3.5kg/㎡ **W4.0**=4.0kg/㎡

工法名	工程	①	②	③	④	⑤	⑥
<b>PG-VW2.5G</b>		ブルーフロンプライマー S 0.2kg/㎡	ブルーフロンバリュー 0.4kg/㎡	補強布	ブルーフロンバリュー 1.1kg/㎡	ブルーフロンバリュー 1.0kg/㎡	ブルーフロンGRトップ 0.2kg/㎡
<b>PG-VW3.0G</b>					ブルーフロンバリュー 1.3kg/㎡	ブルーフロンバリュー 1.3kg/㎡	
<b>PG-VW3.5G</b>					ブルーフロンバリュー 1.6kg/㎡	ブルーフロンバリュー 1.5kg/㎡	
<b>PG-VW4.0G</b>					ブルーフロンバリュー 1.8kg/㎡	ブルーフロンバリュー 1.8kg/㎡	
<b>PGT-VW2.5G (立上がり)</b>	ブルーフロンプライマー S 0.2kg/㎡	ブルーフロンバリュー-NS 0.4kg/㎡	補強布	ブルーフロンバリュー-NS 1.1kg/㎡	ブルーフロンバリュー-NS 1.0kg/㎡	ブルーフロンGRトップ 0.2kg/㎡	
<b>PGT-VW3.0G (立上がり)</b>				ブルーフロンバリュー-NS 1.5kg/㎡	ブルーフロンバリュー-NS 1.1kg/㎡		
<b>PGT-VW3.5G (立上がり)</b>				ブルーフロンバリュー-NS 1.6kg/㎡	ブルーフロンバリュー-NS 1.5kg/㎡		

**[PG-VW工法の注意事項]**

- 各工法の厚みは上記以外にも変更可能です。
- トップコートは各種選択可能です(49ページの一覧表をご参照ください)。
- プライマーは各種選択可能です。ただし、下地の状況に応じてプライマーを選定してください(46,47ページの適合表をご参照ください)。
- 必要に応じ、脱気装置の設置を行なってください。
- 作業手順は一般施工仕様書をご参照ください。
- 立上がり工法には、平場用に各種増粘剤(48ページ参照)を添加して使用可能です。

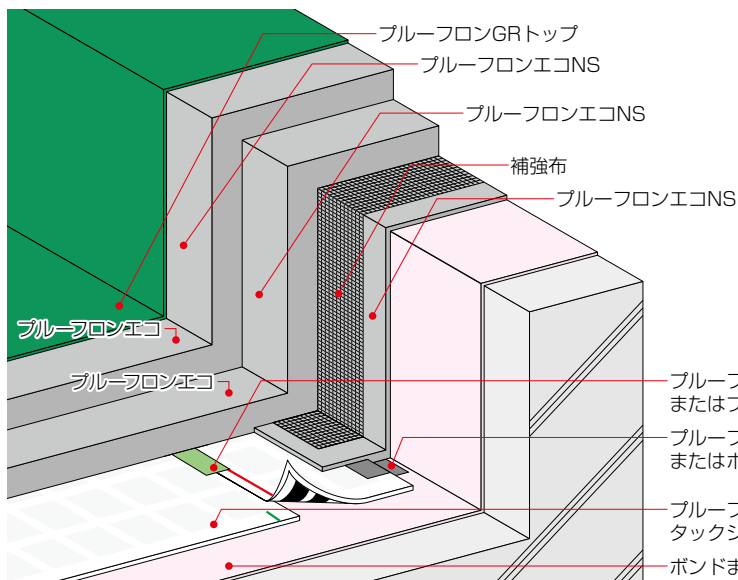


# PN工法 [通気緩衝工法]

PN工法は屋根防水に最適な通気緩衝シートを用いた防水工法で、長期にわたる防水性能があります。下地の動きに対応でき、下地の水分を拡散して脱気筒から放出し、防水層のフクレ防止を実現した工法です。

**用途** ●一般屋上  
など

## ●PN-E30Gの施工例(ブルーフロンNT-FタックシートS)



## ●ブルーフロンNT-FタックシートSの特長

ブルーフロンNT-FタックシートSはガラス補強布と改質アスファルトの積層構造からなり、強靱で寸法安定性に優れた基材を用いた通気緩衝シートです。また、シート表面を特殊フィルムで加工することにより、水のしみ込みリスクを低減し、ウレタン防水材料を施工するまでの間の突如の降雨への対策が可能です。特殊フィルムは防水層との密着がよく、プライマーなしでのウレタン塗膜防水材料の施工が可能です。ブルーフロンNT-FタックシートSの重ね部は赤いラインが上となります。



## [ブルーフロンエコ一般仕様]

工法名	工程	①	②	③	④	⑤	⑥
<b>PN-E20G</b> (平均塗膜厚：2.0mm)	接着剤 (ボンドまたはプライマー)	通気緩衝シート		ブルーフロンエコ 1.3kg/㎡	ブルーフロンエコ 1.3kg/㎡	ブルーフロンGRトップ 0.2kg/㎡	
<b>PN-E30G</b> (平均塗膜厚：3.0mm)				ブルーフロンエコ 2.0kg/㎡	ブルーフロンエコ 1.9kg/㎡		
<b>PGT-E20G (立上がり)</b> (平均塗膜厚：2.0mm)	ブルーフロンプライマーS 0.2kg/㎡	ブルーフロンエコNS 0.3kg/㎡	補強布	ブルーフロンエコNS 1.2kg/㎡	ブルーフロンエコNS 1.1kg/㎡	ブルーフロンGRトップ 0.2kg/㎡	

## [ブルーフロンバリュー仕様]

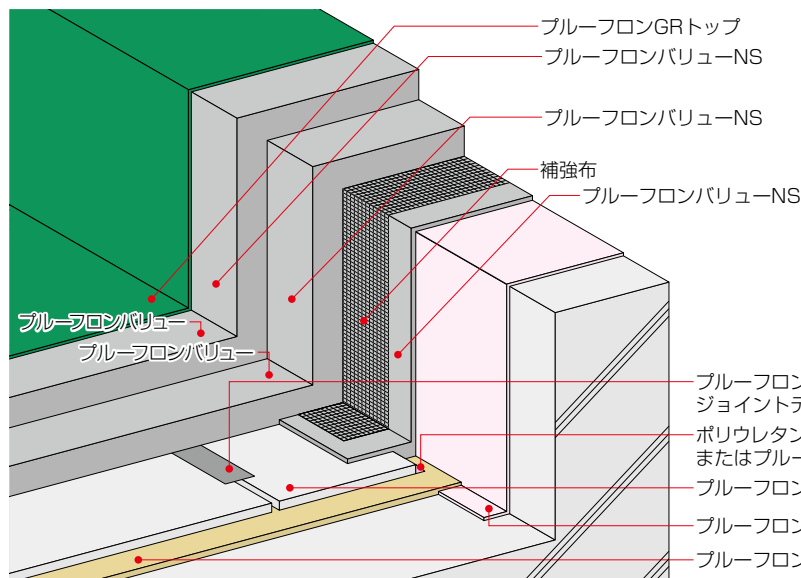
工法名	工程	①	②	③	④	⑤	⑥
<b>PN-V20G</b> (平均塗膜厚：2.0mm)	接着剤 (ボンドまたはプライマー)	通気緩衝シート		ブルーフロンバリュー 1.4kg/㎡	ブルーフロンバリュー 1.4kg/㎡	ブルーフロンGRトップ 0.2kg/㎡	
<b>PN-V30G</b> (平均塗膜厚：3.0mm)				ブルーフロンバリュー 2.1kg/㎡	ブルーフロンバリュー 2.1kg/㎡		
<b>PGT-V20G (立上がり)</b> (平均塗膜厚：2.0mm)	ブルーフロンプライマーS 0.2kg/㎡	ブルーフロンバリューNS 0.4kg/㎡	補強布	ブルーフロンバリューNS 1.3kg/㎡	ブルーフロンバリューNS 1.1kg/㎡	ブルーフロンGRトップ 0.2kg/㎡	

## [ブルーフロンエコでパンチシートを使用した場合の一般仕様]

工法名	工程	①	②	③	④	⑤	⑥
<b>PN-E30G</b> (平均塗膜厚：3.0mm)	ブルーフロンNT-FエコボンドH	ブルーフロンNT-Fパンチシート	ブルーフロンエコ目止材 1.3kg/㎡	ブルーフロンエコ 1.5kg/㎡	ブルーフロンエコ 1.4kg/㎡	ブルーフロンGRトップ 0.2kg/㎡	
<b>PGT-E20G (立上がり)</b> (平均塗膜厚：2.0mm)	ブルーフロンプライマーS 0.2kg/㎡	ブルーフロンエコNS 0.3kg/㎡	補強布	ブルーフロンエコNS 1.2kg/㎡	ブルーフロンエコNS 1.1kg/㎡	ブルーフロンGRトップ 0.2kg/㎡	



●PN-V30Gの施工例(ブルーフロンNT-Fシート)



●ブルーフロンNT-Fシート(ブルーフロンNT-Fシート#2、ブルーフロンNT-Fパンチシート)の特長  
ブルーフロンNT-Fシートは繊維マットを主成分としているため伸びがあり、下地の動きに対し、対応能力に優れた通気緩衝シートです。



[ブルーフロンエコ速乾一般仕様]

工法名	工程	①	②	③	④	⑤	⑥
<b>PN-S20G</b> (平均塗膜厚：2.0mm)	接着剤 (ボンドまたはプライマー)	通気緩衝シート	ブルーフロンエコ速乾 1.3kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ速乾 1.3kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンGRトップ 0.2kg/m <sup>2</sup>		
<b>PN-S30G</b> (平均塗膜厚：3.0mm)							
<b>PGT-S20G</b> (立上がり) (平均塗膜厚：2.0mm)	ブルーフロン プライマー-U 0.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ速乾NS 0.3kg/m <sup>2</sup>	補強布	ブルーフロンエコ速乾NS 1.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ速乾NS 1.1kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンGRトップ 0.2kg/m <sup>2</sup>	

注：ブルーフロンNT-Fシート#2(フィルム付き)との組み合わせはできません。

[ブルーフロンQS一般仕様]

工法名	工程	①	②	③	④
<b>PN-Q20G</b> (平均塗膜厚：2.0mm)	接着剤 (ボンドまたはプライマー)	通気緩衝シート		ブルーフロンQS 2.0kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンGRトップ 0.2kg/m <sup>2</sup>
<b>PN-Q30G</b> (平均塗膜厚：3.0mm)				ブルーフロンQS 3.0kg/m <sup>2</sup>	
<b>PMT-Q20G</b> (立上がり) (平均塗膜厚：2.0mm)	ブルーフロンプライマー-S 0.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンQS 2.0kg/m <sup>2</sup>		ブルーフロンGRトップ 0.2kg/m <sup>2</sup>	

[PN工法の注意事項]

- 各工法の厚みは上記以外にも変更可能です。
- トップコートは各種選択可能です(49ページの一覧表をご参照ください)。
- 接着用ボンドの塗布量は、50ページの一覧表をご参照ください。
- 接着用ボンドと通気緩衝シートの組み合わせは、50ページの適合表をご参照ください。
- プライマーは各種選択可能です。ただし、下地の状況に応じてプライマーを選定してください(46、47ページの適合表をご参照ください)。
- 必要に応じ、脱気装置の設置を行なってください。
- 各通気緩衝シートのジョイント、端末処理方法については39～45ページをご参照ください。
- 作業手順は一般施工仕様書をご参照ください。
- 立上がり工法には、平場用に各種増粘剤(48ページ参照)を添加して使用可能です。
- 通気緩衝シート(ブルーフロンNT-Fシート、ブルーフロンNT-Fシート#2、ブルーフロンNT-Fパンチシート)を張り付ける際に降雨にあいまずとシートに水分を含むこととなります。必ずウレタン塗膜防水材1層目を施工し、雨仕舞いを行なったうえで作業を終了してください。また、ブルーフロンNT-FタックシートS、ブルーフロンNT-Fシート#2(フィルム付き)についてもシート端部の雨仕舞いを行なってください。
- ブルーフロンNT-FタックシートSの重ね部は赤いラインが上となります。
- ブルーフロンバリュース仕様の場合は、立上がり工法にブルーフロンエコNSもご使用いただけます。
- ブルーフロンNT-FタックシートSの裏面には接着層が0.2kg/m<sup>2</sup>コーティングされています。
- ブルーフロンNT-Fパンチシートにブルーフロンエコ目止材を使用した場合、ブルーフロンエコ速乾は使用できません。





## [ブルーフロンエコ一般仕様]

工法名	工程	①	②	③	④	⑤	⑥
<b>PK-E30G</b> (平均塗膜厚: 3.0mm)		※下地状況により ボンドまたはプライマー もしくは不要	ブルーフロンNT-F タックシートS	メカニカルアンカー	ブルーフロンエコ 2.0kg/㎡	ブルーフロンエコ 1.9kg/㎡	ブルーフロンGRトップ 0.2kg/㎡
<b>PGT-E20G</b> (立上がり) (平均塗膜厚: 2.0mm)		ブルーフロン プライマーS 0.2kg/㎡	ブルーフロンエコNS 0.3kg/㎡	補強布	ブルーフロンエコNS 1.2kg/㎡	ブルーフロンエコNS 1.1kg/㎡	

## [ブルーフロンバリュー仕様]

工法名	工程	①	②	③	④	⑤	⑥
<b>PK-V30G</b> (平均塗膜厚: 3.0mm)		※下地状況により ボンドまたはプライマー もしくは不要	ブルーフロンNT-F タックシートS	メカニカルアンカー	ブルーフロンバリュー 2.1kg/㎡	ブルーフロンバリュー 2.1kg/㎡	ブルーフロンGRトップ 0.2kg/㎡
<b>PGT-V20G</b> (立上がり) (平均塗膜厚: 2.0mm)		ブルーフロン プライマーS 0.2kg/㎡	ブルーフロンバリューNS 0.4kg/㎡	補強布	ブルーフロンバリューNS 1.3kg/㎡	ブルーフロンバリューNS 1.1kg/㎡	

## [ブルーフロンQS仕様]

工法名	工程	①	②	③	④	⑤
<b>PK-Q30G</b> (平均塗膜厚: 3.0mm)		※下地状況により ボンドまたはプライマー もしくは不要	ブルーフロンNT-F タックシートS	メカニカルアンカー	ブルーフロンQS 3.0kg/㎡	ブルーフロンGRトップ 0.2kg/㎡
<b>PMT-Q20G</b> (立上がり) (平均塗膜厚: 2.0mm)		ブルーフロン プライマーS 0.2kg/㎡	ブルーフロンQS 2.0kg/㎡	ブルーフロンGRトップ 0.2kg/㎡		

## [PK工法の注意事項]

- 各工法の厚みは上記以外にも変更可能です。
- トップコートは各種選択可能です(49ページの一覧表をご参照ください)。
- プライマーは各種選択可能です。ただし、下地の状況に応じてプライマーを選定してください(46、47ページの適合表をご参照ください)。
- 必要に応じ、脱気装置の設置を行なってください。
- ブルーフロンNT-FタックシートSの重ね部は赤いラインが上となります。
- 下地の状態やALC下地の場合など、現地で測定したメカニカルアンカーの引き抜き強度が充分でない場合は別途、最寄りの営業所へお問い合わせください。
- PK工法はメカニカルアンカーを用いた特殊な工法となります。防水層の厚みが薄い場合、メカニカルアンカーの跡が目立ちやすいため、防水層の膜厚は3mm厚以上を必ず確保してください。
- ブルーフロンNT-FタックシートSのジョイント、端末処理方法については26、39～45ページをご参照ください。
- メカニカルアンカーの取り付け方法については23、25、26ページをご参照ください。
- 作業手順は一般施工仕様書をご参照ください。
- 立上がり工法には、平場用に増粘剤(48ページ参照)を添加して使用可能です(ブルーフロンQS仕様は増粘剤は不要です)。
- ブルーフロンバリュー仕様の場合は、立上がり工法にブルーフロンエコNSもご使用いただけます。

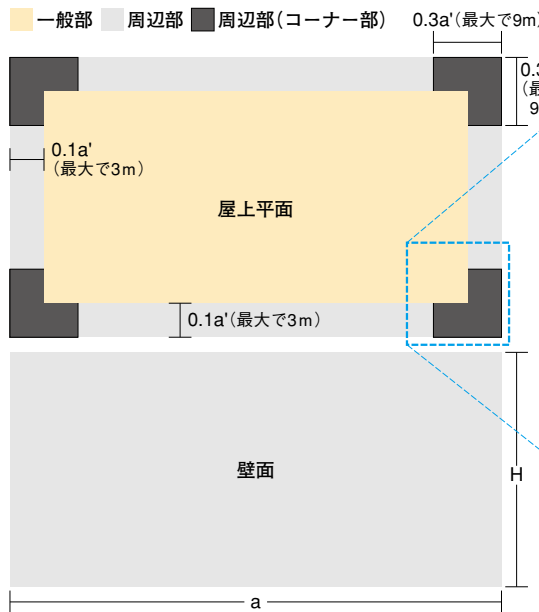


# ブルーフロンPK工法耐風圧性について (標準アンカーピン固定数と割付)

ブルーフロンPK工法は機械的固定ですので強風により、防水層が飛ばされないようにするために適切な割付によるアンカーピンの固定が必要です。

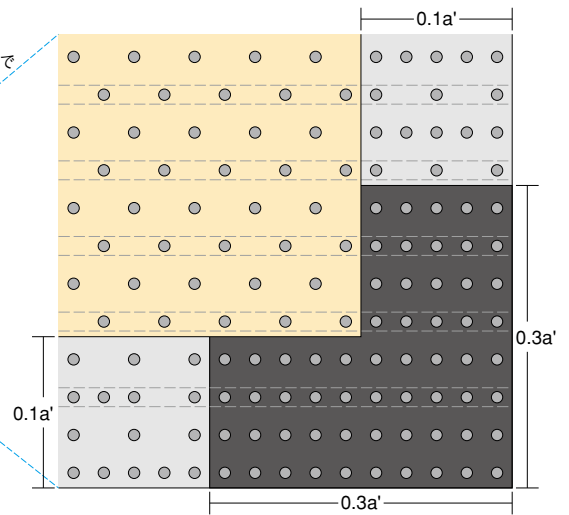
## ●屋根面にかかる風圧力

屋上で風が吹いたときには、防水層を上引き上げる力が働きます。その力は屋根面の部位により、強さが異なります。力の強さは一般部<周辺部<コーナー部の順に風圧が強くなります。したがって、部位によって必要なメカニカルアンカーピンの割付数が異なります。



H : 建築物の高さと軒の高さの平均(m)  
a' : 平面の短辺長さ(a)とHの2倍の数値のうち、いずれか小さい数値 (ただし、30mを超える場合は、30mとする)

## ●メカニカルアンカーピンの割付図(代表例)



### 【アンカー標準固定数】

- 一般部 : 2.2個/㎡
- 周辺部 : 3.2個/㎡
- コーナー部 : 4.3個/㎡

基準風速の強い地域や海岸沿い、高層の建物など、強風にさらされる建物では風圧力が増加するため、標準固定数では十分な安全率が確保できない場合がありますので、最寄りの営業所へご相談ください。

## ●ブルーフロンPK工法の耐風圧性

ブルーフロンPK工法は耐風圧計算に基づき、最適な割付数量を設定しています。

### ■耐風圧性の計算

建築基準法・建築基準法施工令(第82条の5)・告示(平12建告第1454号・1458号)「屋根ふき材および野外に面する帳壁の風圧に対する構造体力上の安全性を確めるため構造計算の基準を定める件」に基づき、下記設定条件において耐風圧性能の計算を行ないます。

#### ●設定条件

耐風圧性を計算する際の標準的なモデルを設定します。

- 建物の高さ(H) : 30m
- 勾配 : 1 / 100
- 建物の短辺方向の長さ(a) : 50m
- 地表面粗度区分 : Ⅲ (標準的な地域が該当)

#### ●風圧力の計算方法

屋根にかかる風圧力は平成12年建設省告示1458号に定める計算式により求められます。

$$W = q \times C_f$$

W:風圧力(N/㎡) q:平均速度圧(N/㎡) C<sub>f</sub>:ピーク風圧係数

平均速度圧は次式で求められます。

$$q = 0.6 \times E_r \times V_o^2$$

E<sub>r</sub>=平均速度の高さ方向の分布を表す係数 V<sub>o</sub>=基準風速

基準風速は、全国の市町村単位で細かく分類し、その土地で吹く風の基準として30~46mの8段階に分類されています。代表例として、基準風速38m/sを用いて風圧力を計算します。

#### ●風圧力の計算結果

	固定力 N/㎡(A)
一般部	-2,118
周辺部	-2,710
コーナー部	-3,642

#### ●メカニカルアンカー引き抜き強度

モルタル	
埋め込み深さ(mm)	30
強度(N/本)	2,450N

\*標準モルタル下地となります。

#### ●ブルーフロンPK工法の安全率

	風圧力の計算結果 固定力 N/㎡(A)	下地モルタル面		風速38m/sの場合の 安全率B÷A×100
		アンカー本数/㎡	固定力 N/㎡(B)	
一般部	-2,118	2.2本	5,390N	254%
周辺部	-2,710	3.2本	7,840N	289%
コーナー部	-3,642	4.2本	10,535N	289%

### ■ブルーフロンPK工法の安全率

※必要な耐風圧力は一般的に対象建物の風圧力に対し、2倍の安全率をみています。

※施行面(屋上)は、一般部、周辺部、コーナー部に分類されます。それぞれの係数に応じて、㎡当たりの使用固定金具数の計算が必要となります。

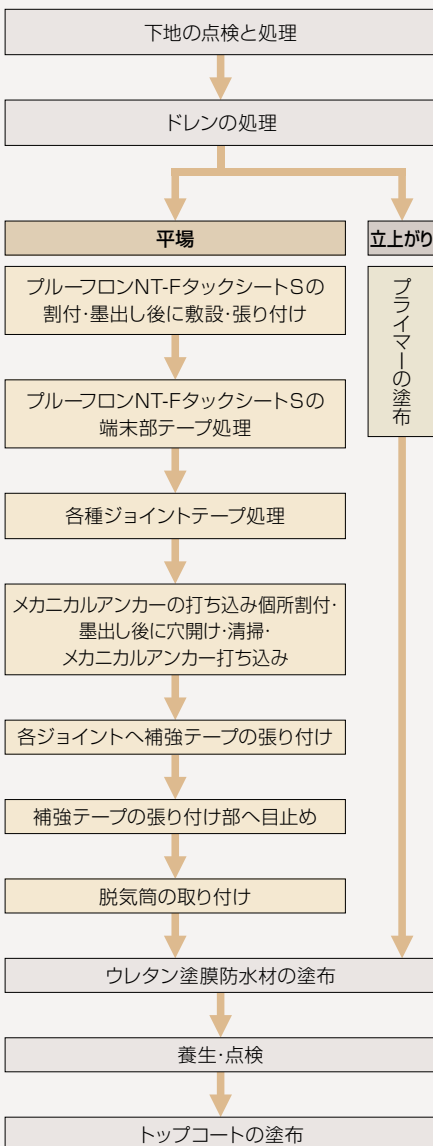
お問い合わせの際は「下地種類」「地方の区分」「地表面粗度区分」「建築物の高さ、幅」「現場下地のアンカー引き抜き強度」などの情報をご用意ください。

#### ●地表面粗度区分

- I : 海上のようなほとんど障害物の無い平坦地。  
(例) 海岸地帯、海上
- II : 田園地帯や草原のような農作物程度の障害物がある平坦地。  
(例) 田園地帯、沿岸地帯、飛行場
- III : 樹木・低層建築物が密集、もしくは中層建築物が散在する地域。  
(例) 森林地帯、工場地帯、都市周辺の住宅地
- IV : 中・高層建築物が主となる市街地。  
(例) 中高層市街地、中小都市



### ● 施工チャート



#### ■ ブルーフロンNT-FタックシートSのジョイント処理方法

● 短手・長手方向ともに各種ジョイントテープ張り付け後に所定の箇所へメカニカルアンカーを打ち込み、そのアンカー座金を覆うようにブルーフロン補強テープを張ります(2枚張り)。

※ブルーフロン補強テープを張り付け後、ウレタン塗膜防水材料+液状ダレ止め剤、またはウレタン塗膜防水材料立上がり用を塗布します。

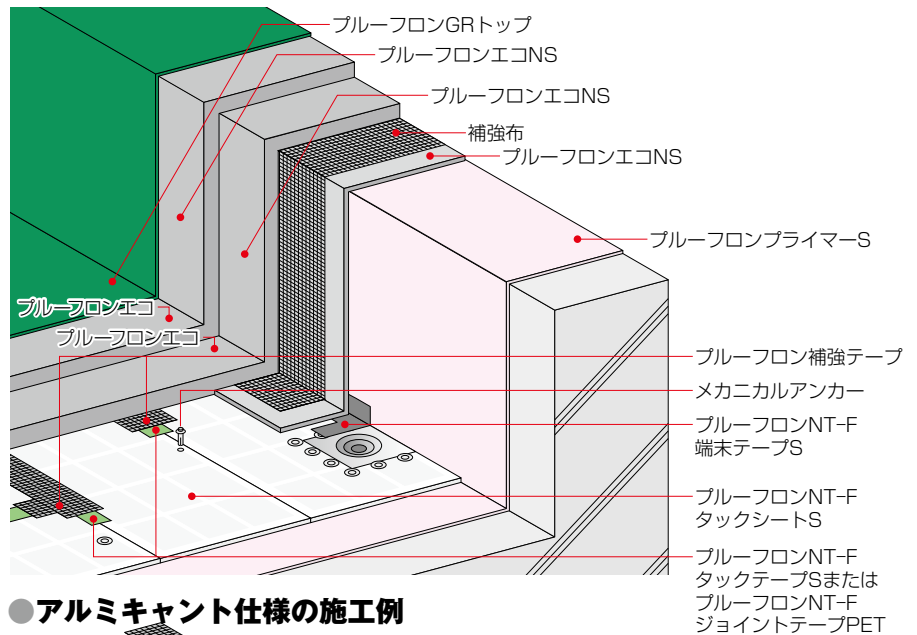
#### ■ ブルーフロンNT-FタックシートSの端末処理方法

● 末端になる部分はブルーフロンNT-F端末テープSをメカニカルアンカー、または押さえ金物に被るように張り付けしてください。

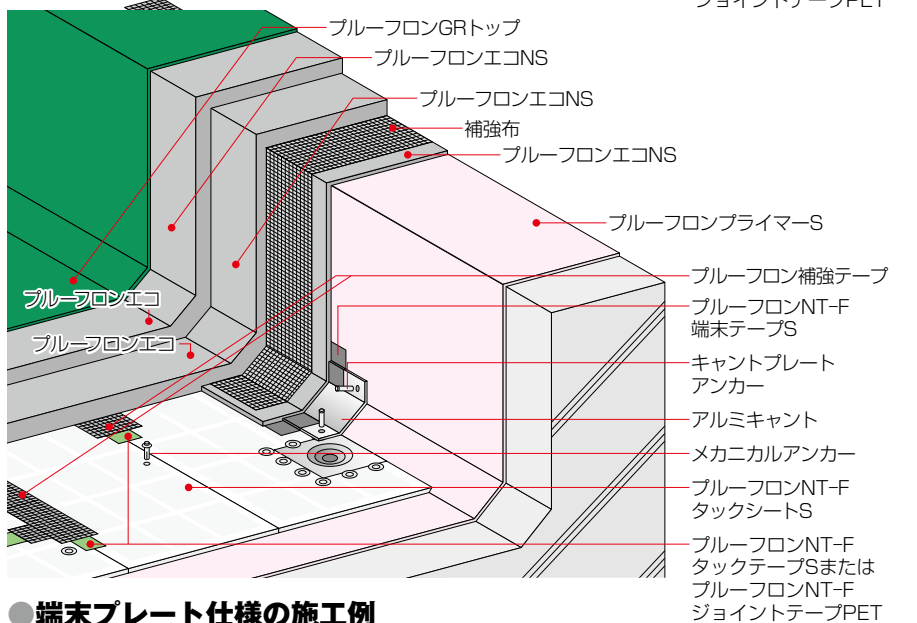
#### ■ メカニカルアンカー座金処理方法

● メカニカルアンカー座金部分へ補強テープが被らない座金露出部分は、ウレタン塗膜防水材料+液状ダレ止め剤、またはウレタン塗膜防水材料立上がり用、またはウレタンシーリング材を塗布し、補強塗布を行なってください。

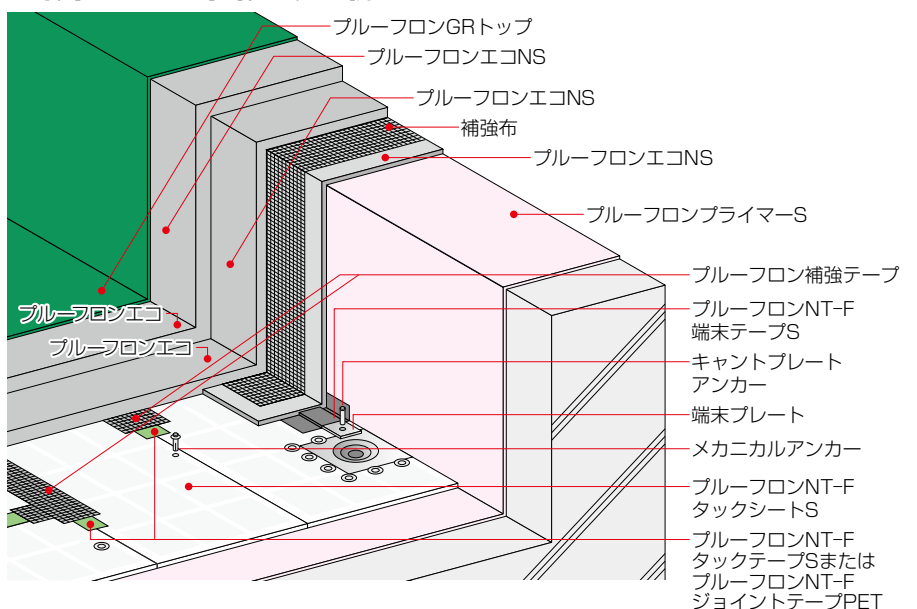
### ● 標準仕様の施工例



### ● アルミキャスト仕様の施工例



### ● 端末プレート仕様の施工例

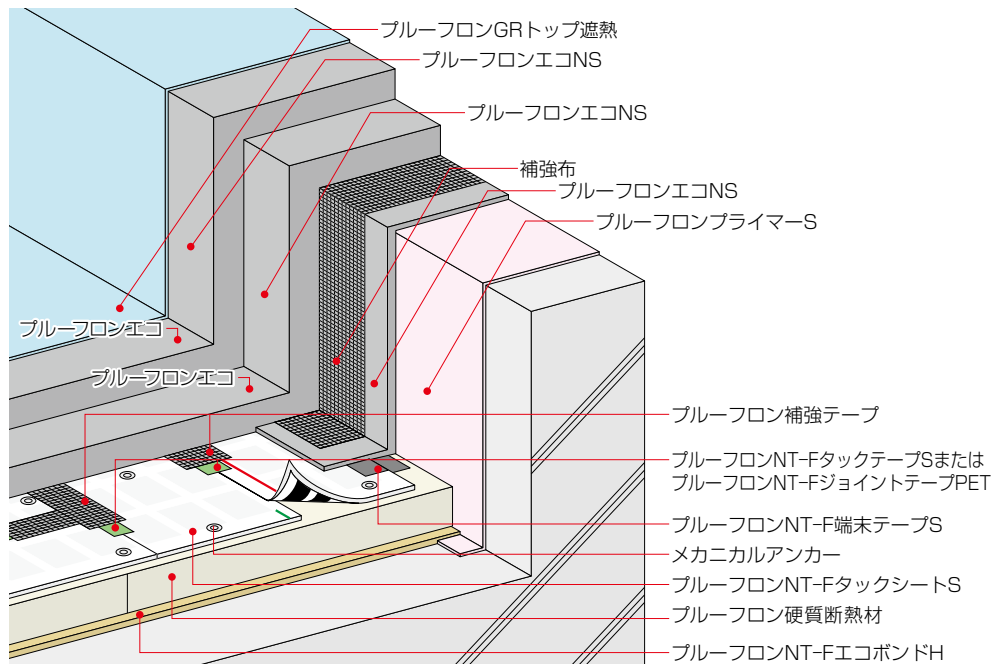


# PKD工法 [機械的固定・断熱・遮熱工法]

PKD工法は「ブルーフロンNT-FタックシートS」を「メカニカルアンカー」で下地に固定する機械的固定工法と断熱材を組み合わせ、さらに遮熱性を付与した工法です。

**用途** ●一般屋上など

## ●PKD-E30Sの施工例



## [ブルーフロンエコ一般仕様]



工法名	工程	1	2	3	4	5	6	7
<b>PKD-E30S</b> (平均塗膜厚：3.0mm)		ブルーフロンNT-FエコボンドH 0.3kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロン硬質断熱材	ブルーフロンNT-FタックシートS	メカニカルアンカー	ブルーフロンエコ 2.0kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ 1.9kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンGRトップ遮熱 0.2kg/m <sup>2</sup>
<b>PGT-E20S (立上がり)</b> (平均塗膜厚：2.0mm)		ブルーフロンプライマーS 0.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコNS 0.3kg/m <sup>2</sup>	補強布	ブルーフロンエコNS 1.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコNS 1.1kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンGRトップ遮熱 0.2kg/m <sup>2</sup>	

## [ブルーフロンバリュー仕様]



工法名	工程	1	2	3	4	5	6	7
<b>PKD-V30S</b> (平均塗膜厚：3.0mm)		ブルーフロンNT-FエコボンドH 0.3kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロン硬質断熱材	ブルーフロンNT-FタックシートS	メカニカルアンカー	ブルーフロンバリュー 2.1kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンバリュー 2.1kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンGRトップ遮熱 0.2kg/m <sup>2</sup>
<b>PGT-V20S (立上がり)</b> (平均塗膜厚：2.0mm)		ブルーフロンプライマーS 0.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンバリューNS 0.4kg/m <sup>2</sup>	補強布	ブルーフロンバリューNS 1.3kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンバリューNS 1.1kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンGRトップ遮熱 0.2kg/m <sup>2</sup>	





## [ブルーフロンエコ速乾一般仕様]



工法名	工程	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
<b>PKD-S30S</b> (平均塗膜厚：3.0mm)		ブルーフロン NT-FエコポンドH 0.3kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロン 硬質断熱材	ブルーフロン NT-FタックシートS	メカニカルアンカー	ブルーフロンエコ速乾 2.0kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ速乾 1.9kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロン GRトップ遮熱 0.2kg/m <sup>2</sup>
<b>PGT-S20S</b> (立上がり) (平均塗膜厚：2.0mm)		ブルーフロン プライマーU 0.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロン エコ速乾NS 0.3kg/m <sup>2</sup>	補強布	ブルーフロン エコ速乾NS 1.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロン エコ速乾NS 1.1kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロン GRトップ遮熱 0.2kg/m <sup>2</sup>	

## [ブルーフロンQS仕様]



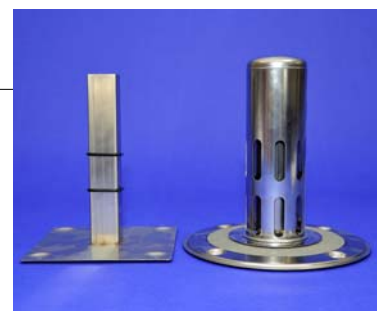
工法名	①	②	③	④	⑤	⑥
<b>PKD-Q30S</b> (平均塗膜厚：3.0mm)	ブルーフロン NT-FエコポンドH 0.3kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロン 硬質断熱材	ブルーフロン NT-FタックシートS	メカニカルアンカー	ブルーフロンQS 3.0kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロン GRトップ遮熱 0.2kg/m <sup>2</sup>
<b>PMT-Q20S</b> (立上がり) (平均塗膜厚：2.0mm)	ブルーフロン プライマーS 0.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンQS 2.0kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロン GRトップ遮熱 0.2kg/m <sup>2</sup>			

## [PKD工法の注意事項]

- 各工法の厚みは上記以外にも変更可能です。
- プライマーは各種選択可能です。ただし、下地の状況に応じてプライマーを選定してください(46, 47ページの適合表をご参照ください)。
- 必要に応じ、脱気装置の設置を行なってください。
- ステンレス脱気筒は、断熱材の厚みにより専用コア付きタイプが必要となる場合があります(詳細は最寄りの営業所へお問い合わせください)。
- ブルーフロン硬質断熱材およびブルーフロンNT-FタックシートSの端末処理方法については、26, 39～45ページをご参照ください。
- 作業手順は一般施工仕様書をご参照ください。
- 立上がり工法には、平場用に液状ダレ止め剤を添加して使用可能です(ブルーフロンQS仕様は液状ダレ止め剤は不要です)。
- ブルーフロンバリュー仕様の場合は立上がり工法にブルーフロンエコNSもご使用いただけます。
- 防水層としてブルーフロンエコやブルーフロンQSをご使用いただく場合、色相としてホワイト遮熱を選定していただきますと、遮熱効果をさらに高めることができます。
- ブルーフロンGRトップ遮熱の淡彩色(ライトグレー、ライトグリーン、ライトブルー、ホワイト)を選定した場合、隠蔽性確保のため2回塗りとなる場合があります。

●ステンレス脱気筒  
プラススリー  
ステンレス・コア付き

- 付属品(1組につき)：  
プラグレスアンカー  
(径4mm×35mm) 8本  
補強クロス1枚
- 荷姿：ステンレス脱気筒  
プラススリーステン  
レス・コア付1ケース  
2組入り



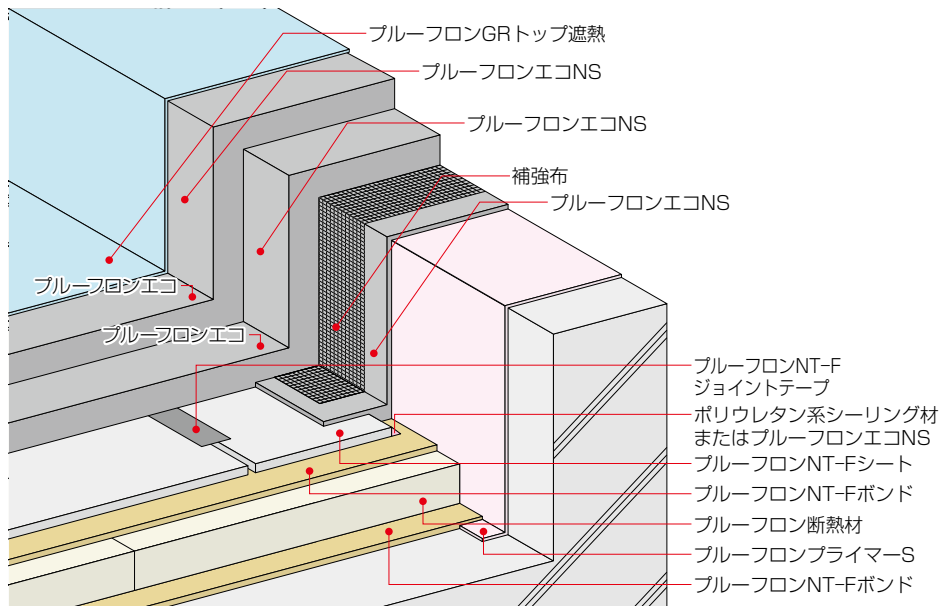


# PD工法 [断熱・遮熱工法]

PD工法は屋上からの熱を遮断することにより、室内への熱の侵入を防ぎ、建物の躯体の劣化を抑制する断熱材を用いた工法です。トップコートに遮熱仕様を用いることで、さらなる遮熱効果を発揮します。

**用途** ●一般屋上など

## ●PD-E30Sの施工例



## [ブルーフロンエコ一般仕様]



工法名	工程	1	2	3	4	5	6	7
<b>PD-E20S</b> (平均塗膜厚：2.0mm)	ブルーフロン NT-Fボンド 下地：0.3kg/m <sup>2</sup> 断熱材：0.3kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロン断熱材	ブルーフロン NT-Fボンド 断熱材：0.3kg/m <sup>2</sup> NT-Fシート：0.3kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロン NT-Fシート(3mm)	ブルーフロンエコ 1.3kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ 1.3kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンGRトップ遮熱 0.2kg/m <sup>2</sup>	
<b>PD-E30S</b> (平均塗膜厚：3.0mm)								
<b>PGT-E20S (立上がり)</b> (平均塗膜厚：2.0mm)	ブルーフロンプライマーS 0.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコNS 0.3kg/m <sup>2</sup>	補強布	ブルーフロンエコNS 1.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコNS 1.1kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンGRトップ遮熱 0.2kg/m <sup>2</sup>		

## [ブルーフロンバリュー仕様]



工法名	工程	1	2	3	4	5	6	7
<b>PD-V20S</b> (平均塗膜厚：2.0mm)	ブルーフロン NT-Fボンド 下地：0.3kg/m <sup>2</sup> 断熱材：0.3kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロン断熱材	ブルーフロン NT-Fボンド 断熱材：0.3kg/m <sup>2</sup> NT-Fシート：0.3kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロン NT-Fシート(3mm)	ブルーフロンバリュー 1.4kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンバリュー 1.4kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンGRトップ遮熱 0.2kg/m <sup>2</sup>	
<b>PD-V30S</b> (平均塗膜厚：3.0mm)								
<b>PGT-V20S (立上がり)</b> (平均塗膜厚：2.0mm)	ブルーフロンプライマーS 0.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンバリューNS 0.4kg/m <sup>2</sup>	補強布	ブルーフロンバリューNS 1.3kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンバリューNS 1.1kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンGRトップ遮熱 0.2kg/m <sup>2</sup>		





[ブルーフロンエコ速乾一般仕様]



工法名	工程	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
<b>PD-S20S</b> (平均塗膜厚：2.0mm)	ブルーフロン NT-Fボンド 下地：0.3kg/m <sup>2</sup> 断熱材：0.3kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロン 断熱材	ブルーフロン NT-Fボンド 断熱材：0.3kg/m <sup>2</sup> NT-Fシート：0.3kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロン NT-Fシート (3mm)	ブルーフロン エコ速乾NS 1.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ速乾 1.3kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ速乾 1.3kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロン GRトップ遮熱 0.2kg/m <sup>2</sup>
<b>PD-S30S</b> (平均塗膜厚：3.0mm)						ブルーフロンエコ速乾 2.0kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ速乾 1.9kg/m <sup>2</sup>	
<b>PGT-S20S (立上がり)</b> (平均塗膜厚：2.0mm)	ブルーフロン プライマーU 0.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロン エコ速乾NS 0.3kg/m <sup>2</sup>	補強布	ブルーフロン エコ速乾NS 1.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロン エコ速乾NS 1.1kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロン GRトップ遮熱 0.2kg/m <sup>2</sup>		

[ブルーフロンQS仕様]



工法名	工程	①	②	③	④
<b>PD-Q20S</b> (平均塗膜厚：2.0mm)	ブルーフロン NT-Fボンド 下地：0.3kg/m <sup>2</sup> 断熱材：0.3kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロン 断熱材	ブルーフロンQS 2.0kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロン GRトップ遮熱 0.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロン GRトップ遮熱 0.2kg/m <sup>2</sup>
<b>PD-Q30S</b> (平均塗膜厚：3.0mm)					
<b>PMT-Q20S (立上がり)</b> (平均塗膜厚：2.0mm)	ブルーフロン プライマーS 0.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンQS 2.0kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロン GRトップ遮熱 0.2kg/m <sup>2</sup>		

[PD工法の注意事項]

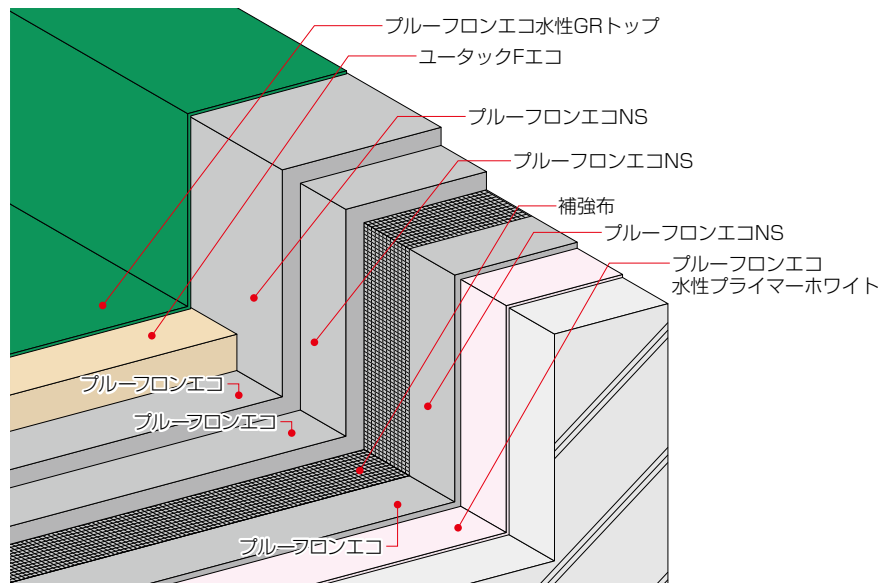
- 各工法の厚みは上記以外にも変更可能です。
- 接着用ボンドと通気緩衝シートの組み合わせは50ページの適合表をご参照ください。
- プライマーは各種選択可能です。ただし、下地の状況に応じてプライマーを選定してください(46,47ページの適合表をご参照ください)。
- 必要に応じ、脱気装置の設置を行なってください。
- ステンレス脱気筒は、断熱材の厚みにより専用コア付きタイプが必要となる場合があります(詳細は最寄りの営業所へ問い合わせください)。
- ブルーフロン断熱材およびブルーフロンNT-Fシートのジョイント、端末処理方法については39～45ページをご参照ください。
- 作業手順は一般施工仕様書をご参照ください。
- 立上がり工法には、平場用に各種増粘剤(48ページ参照)を添加して使用可能です(ブルーフロンQS仕様は液状ダレ止め剤は不要です)。
- ブルーフロンQS仕様では、ブルーフロン断熱シートのジョイント処理が必要になります。
- ブルーフロンバリュー仕様の場合は、立上がり工法にブルーフロンエコNSもご使用いただけます。
- 防水層としてブルーフロンエコやブルーフロンQSをご使用いただく場合、色相としてホワイト遮熱を選定していただきますと、遮熱効果をさらに高めることができます。
- ブルーフロンGRトップ遮熱の淡彩色(ライトグレー、ライトグリーン、ライトブルー、ホワイト)を選定した場合、隠蔽性確保のため2回塗りとなる場合があります。

# PS工法 [スポーツ床防水工法]

PS工法はウレタン塗膜防水材とウレタン塗り床材(ユータック)を複合した工法で、重歩行が可能なスポーツ床工法です。密着補強布入り工法と通気緩衝工法があり、スポーツ施設や病院施設などの屋上の活用に最適な工法です。

- 用途**
- 屋上スポーツ床
  - 一般屋上(重歩行)

## ● PSG-E40WGの施工例



## PSG工法 [スポーツ床密着補強布入り工法]

[ブルーフロンエコ環境対応仕様]



工法名	工程	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦			
<b>PSG-E40WG</b> (平均塗膜厚：4.0mm)	ブルーフロンエコ 水性プライマーホワイト 0.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ 0.3kg/m <sup>2</sup>	補強布	ブルーフロンエコ 1.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ 1.1kg/m <sup>2</sup>	ユータックFエコ 2.4kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ 水性GRトップ 0.2kg/m <sup>2</sup>				
<b>PSG-E50WG</b> (平均塗膜厚：5.0mm)									ブルーフロンエコ 2.0kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ 1.6kg/m <sup>2</sup>	ユータックFエコ 2.4kg/m <sup>2</sup>
<b>PSG-E60WG</b> (平均塗膜厚：6.0mm)									ブルーフロンエコ 2.5kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ 2.4kg/m <sup>2</sup>	ユータックFエコ 2.4kg/m <sup>2</sup>
<b>PGT-E20WG</b> (立上がり) (平均塗膜厚：2.0mm)									ブルーフロンエコNS 0.3kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコNS 1.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコNS 1.1kg/m <sup>2</sup>

注：工程①でブルーフロンエコプライマーも使用できます。

## [ブルーフロンバリュー仕様]

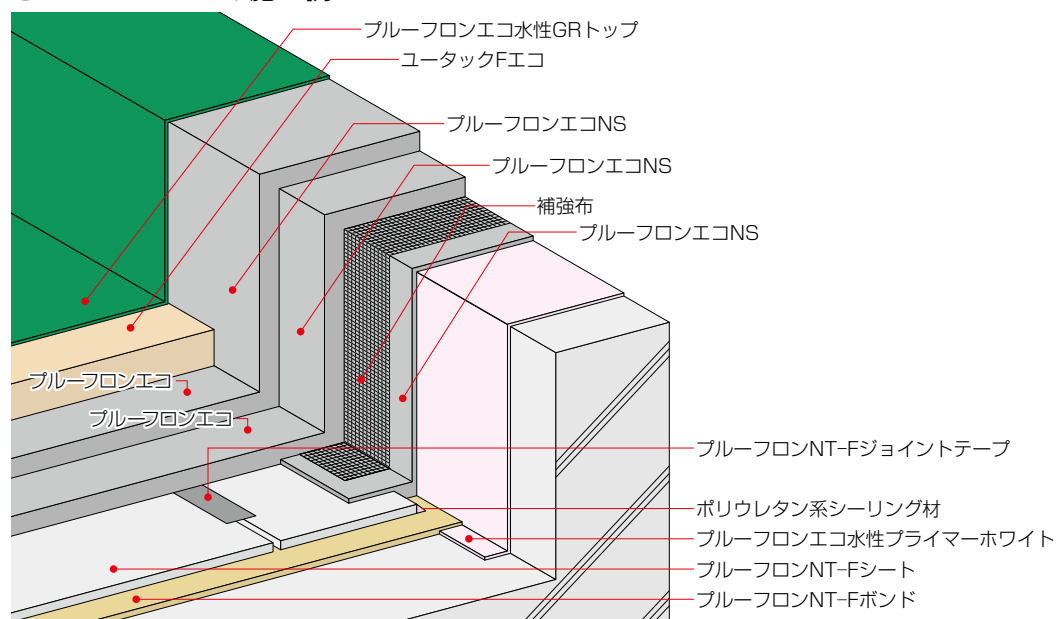
工法名	工程	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦			
<b>PSG-V40FT</b> (平均塗膜厚：4.0mm)	ブルーフロン プライマーS 0.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンバリュー 0.4kg/m <sup>2</sup>	補強布	ブルーフロンバリュー 1.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンバリュー 1.2kg/m <sup>2</sup>	ユータックFエコ 2.4kg/m <sup>2</sup>	ユータックFT 0.2kg/m <sup>2</sup>				
<b>PSG-V50FT</b> (平均塗膜厚：5.0mm)									ブルーフロンバリュー 2.1kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンバリュー 1.7kg/m <sup>2</sup>	ユータックFエコ 2.4kg/m <sup>2</sup>
<b>PSG-V60FT</b> (平均塗膜厚：6.0mm)									ブルーフロンバリュー 2.6kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンバリュー 2.6kg/m <sup>2</sup>	ユータックFエコ 2.4kg/m <sup>2</sup>
<b>PGT-V20FT</b> (立上がり) (平均塗膜厚：2.0mm)									ブルーフロン バリュー NS 0.4kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロン バリュー NS 1.3kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロン バリュー NS 1.1kg/m <sup>2</sup>

### [PSG工法の注意事項]

- 各工法の厚みは上記以外にも変更可能です。
- プライマーは各種選択可能です。ただし、下地の状況に応じてプライマーを選定してください(46,47ページの適合表をご参照ください)。
- 必要に応じ、脱気装置の設置を行なってください。
- 立上がり工法には、平場用に液状ダレ止め剤を添加して使用可能です(48ページをご参照ください)。
- ブルーフロンバリュー仕様の場合は、立上がり工法にブルーフロンエコNSもご使用いただけます。



## ●PSN-40WGの施工例



## PSN工法 [スポーツ床通気緩衝工法]

[ブルーフロンエコ環境対応仕様]



工法名	工程	①	②	③	④	⑤	⑥
<b>PSN-E40WG</b> (平均塗膜厚: 4.0mm)				ブルーフロンエコ 1.3kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ 1.3kg/m <sup>2</sup>	ユータックFエコ 2.4kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ 水性GRトップ 0.2kg/m <sup>2</sup>
<b>PSN-E50WG</b> (平均塗膜厚: 5.0mm)	環境対応型接着剤 (ボンドまたは プライマー)	通気緩衝シート	ブルーフロンエコ 2.0kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ 1.9kg/m <sup>2</sup>	ユータックFエコ 2.4kg/m <sup>2</sup>		
<b>PSN-E60WG</b> (平均塗膜厚: 6.0mm)			ブルーフロンエコ 2.6kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ 2.6kg/m <sup>2</sup>	ユータックFエコ 2.4kg/m <sup>2</sup>		
<b>PGT-E20WG (立上がり)</b> (平均塗膜厚: 2.0mm)	ブルーフロンエコ 水性プライマーホワイト 0.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコNS 0.3kg/m <sup>2</sup>	補強布	ブルーフロンエコNS 1.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコNS 1.1kg/m <sup>2</sup>		

注: 工程①でブルーフロンエコプライマーも使用できます。

注: ボンド、プライマー、通気緩衝シートについては48ページをご参照ください。

[ブルーフロンバリュー仕様]

工法名	工程	①	②	③	④	⑤	⑥
<b>PSN-V40FT</b> (平均塗膜厚: 4.0mm)				ブルーフロンバリュー 1.4kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンバリュー 1.4kg/m <sup>2</sup>	ユータックFエコ 2.4kg/m <sup>2</sup>	ユータックFT 0.2kg/m <sup>2</sup>
<b>PSN-V50FT</b> (平均塗膜厚: 5.0mm)	接着剤 (ボンドまたは プライマー)	通気緩衝シート	ブルーフロンバリュー 2.1kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンバリュー 2.1kg/m <sup>2</sup>	ユータックFエコ 2.4kg/m <sup>2</sup>		
<b>PSN-V60FT</b> (平均塗膜厚: 6.0mm)			ブルーフロンバリュー 2.8kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンバリュー 2.8kg/m <sup>2</sup>	ユータックFエコ 2.4kg/m <sup>2</sup>		
<b>PGT-V20FT (立上がり)</b> (平均塗膜厚: 2.0mm)	ブルーフロン プライマー-S 0.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロン バリュー-NS 0.4kg/m <sup>2</sup>	補強布	ブルーフロン バリュー-NS 1.3kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロン バリュー-NS 1.1kg/m <sup>2</sup>		

## [PSN工法の注意事項]

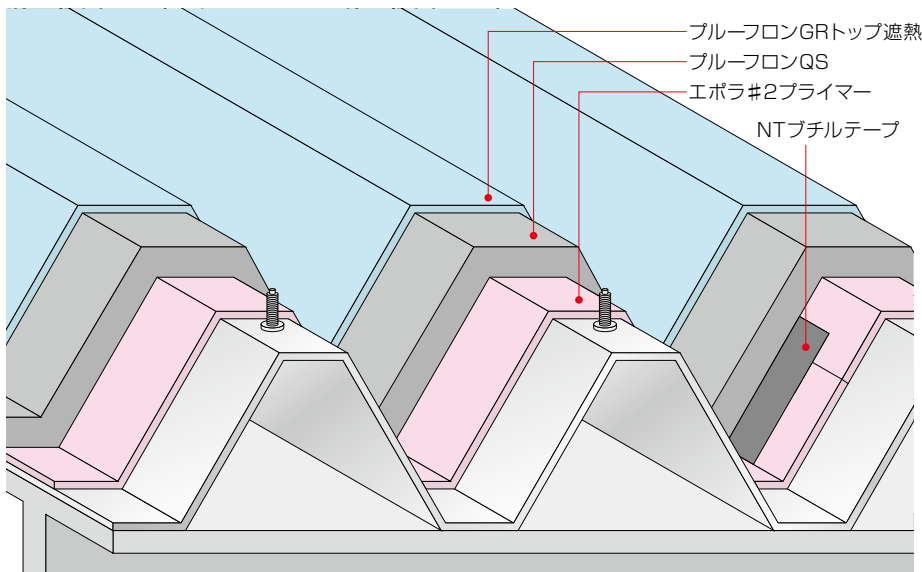
- 各工法の厚みは上記以外にも変更可能です。
- 接着用ボンドの塗布量は50ページの一覧表をご参照ください。
- 接着用ボンドと通気緩衝シートの組み合わせは50ページの適合表をご参照ください。
- プライマーは各種選択可能です。ただし、下地の状況に応じてプライマーを選定してください(46、47ページの適合表をご参照ください)。
- 必要に応じ、脱気装置の設置を行なってください。
- 各通気緩衝シートのジョイント、端末処理方法については39~45ページをご参照ください。
- 立上がり工法には、平場用に液状ダレ止め剤を添加して使用可能です。
- ブルーフロンバリュー仕様の場合は、立上がり工法にブルーフロンエコNSもご使用いただけます。

# PY

# 工法 [金属屋根・防水・遮熱・遮音工法]

PY工法は金属屋根の防水を可能にした速硬化防水工法で、勾配のある屋根においても膜厚確保ができる優れた防水工法です。さらに防錆、遮熱、遮音効果にも優れた性能を発揮します。

## ●PY-Q20Sの施工例



用途 ●各種金属屋根

## [ブルーフロンQS仕様]



工法名	工程	①	②	③
<b>PY-Q20S</b> (平均塗膜厚：2.0mm)	エポラ#2プライマー 0.15kg/㎡		ブルーフロンQS 2.0kg/㎡	ブルーフロンGRトップ遮熱 0.2kg/㎡
<b>PY-Q30S</b> (平均塗膜厚：3.0mm)			ブルーフロンQS 3.0kg/㎡	

## [PY工法の注意事項]

- 各工法の厚みは上記以外にも変更可能です。
- トップコートは各種選択可能です(49ページの一覧表をご参照ください)。
- 下地の状況に応じ、金属面用プライマーを選定する必要があります(47ページの適合表をご参照ください)。
- フッ素鋼板の場合はメーカー、経過年数、劣化状況により、付着性が異なるため、必ず施工前に付着性試験を行なってください。
- ブルーフロンQSの色相は、表面温度低減および隠蔽性確保のため遮熱ホワイトをお薦めします。
- ブルーフロンGRトップ遮熱の淡彩色(ライトグレー、ライトグリーン、ライトブルー、ホワイト)を選定した場合、隠蔽性確保のため2回塗りとなる場合があります。

## ●消音・制振比較(社内試験)

試験項目	無処理鋼板 (1mm厚)	ブルーフロンQS PY工法	削減効果	規格または条件
雨音シャワー試験(dBA)	58	46	12	シャワー流量 0.75ℓ/分
衝撃音響試験(dBA)	84.3	66.5	17.8	1in鋼球×250mm
残響時間(秒)	5	1.7	3.3	

測定機器：騒音計 B&K社 Dual Channel Real-time Frequency Analyzer(Type2133)

### ●音響測定値の目安

※音の数値が約3dBA低くなると、エネルギーは半減したことになります。

騒音値	騒音の例
100dBA	電車が通るときのガード下などの音量
80dBA	地下鉄・電車などの車内の音量
60dBA	普段の会話・静かな乗用車内の音量
50dBA	静かな事務所内の音量
40dBA	図書館・静かな住宅地の昼帯・市内など深夜帯の音量
30dBA	郊外の深夜帯・ささやき程度の音量
20dBA	木の葉のふれあう音・置き時計の秒針音(前方1m)の音量



# PH工法 [保護モルタル工法]

PH工法は浴室やトイレなど、PC構造下地の水廻りに使用する保護モルタル(別途工事が必要です)工法です。屋上にも施工可能です。

用途

- 浴室、トイレ
- 一般屋上など

## [ブルーフロンエコ環境対応仕様]



工法名	工程	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
<b>PH-E30WG</b> (平均塗膜厚：3.0mm)		ブルーフロンエコ 水性プライマーホワイト 0.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ 0.3kg/m <sup>2</sup>	補強布	ブルーフロンエコ 2.0kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ 1.6kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ 水性GRトップ 0.2kg/m <sup>2</sup>	ポリエチレンシート (0.15~0.2mm) ※保護モルタルは別途 工事となります。
<b>PHT-E20WG</b> (立上がり) (平均塗膜厚：2.0mm)			ブルーフロンエコNS 0.3kg/m <sup>2</sup>		ブルーフロンエコNS 1.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコNS 1.1kg/m <sup>2</sup>		

注：工程①でブルーフロンエコプライマーも使用できます。

注：環境対応仕様の場合は液状ダレ止め剤、ウレタンゴム用硬化促進剤は使用できません。

注：環境対応仕様の場合はブルーフロンエコ専用硬化促進剤、ミルコンMS-2が使用可能です(46ページをご参照ください)。

## [ブルーフロンバリュー仕様]

工法名	工程	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
<b>PH-V30G</b> (平均塗膜厚：3.0mm)		ブルーフロン プライマーS 0.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンバリュー 0.4kg/m <sup>2</sup>	補強布	ブルーフロンバリュー 2.1kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンバリュー 1.7kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロン GRトップ 0.2kg/m <sup>2</sup>	ポリエチレンシート (0.15~0.2mm) ※保護モルタルは別途 工事となります。
<b>PHT-V20G</b> (立上がり) (平均塗膜厚：2.0mm)			ブルーフロン バリュー NS 0.4kg/m <sup>2</sup>		ブルーフロン バリュー NS 1.3kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロン バリュー NS 1.1kg/m <sup>2</sup>		

## [PH工法の注意事項]

- 各工法の厚みは上記以外にも変更可能です。
- プライマーは各種選択可能です。ただし、下地の状況に応じてプライマーを選定してください(46、47ページの適合表をご参照ください)。
- 立上がり工法には、平場用に液状ダレ止め剤を添加して使用可能です。

# PP工法 [PCタンク工法]

PP工法はPCタンクなどの防水に最適な工法で、傾斜角の大きな場所においても膜厚確保ができる信頼性の高い速硬化防水工法です。

用途

- PCタンク

## [ブルーフロンQS仕様]



工法名	工程	①	②	③	④
<b>PP-Q20S</b> (平均塗膜厚：2.0mm)		NTカチオンタイトF 2.0kg/m <sup>2</sup> ×2回	ブルーフロンプライマーS (セメント1:1混入) 0.3kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンQS 2.0kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロン GRトップ遮熱 0.2kg/m <sup>2</sup>
<b>PP-Q30S</b> (平均塗膜厚：3.0mm)				ブルーフロンQS 3.0kg/m <sup>2</sup>	

## [PP工法の注意事項]

- 各工法の厚みは上記以外にも変更可能です。
- トップコートは各種選択可能です(49ページの一覧表をご参照ください)。
- プライマーは各種選択可能です。ただし、下地の状況に応じてプライマーを選定してください(46、47ページの適合表をご参照ください)。
- ブルーフロンQSの色相は、表面温度低減および隠蔽性確保のため遮熱ホワイトをお薦めします。
- ブルーフロンGRトップ遮熱の淡彩色(ライトグレー、ライトグリーン、ライトブルー、ホワイト)を選定した場合、隠蔽性確保のため2回塗りとなる場合があります。

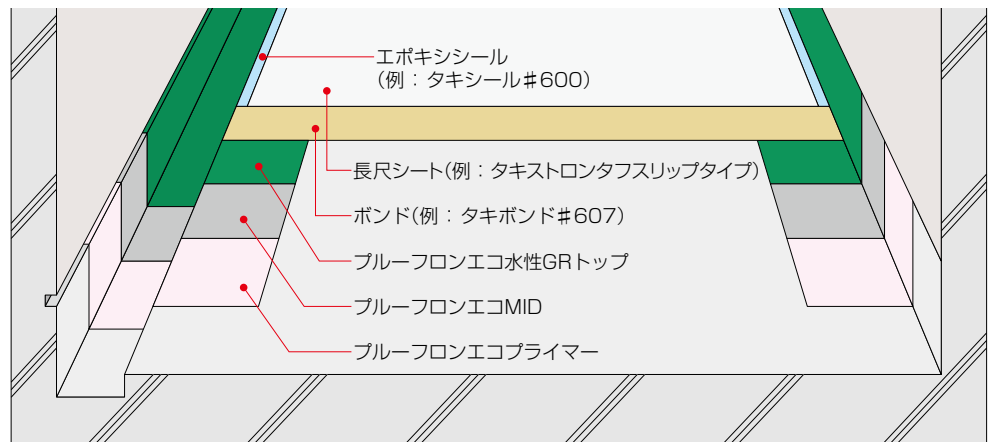


# PF工法 [側溝・巾木・複合工法(長尺シート)]

PF工法は各種工法に長尺塩ビシートと組み合わせた複合工法です。

- 用途**
- 開放廊下、ベランダなど
  - 側溝・巾木など

## ● 開放廊下の施工例(PF工法との組み合わせ)



### [ブルーフロンエコMID環境対応仕様]



工法名	工程	①	②	③
PF-MW1.5WG	ブルーフロンエコ水性プライマーホワイト	0.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコMID	1.5kg/m <sup>2</sup>
	ブルーフロンエコ水性GRトップ	0.2kg/m <sup>2</sup>		

※階下に居室がない部位(共用廊下、バルコニー、屋外階段など)

工法名	工程	①	②	③	④	
PF-M20WG (平均塗膜厚: 2.0mm)	ブルーフロンエコ水性プライマーホワイト	0.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコMID	1.3kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコMID	1.3kg/m <sup>2</sup>
	ブルーフロンエコ水性GRトップ	0.2kg/m <sup>2</sup>			ブルーフロンエコ水性GRトップ	0.2kg/m <sup>2</sup>

注: 工程①でブルーフロンエコプライマーも使用できます。  
 注: 環境対応仕様の場合は液状ダレ止め剤、ウレタンゴム用硬化促進剤は使用できません。  
 注: 環境対応仕様の場合はブルーフロンエコ専用硬化促進剤、ミルコンMS-2が使用可能です(48ページをご参照ください)。

### [ブルーフロンエコMID一般仕様]

工法名	工程	①	②	③
PF-MW1.5G	ブルーフロンプライマーS	0.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコMID	1.5kg/m <sup>2</sup>
	ブルーフロンGRトップ	0.2kg/m <sup>2</sup>		

※階下に居室がない部位(共用廊下、バルコニー、屋外階段など)

工法名	工程	①	②	③	④	
PF-M20G (平均塗膜厚: 2.0mm)	ブルーフロンプライマーS	0.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコMID	1.3kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコMID	1.3kg/m <sup>2</sup>
	ブルーフロンGRトップ	0.2kg/m <sup>2</sup>			ブルーフロンGRトップ	0.2kg/m <sup>2</sup>

注: 工程①でブルーフロンエコプライマーも使用できます。  
 注: 環境対応仕様の場合は液状ダレ止め剤、ウレタンゴム用硬化促進剤は使用できません。  
 注: 環境対応仕様の場合はブルーフロンエコ専用硬化促進剤、ミルコンMS-2が使用可能です(48ページをご参照ください)。

### [ブルーフロンエコ環境対応仕様]



工法名	工程	①	②	③	④
PF-E20WG (平均塗膜厚: 2.0mm)	ブルーフロンエコ水性プライマーホワイト	0.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ	1.3kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ水性GRトップ
					0.2kg/m <sup>2</sup>

注: 工程①でブルーフロンエコプライマーも使用できます。  
 注: 環境対応仕様の場合は液状ダレ止め剤、ウレタンゴム用硬化促進剤は使用できません。  
 注: 環境対応仕様の場合はブルーフロンエコ専用硬化促進剤、ミルコンMS-2が使用可能です(48ページをご参照ください)。

### [ブルーフロンエコ一般仕様]

工法名	工程	①	②	③	④
PF-E20G (平均塗膜厚: 2.0mm)	ブルーフロンプライマーS	0.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ	1.3kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンGRトップ
					0.2kg/m <sup>2</sup>

### [ブルーフロンバリュー仕様]

工法名	工程	①	②	③	④
PF-V20G (平均塗膜厚: 2.0mm)	ブルーフロンプライマーS	0.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンバリュー	1.4kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンGRトップ
					0.2kg/m <sup>2</sup>

### [ブルーフロンエコ速乾一般仕様]

工法名	工程	①	②	③	④
PF-S20G (平均塗膜厚: 2.0mm)	ブルーフロンプライマーU	0.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ速乾	1.3kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンGRトップ
					0.2kg/m <sup>2</sup>

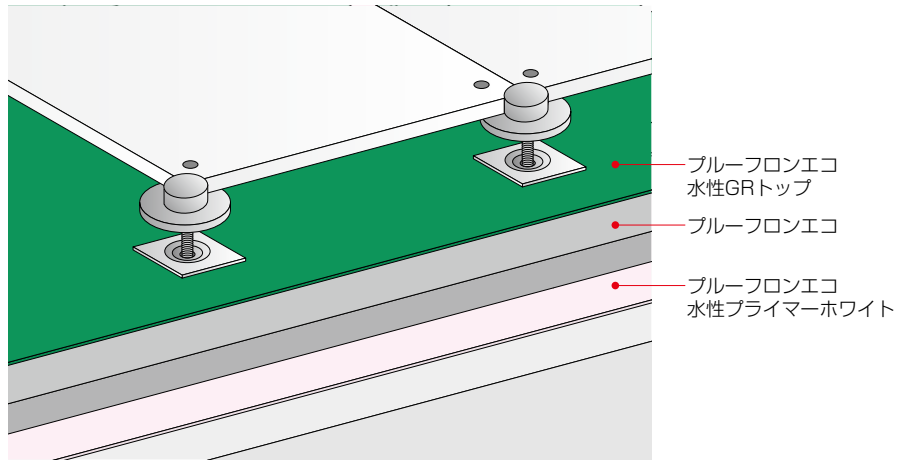
# PO工法 [室内簡易防水工法]

PO工法はOAフロアの防水や側溝などに用いる汎用的な防水工法です。

## ●PO-E15WGの施工例

用途

●OAフロアなど



[ブルーフロンエコ環境対応仕様] ※OAフロア工法



工法名	工程	①	②	③
<b>PO-E15WG</b> (平均塗膜厚: 1.5mm)		ブルーフロンエコ水性プライマーホワイト 0.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ 2.0kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ水性GRトップ 0.2kg/m <sup>2</sup>

注: 工程①でブルーフロンエコプライマーも使用できます。

注: 環境対応仕様の場合は液状ダレ止め剤、ウレタンゴム硬化促進剤は使用できません。

注: 環境対応仕様の場合はブルーフロンエコ専用硬化促進剤、ミルコンMS-2が使用可能です(48ページをご参照ください)。

注: OAフロア施工の場合は、工程③のトップコートを省くことが可能です。

[ブルーフロンエコ速乾環境対応仕様]



工法名	工程	①	②	③
<b>PO-S15G</b> (平均塗膜厚: 1.5mm)		ブルーフロンエコプライマー 0.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ速乾 2.0kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ水性GRトップ 0.2kg/m <sup>2</sup>

注: ブルーフロンエコ速乾にミルコンMS-2を混合する場合の添加量は48ページをご参照ください。

## [PO工法の注意事項]

●各工法の厚みは上記以外にも変更可能です。

●トップコートは各種選択可能です(49ページの一覧表をご参照ください)。

●プライマーは各種選択可能です。ただし、下地の状況に応じてプライマーを選定してください(46、47ページの適合表をご参照ください)。

# PU工法 [トップコートの塗り替え工法]

PU工法 [トップコートの塗り替え工法]

トップコートの塗り替え工法は、既存下地がウレタン塗膜防水材のケースを想定したトップコートを塗り替える場合の工法です。

上記工法は標準的な仕様例のため、施工の際は事前に付着性試験を行ない、付着性に異常がないことを確認した後、改修施工を行なってください。

## ●施工手順および工程

既存ウレタン塗膜表面を高圧洗浄、シンナー拭きなどで清掃してください。

目粗し有・無、プライマー有・無で付着試験を行なってください。

付着試験結果が良好な条件でトップコートの塗り替えを行なってください。(トップコートは1~2回塗り)

●シルバー系トップコート、水性トップコートの場合にはトップコートの除去、もしくは同じタイプの塗り替えとなります。

PU工法でプライマーを使用する場合は、46ページのプライマーと下地の適合性に準じ、塗り替え用プライマーもしくはブルーフロンプライマーUを倍希釈して施工し、6時間以内に該当のトップコートを施工してください(環境対応仕様はブルーフロンエコプライマーを倍希釈して使用してください)。

# PRV工法

## [塩ビシート屋上防水材料リフレッシュ工法]

太陽光の影響により「塩化ビニル樹脂系屋上防水材料」（以下、塩ビシート屋上防水材料）は経年で劣化が進み、物性低下による漏水やシート表面のチョーキングによる外観不良といった不具合が発生します。このような不具合は、シート表面に保護塗料を塗装することで避けることができます。しかし、従来は塩ビシート中に含まれる可塑剤などの影響により、十分な密着性が得られず塗り替えが困難とされてきました。このような状況にお応えするため確立したのが「塩ビシート屋上防水材料リフレッシュ工法」です。

この工法は、塩ビシート塗替え用塗料の塗装により、防水シートの紫外線による劣化を防ぐため防水効果を長期にわたって維持できます。また、塗料中に含まれる溶剤が塩ビシートに含浸することで塗膜を還元。塗料とチョーキング塗膜を混合することで下地との密着性を強化し、剥離を防止します。さらに、塩ビシート中に含まれる可塑剤の移行がなく、汚れや変色がありません。このため、豊富なカラーバリエーションで外観を美しく彩ることができます。

### [塩ビシート屋上防水材料リフレッシュ工法標準塗装仕様]

工法名	工程	①	②	③	④
PRV-G		●塩ビシート表面を高圧水洗後、ゴミやホコリ、油脂類はブラシなどで除去してください。	NT塩ビシートプライマー 0.1~0.2kg/㎡	ブルーフロンGRトップ 0.2kg/㎡(1~2回塗り)	
PRV-S		●塩ビシート表面が乾燥後に次の工程に進めてください。 ●下記の注意事項も参照してください。	NT塩ビシートプライマー 0.1~0.2kg/㎡	ブルーフロンGRトップ遮熱 0.15kg/㎡	ブルーフロンGRトップ遮熱 0.15kg/㎡

- 塩ビシートのチョーキング層は高圧水洗などでできるだけ除去してください。
- チョーキングが激しい場合、もしくは洗浄できない場合はウエスやマジックロンなどでできるだけチョーキング塗膜を除去してください。
- プライマー(下塗)はローラーでしごくように塗装してください。しごいて塗装することでチョーキングを溶解・還元し、プライマーに混合させます。
- プライマーは厚く付けすぎないようにしてください(使用量を厳守してください)。塗料のたまりができますと剥離の原因になります。
- 上塗塗料はブルーフロンGRトップ、GRトップ遮熱をご使用ください。
- 下塗の施工間隔が開きすぎたり、降雨に曝された場合は必ず艶がなくなるまでサンディング、清掃を行なった後再度NT塩ビシートプライマーを塗布してください。
- 上塗は必ず6時間以内に塗布してください。**
- 色相を変更する場合や、淡彩色の施工を行なう場合、上塗は2回塗りとなります。

### [PRV工法の注意事項]

#### ■素地調整について

- 極端な塩ビシートのチョーキングはブラシなどで撤去してください。
- 塩ビシートの表面に細かい傷がつくようにマジックロンなどで目あらしを行なってください。

#### ■塗料と塗装について

- 下塗を塗装するとき、ローラーを強く押し当てて同じ場所を2~4回塗布してください。
- 上塗は2液反応硬化型塗料です。塗料の調合比は重量比ですので、混合割合を間違えないようにしてください(使用前によく攪拌してから使用ください)。また、調合した塗料は可使時間内に使用してください。
- 上塗の希釈には必ずブルーフロンGRトップシンナーをご使用ください。シンナー

の種類によっては、粘度低下が著しい場合や艶がでない場合がありますのでご注意ください。また、過剰なシンナー希釈は艶の低下や外観不良の原因になります。

- 塗料の希釈割合は塗料温度や施工条件、塗装方法によって異なります。事前に試し塗りを行なってください。
- 気温5℃以下、40℃以上、湿度85%以上の場合、また、降雨や降雪、降霜が予測される場合は塗装を避けてください。
- 高圧水洗後はよく乾燥させてから塗装してください。
- 塩ビシート屋上防水材料リフレッシュ工法は塩ビシートの美観、保護を目的とした工法です。著しい劣化により、防水機能が低下した塩ビシートに施工しましても、防水性は向上しませんので、ご注意ください。





# UR都市機構仕様

UR都市機構仕様のバルコニー等床防水、脱気絶縁複合防水、階段室床防水仕様の各工法です。

バルコニー等床防水仕様(ウレタン系塗膜防水) 保全工事共通仕様書[平成23年度版]

工法名	工程	①	②	③	④
<b>PM-EW2.5WG</b> 工法 平場用		ブルーフロンエコプライマー 0.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ 2.5kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ水性GRトップ+ ブルーフロンチップ 0.1kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ水性GRトップ 0.1kg/m <sup>2</sup>
<b>PMT-EW2.5WG</b> 工法 立上り用		ブルーフロンエコプライマー 0.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコNS 2.5kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ水性GRトップ+ ブルーフロンチップ 0.1kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ水性GRトップ 0.1kg/m <sup>2</sup>

脱気絶縁複合防水仕様(歩行用ウレタン系) 保全工事共通仕様書[平成23年度版]

工法名	工程	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
<b>PN-EW4.5UR</b> 工法 平場用		ブルーフロンNT-F エコボンドH 0.3kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロン NT-Fシート#2	ブルーフロン エコ 1.5kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロン エコ 1.5kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロン エコ 1.5kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンUR 層間プライマー 0.1kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロン URトップ 0.5kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロン URトップ 0.5kg/m <sup>2</sup>
<b>PGT-EW2.5UR</b> 工法 立上り用		ブルーフロンエコ プライマー 0.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロン エコNS 0.3kg/m <sup>2</sup>	ガラスクロス CAG60	ブルーフロン エコNS 1.1kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロン エコNS 1.1kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンUR 層間プライマー 0.1kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロン URトップ 0.5kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロン URトップ 0.5kg/m <sup>2</sup>

注：PGT-EW2.5UR工法は脱気絶縁複合防水工法(庇、架台天端および立上がり部など)になります。

階段室床防水仕様(超速硬化ウレタン吹付け防水) 保全工事共通仕様書[平成23年度版]

工法名	工程	①	②	③
<b>スプレーユータック R-1工法</b>		スプレーユータックプライマー 0.2kg/m <sup>2</sup>	スプレーユータックN 1.5kg/m <sup>2</sup>	スプレーユータック上塗 0.15~0.2kg/m <sup>2</sup>

ウレタン系塗膜防水工法 2回目修繕(バルコニー等床)

工法名	工程	①	②	③	④
<b>PM-EW2.0WG</b> 工法 平場用		ブルーフロンエコプライマー※ 0.1~0.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ 2.0kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ水性GRトップ+ ブルーフロンチップ 0.1kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ水性GRトップ 0.1kg/m <sup>2</sup>
<b>PMT-EW2.0WG</b> 工法 立上り用		ブルーフロンエコプライマー※ 0.1~0.2kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコNS 2.0kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ水性GRトップ+ ブルーフロンチップ 0.1kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ水性GRトップ 0.1kg/m <sup>2</sup>

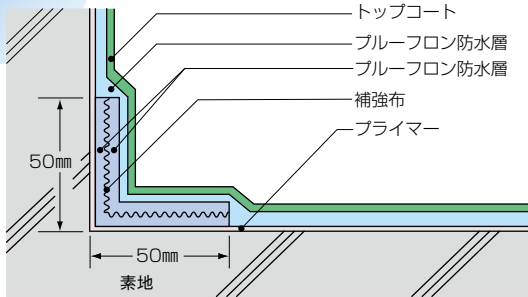
※：ブルーフロンエコプライマーはブルーフロンエコシンナーで倍希釈し、ご使用ください。

注：2回目の修繕工事を行なう場合、UR保全工事共通仕様書に準じ、事前に下地の調査および下地処理を行なってください。

# 確実な防水効果を発揮します——。

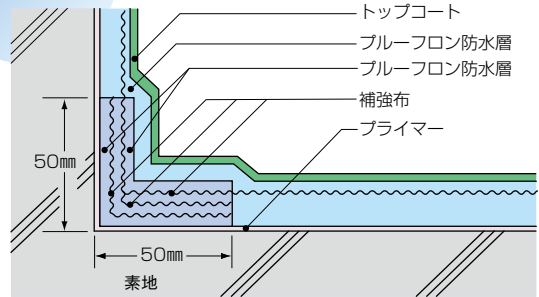
## ■各部位の納まり①

### 入隅



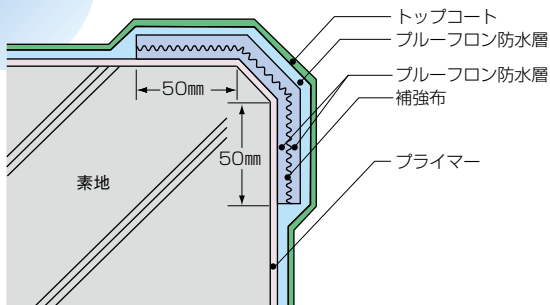
### 入隅

※平場X-2工法と立上りX-2工法の取り合い



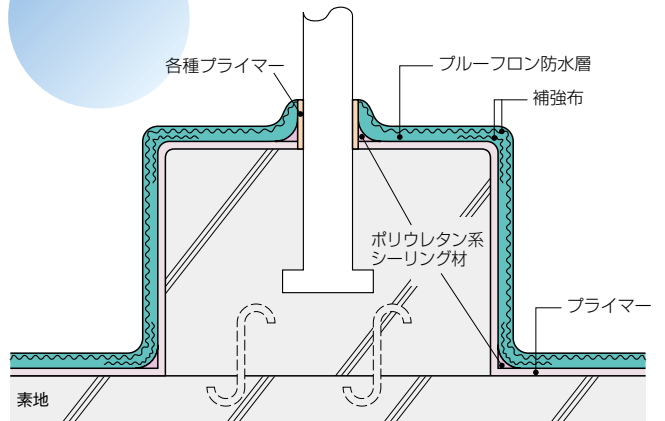
### 出隅

※出隅部はR、もしくは面取りを行なってください。

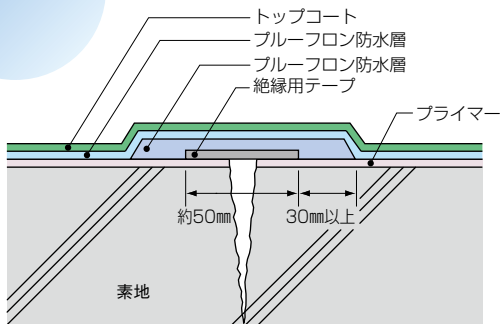


### 架台

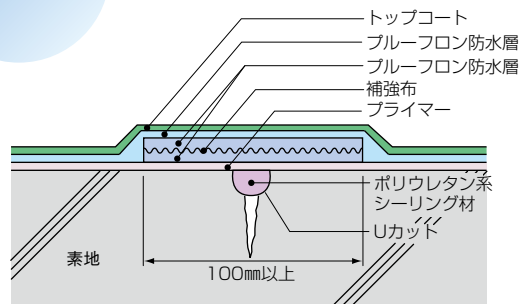
※出隅、入隅は補強布が2枚になります。



### 平場の大クラック



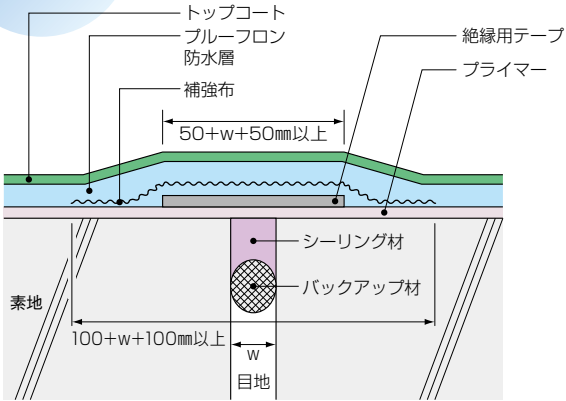
### 平場の中小クラック・立上りのクラック



※各部位の納まり図は一般的な例です。すべての施工において適用できるものではありません。

## PC板

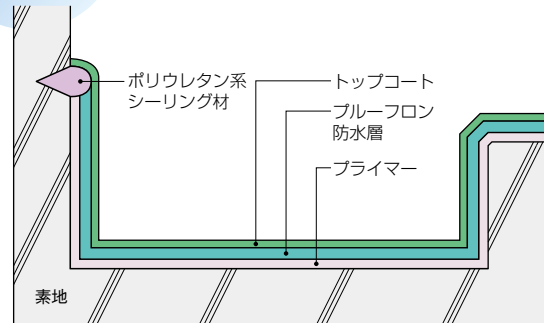
### PM工法[密着工法]



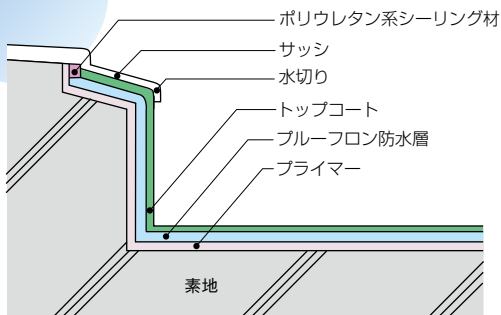
## 底部補修納まり例

※壁面は笠木より高く立上げてください。

※VカットまたはUカット後にポリウレタン系シーリングで処理してください。



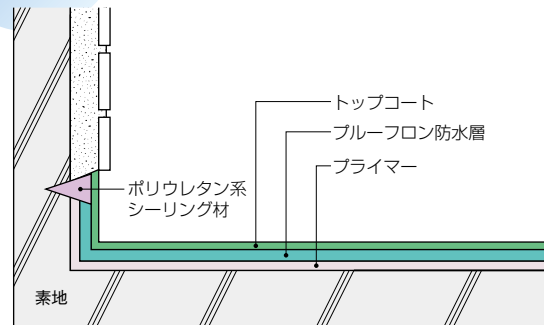
## 壁立上がり① (開口部)



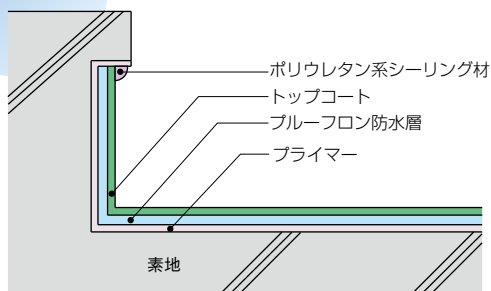
## 磁器タイル壁面補修納まり例

※磁器タイルを数枚剥がし防水材を立上げてください。

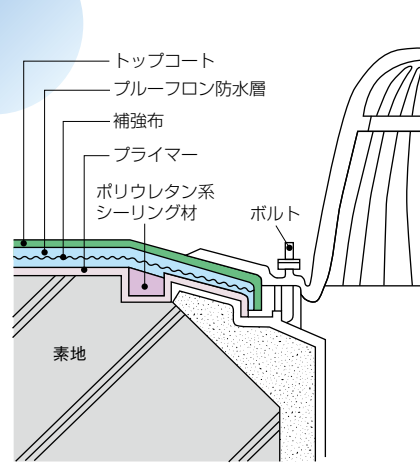
※VカットまたはUカット後にポリウレタン系シーリングで処理してください。



## 壁立上がり②



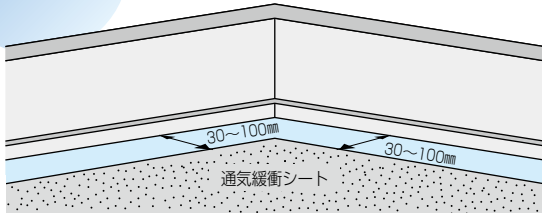
## ドレンまわり



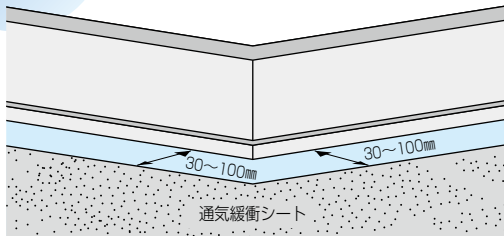


## ■各部位の納まり②

### 入隅

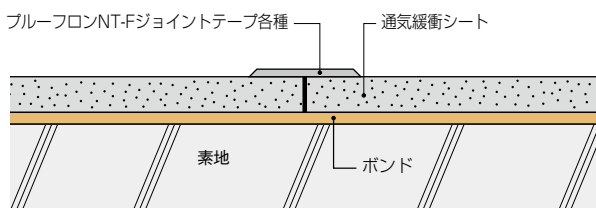


### 出隅

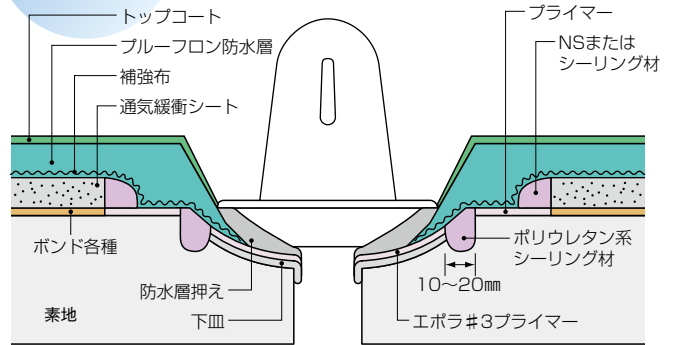


### シート間の接続

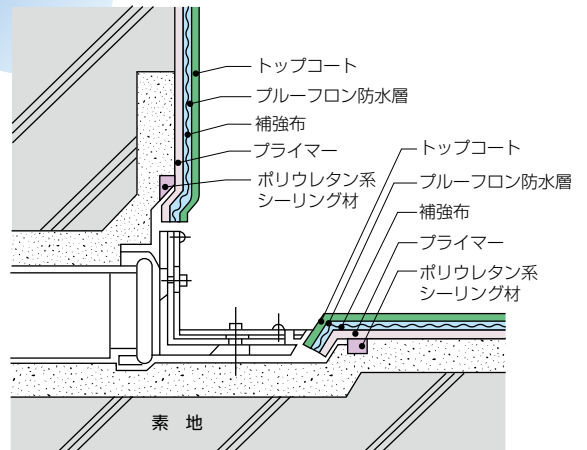
- ブルーフロンNT-Fシート、ブルーフロンNT-Fシート#2、ブルーフロンNT-Fシート#2(フィルム付き)、ブルーフロンNT-Fパンチシートの場合



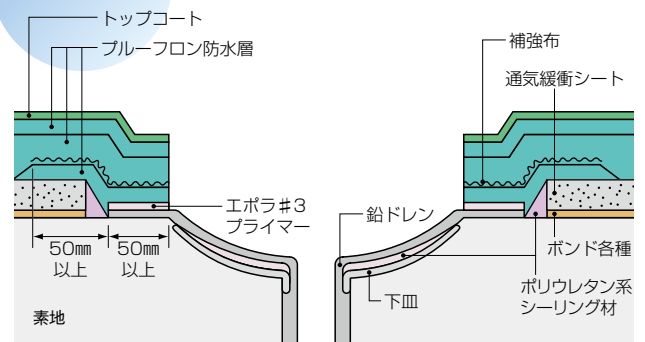
### ドレンまわり(縦引きドレン)



### コーナードレン

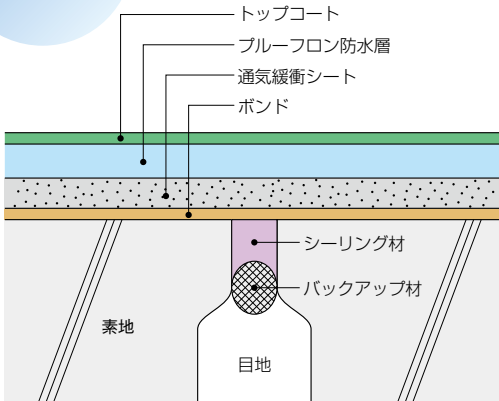


### ドレンまわり(鉛改修ドレン)



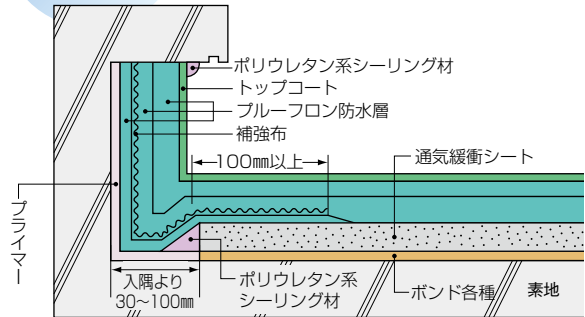
※各部位の納まり図は一般的な例です。すべての施工において適用できるものではありません。

## PC板 PN工法[通気緩衝工法]

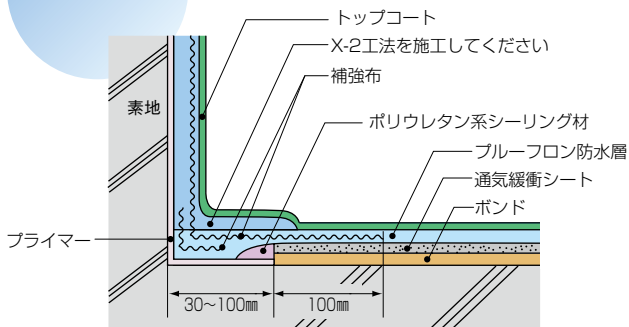


## 立上がり部 PN工法[通気緩衝工法]

●使用シート：ブルーフロンNT-Fシート、ブルーフロンNT-Fシート#2、ブルーフロンNT-Fパンチシート

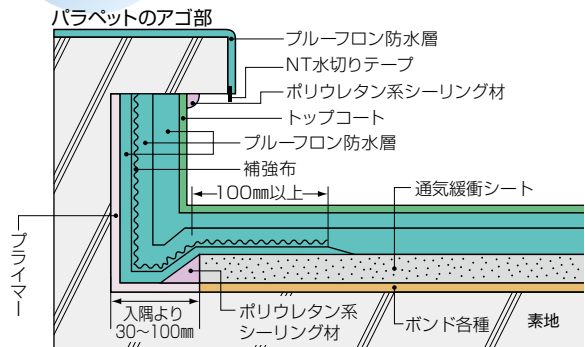


## 壁立上がり③ ※X-1工法とX-2工法の取り合い



## 立上がり部 PN工法[通気緩衝工法]

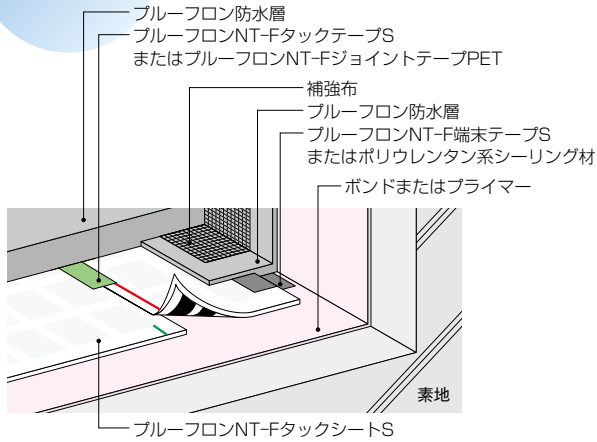
●ブルーフロンNT-Fシート#2、ブルーフロンNT-Fシート#2(フィルム付き)、ブルーフロンNT-Fパンチシートの場合



## ■各部位の納まり③

### シート間の接続

●ブルーフロンNT-FタックシートSの場合

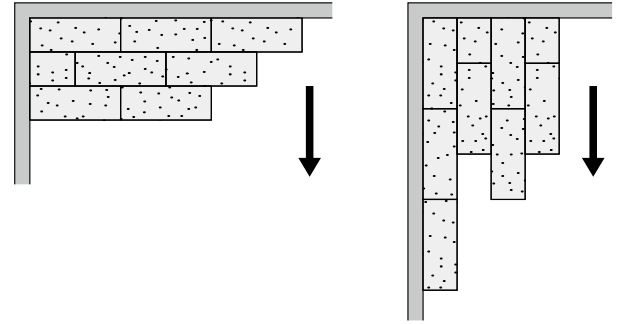


### 各種断熱材の敷並べ図

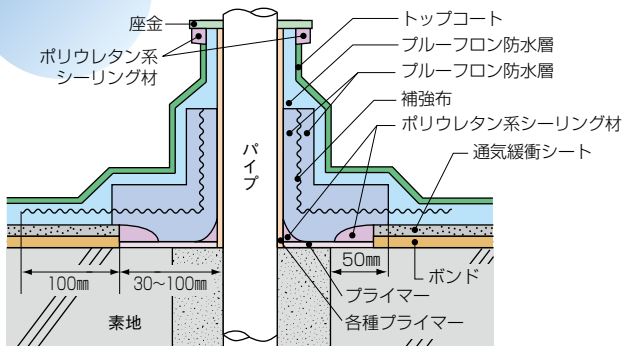
PD工法[断熱・遮熱工法]

PKD工法[機械的固定・断熱・遮熱工法]

※各種硬質断熱材の併せ部は3～5mmの隙間を設けてください。



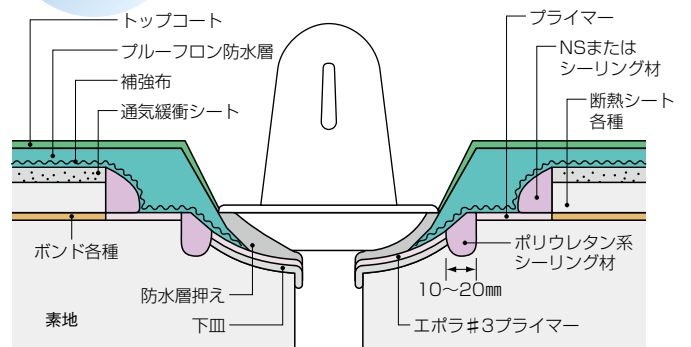
### パイプまわり



### ドレンまわり

PD工法[断熱・遮熱工法]

PKD工法[機械的固定・断熱・遮熱工法]

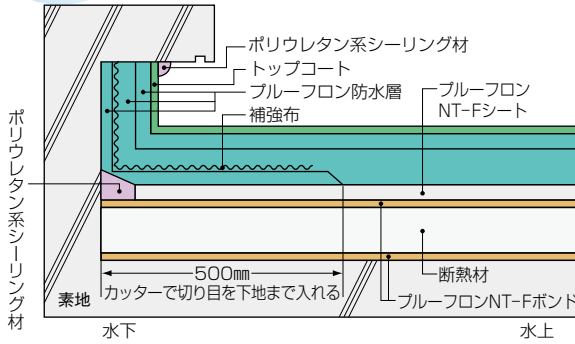




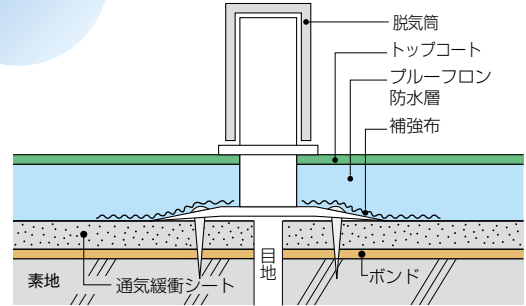
※各部位の納まり図は一般的な例です。すべての施工において適用できるものではありません。

## 立上がり部

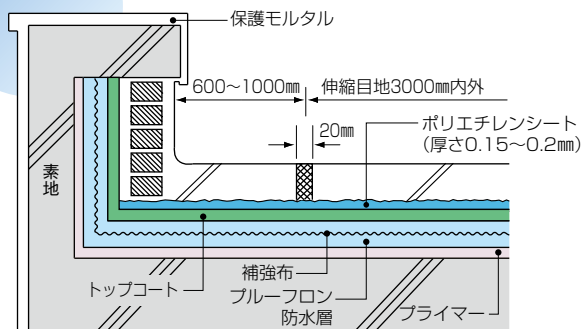
PD工法[断熱・遮熱工法]



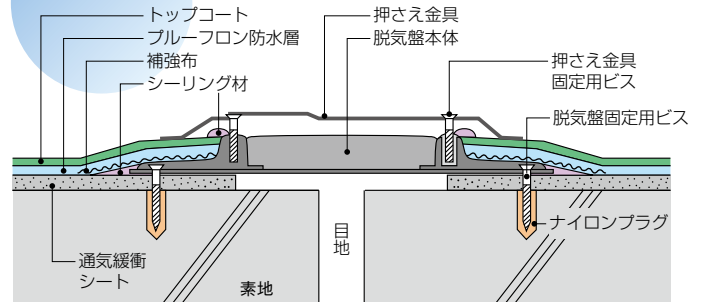
## 脱気筒まわり



## 保護モルタル押さえ



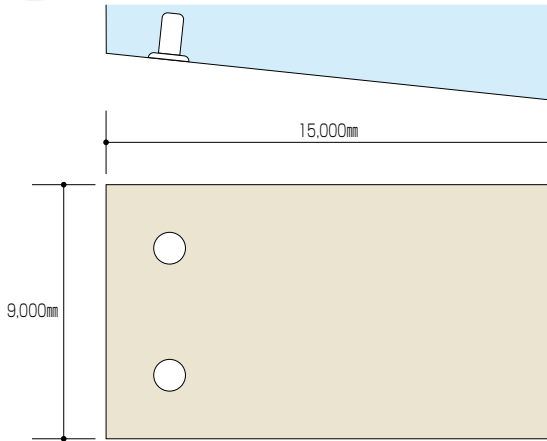
## 脱気盤まわり



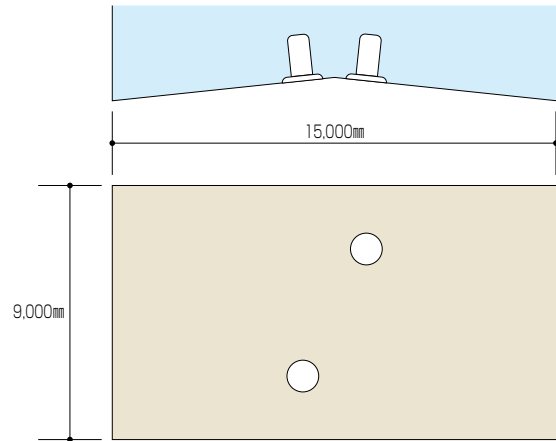
# 脱気筒の施工 (防水層50~100㎡に1カ所設置)

## 脱気筒の設置例 (50~100㎡に1カ所)

### ■片流れ勾配

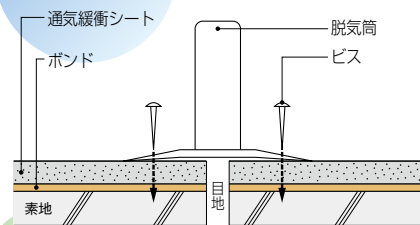


### ■両流れ勾配

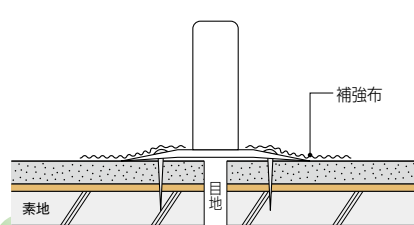


■注意事項 ●1日のうちでもっとも長い時間日光の当たる場所の、いちばん高い位置に設置してください。

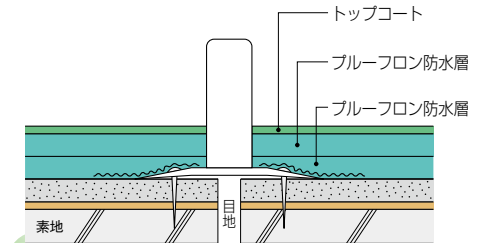
## 脱気筒施工の工程



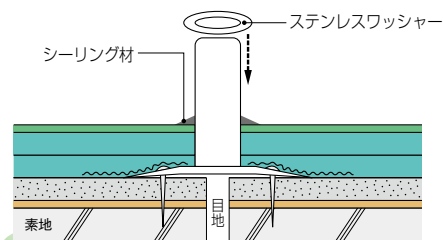
1 通気緩衝シートを貼ったあと、脱気筒をビスで固定してください。その後、脱気筒の下部全体にプライマーを施工してください。



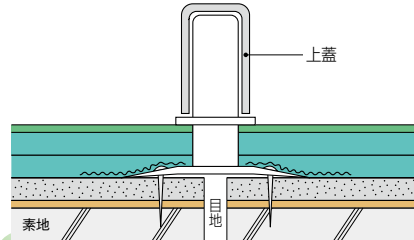
2 脱気筒本体周りを補強布で覆ってください。



3 各種の防水施工を行なってください。



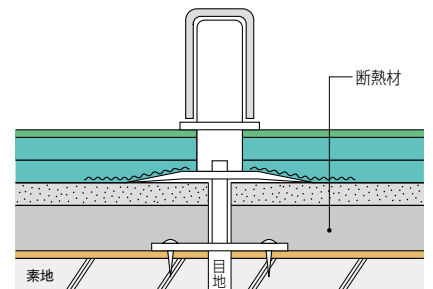
4 脱気筒と接合する防水層端末部分をシーリングし、ステンレスワッシャーを取り付けてください。



5 外筒が回らないように固定しながら、上蓋を締めてください。

■注意事項 ●外筒の取り付け方向に注意し、上蓋を締めながら固定してください。  
●各リングの取り付け位置に注意してください。

### PKD、PD工法で断熱材を使用した場合の納まり図(コア付きを使用した場合)



# 高品質を裏づける製品基本データ。

## ブルーフロンプライマー各種

製品名	ブルーフロン プライマーS	ブルーフロン プライマーU	ブルーフロン プライマー	ブルーフロンエコ プライマー	ブルーフロンエコ 水性プライマー ホワイト	NT塩ビシート用 プライマー	ブルーフロン 塗り替え用 プライマー	
タイプ	標準タイプ	速乾タイプ 塗り替え用	高粘度タイプ	環境対応 速乾タイプ	環境対応 水性タイプ	速乾タイプ	速乾タイプ 塗り替え用	
樹脂系	ウレタン樹脂系	ウレタン樹脂系	ウレタン樹脂系	ウレタン樹脂系	エポキシ樹脂系	ウレタン樹脂系	ウレタン樹脂系	
	溶剤型1液	溶剤型1液	溶剤型1液	溶剤型1液	水性2液	溶剤型1液	溶剤型1液	
荷姿	16kg, 4kg	16kg, 4kg	16kg	16kg	16kgセット (A液8kg : B液8kg)	12kg	12kg	
混合比(重量比)	—	—	—	—	A:B=1:1	—	—	
可使時間(23℃)	—	—	—	—	3時間	—	—	
施工間隔	5~15℃	4~72時間	3~12時間	6~72時間	3~12時間	10~24時間	3~6時間	3~6時間
	15~25℃	3~72時間	2~12時間	4~72時間	2~12時間	4~24時間	2~6時間	2~6時間
	25~35℃	2~72時間	2~12時間	3~72時間	2~12時間	3~24時間	1~6時間	1~6時間

- 施工間隔が短かすぎた場合、フクレ、剥離の原因となります。施工間隔が開きすぎた場合は必ず艶がなくなるまでサンディング、清掃を行なった後に再度プライマーを塗布してください。
- ブルーフロンエコ速乾、エコ速乾NSの上に別のタイプの防水材を塗り重ねる場合、再度プライマーが必要になります。

### 【プライマーと下地の適合性】 希釈について：原液=◎ 倍希釈=○倍 使用不可=×

製品名	ブルーフロン プライマーS	ブルーフロン プライマーU	ブルーフロン プライマー	ブルーフロンエコ プライマー	ブルーフロンエコ 水性プライマー ホワイト	NT塩ビシート用 プライマー	ブルーフロン 塗り替え用 プライマー
モルタル、コンクリート	◎	◎	◎	◎	◎	×	×
既存ウレタン塗膜 防水材	○倍	○倍	×	○倍	×	×	◎
層間の塗り継ぎ	○倍	○倍	×	○倍	×	×	◎
塩ビシート	×	×	×	×	×	◎	×
FRP防水材	×	○倍	×	○倍	×	×	◎
エポキシ樹脂塗膜	×	○倍	×	○倍	○	×	◎

- FRP樹脂、エポキシ樹脂は必ず表面のサンディングが必要になります。
  - ブルーフロンプライマーS、ブルーフロンプライマーUの希釈はブルーフロンGRトップシンナーを使用してください。ブルーフロンエコプライマーはブルーフロンエコシンナーを使用してください。環境対応仕様はブルーフロンエコプライマーをブルーフロンエコシンナーにて倍希釈して使用してください。
- ※既存塗膜が水性やシルバーの場合、著しく劣化している場合などは別途ご相談ください。

### 【プライマーと防水材の適合性】 ○=適合 ○環=環境対応型適合

製品名	ブルーフロン エコ	ブルーフロン バリュー	ブルーフロン エコ速乾	ブルーフロン エコMID	ブルーフロン エコ目止材	ブルーフロン エコNS	ブルーフロン バリューNS	ブルーフロン エコ速乾NS	ブルーフロン QS
ブルーフロンプライマーS	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ブルーフロンプライマーU	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ブルーフロンプライマー	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ブルーフロンエコプライマー	○環	○	○環	○環	○環	○環	○	○環	○
ブルーフロン エコ水性プライマー ホワイト	○環	○	○環	○環	○環	○環	○	○環	○
NT塩ビシート用プライマー	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ブルーフロン塗り替え用プライマー	○	○	○	○	○	○	○	○	○



## ブルーフロン金属面用プライマー各種

製品名	エボラ#2プライマー	エボラ#3プライマー	シルビア金属用プライマーM	エボラ#3000Sプライマー	
樹脂系	変性エポキシ樹脂系	エポキシ樹脂系	エポキシ樹脂系	エポキシ樹脂系	
	弱溶剤型2液	溶剤型2液	溶剤型2液	溶剤型2液	
荷姿	16kgセット (A液14.4kg：B液1.6kg)	16.5kgセット (A液15kg：B液1.5kg)	18kgセット (A液15kg：B液3kg)	8ℓセット (A液4ℓ：B液4ℓ)	
混合比(重量比)	A液：B液=9：1	A液：B液=10：1	A液：B液=5：1	A液：B液=1：1(容量比)	
標準塗布量	0.15kg/㎡	0.15kg/㎡	0.15kg/㎡	0.1kg/㎡	
希釈シンナー名称と 刷毛、ローラー施工時の 希釈率(セットに対し)	塗料用シンナーA 0～10%	エボラ#3シンナー 10～15%	シルビアEシンナー 10～15%	原液にて塗布	
可使時間(23℃)	6時間	6時間	8時間	8時間	
施工間隔	5～15℃	12～72時間	12～72時間	12～72時間	4～12時間
	15～25℃	6～72時間	6～72時間	6～72時間	3～12時間
	25～35℃	5～72時間	5～72時間	5～72時間	2～12時間

●降雨に曝されたり、施工間隔を超えた場合はブルーフロンプライマーU、ブルーフロンプライマーSの施工が必要となります。

### 【金属面用プライマーと下地の適合性】 適合=○ 使用不可=×

製品名	エボラ#2プライマー	エボラ#3プライマー	シルビア金属用プライマーM	エボラ#3000Sプライマー
鋼板	○	×	○	○
アルミ板	×	○	×	○
ステンレス板	×	○	×	○
ガルバニウム鋼板	×	○	×	○
旧塗膜有(塩ビ系樹脂以外)	○	×	×	×
鉛	×	○	×	○
鋳物	×	×	○	○
ブリキ	×	○	×	○
銅	×	×	×	○
垂鉛メッキ鋼板	×	○	×	○
ウレタン防水	×	×	×	×

●降雨に曝されたり、施工間隔を超えた場合はブルーフロンプライマーU、ブルーフロンプライマーSの施工が必要となります。

●フッ素鋼板の場合はメーカー、経過年数、劣化状況により、付着性が異なるため、必ず施工前に付着性試験を行なってください。

### 【金属面用プライマーと防水材の適合性】 ○=適合

製品名	ブルーフロン エコ	ブルーフロン バリュー	ブルーフロン エコ速乾	ブルーフロン エコMID	ブルーフロン エコ目止材	ブルーフロン エコNS	ブルーフロン バリューNS	ブルーフロン エコ速乾NS	ブルーフロン QS
エボラ#2プライマー	○	○	○	○	○	○	○	○	○
エボラ#3プライマー	○	○	○	○	○	○	○	○	○
シルビア金属用プライマーM	○	○	○	○	○	○	○	○	○
エボラ#3000Sプライマー	○	○	○	○	○	○	○	○	○



# ブルーフロン防水層各種

製品名	ブルーフロン エコ	ブルーフロン バリュー	ブルーフロン エコ速乾※	ブルーフロン エコMID	ブルーフロン エコ目止材	ブルーフロン エコNS	ブルーフロン バリュー NS	ブルーフロン エコ速乾NS※	ブルーフロン QS
混合比 (主剤：硬化剤)	1：2	1：3	1：2	1：2	1：2	1：2	1：3	1：2	1：1 (A液：B液)
硬化物比重	1.3	1.4	1.3	1.3	1.3	1.3	1.4	1.3	1.0
JIS A 6021	ウレタンゴム系 高伸長形 (旧1類)一般用	ウレタンゴム系 高伸長形 (旧1類)一般用	ウレタンゴム系 高伸長形 (旧1類)一般用	ウレタンゴム系 高伸長形 (旧1類)一般用	ウレタンゴム系 高伸長形 (旧1類)共用	ウレタンゴム系 高伸長形 (旧1類)立上がり用	ウレタンゴム系 高伸長形 (旧1類)立上がり用	ウレタンゴム系 高伸長形 (旧1類)立上がり用	ウレタンゴム系 高伸長形 (旧1類)共用
JIS認証番号	JP0308008JP	JP0308008JP	JP0308008JP	JP0308008JP	JP0308008JP	JP0308008JP	JP0308008JP	JP0308008JP	TC 03 07 200 EBS
特長	環境対応型 鉛フリー	一般用平場向	速乾タイプ 環境対応型 鉛フリー 特化則非該当	環境対応型 鉛フリー	環境対応型 鉛フリー	環境対応型 鉛フリー ノンサグタイプ	一般用 ノンサグタイプ	速乾タイプ 環境対応型 鉛フリー 特化則非該当 ノンサグタイプ	超速硬化型 特化則非該当

※「ブルーフロンエコ速乾」「ブルーフロンエコ速乾NS」は他の防水材との組み合わせや塗り重ね、取り合いが生じた場合、付着不良が起るため同一現場で併用しないでください。「ブルーフロンエコ速乾」「ブルーフロンエコ速乾NS」の硬化を速める場合は、「ブルーフロンエコ速乾専用硬化促進剤」をご使用ください。

## 【増粘剤のセット(重量比)に対する添加量】

製品名		ブルーフロンエコ	ブルーフロンバリュー	ブルーフロンエコ速乾	ブルーフロンエコMID
商品入目		18kgセット	20kgセット	18kgセット	18kgセット
ミルコンMS-2 (ダレ止め剤)	45°以下の勾配	0.5～0.6kg	0.5～0.6kg	0.7～0.8kg	0～0.3kg
	45°以上の勾配	1.0～1.2kg	1.0～1.2kg	1.0～1.4kg	0～0.5kg
液状ダレ止め剤	45°以下の勾配	0.1～0.2kg	0.1～0.2kg	使用不可	0～0.2kg
	45°以上の勾配	0.3～0.5kg	0.3～0.5kg	使用不可	0.2～0.5kg

●液状ダレ止め剤の添加量は最大3%までとしてください。

●ブルーフロンエコ、ブルーフロンエコMIDIに液状ダレ止め剤を添加した場合、環境対応にはなりません。

## 【硬化促進剤のセット(重量比)に対する添加量】

●ブルーフロンエコ ホワイト遮熱の促進剤添加量は3ページの表をご参照ください。

●ブルーフロンエコ、ブルーフロンエコMID、ブルーフロンエコNS、ブルーフロンエコ目止材への  
**ブルーフロンエコ専用硬化促進剤**の添加量

	硬化促進剤の 添加量 (18kgセットに対して)	気温	可使用時間	次工程までの 時間
冬型の硬化剤を使用した場合	添加なし	10℃	40分	24～72時間
		15℃	30分	18～72時間
		20℃	20分	18～72時間
	0.03kg	10℃	30分	24～72時間
		15℃	20分	24～72時間
		20℃	15分	18～72時間
	0.06kg	5℃	30分	18～72時間
		10℃	20分	18～72時間
		15℃	15分	16～72時間
	0.10kg	5℃	25分	12～72時間
		10℃	15分	10～72時間
	0.15kg	5℃	15分	8～72時間
夏型の硬化剤を使用した場合	添加なし	15℃	50分	24～72時間
		20℃	40分	24～72時間
		25℃	30分	18～72時間
	0.03kg	15℃	40分	24～72時間
		20℃	30分	18～72時間
		25℃	20分	12～72時間
	0.06kg	15℃	30分	18～72時間
		20℃	20分	12～72時間
		25℃	15分	8～72時間
	0.10kg	15℃	25分	14～72時間
		20℃	15分	8～72時間
	0.15kg	15℃	15分	8～72時間

●硬化促進剤は最大1%までの添加としてください。

●ブルーフロンバリュー、ブルーフロンバリューNSへの  
**ウレタンゴム用硬化促進剤**の添加量

	硬化促進剤の 添加量 (20kgセットに対して)	気温	可使用時間	次工程までの 時間
冬型の硬化剤を使用した場合	添加なし	10℃	40分	24～72時間
		15℃	30分	18～72時間
		20℃	20分	18～72時間
	0.1kg	10℃	30分	24～72時間
		15℃	20分	18～72時間
		20℃	10分	12～72時間
	0.2kg	5℃	30分	24～72時間
		10℃	20分	18～72時間
		15℃	15分	12～72時間
	0.3kg	5℃	25分	10～72時間
		10℃	15分	8～72時間
	0.5kg	5℃	15分	6～72時間
夏型の硬化剤を使用した場合	添加なし	15℃	50分	24～72時間
		20℃	40分	24～72時間
		25℃	30分	18～72時間
	0.1kg	15℃	40分	24～72時間
		20℃	30分	18～72時間
		25℃	20分	12～72時間
	0.2kg	15℃	30分	24～72時間
		20℃	20分	18～72時間
		25℃	15分	12～72時間
	0.3kg	15℃	25分	10～72時間
		20℃	15分	8～72時間
	0.4kg	15℃	15分	6～72時間

●硬化促進剤は最大3%までの添加としてください。

●ブルーフロンエコ速乾、ブルーフロンエコ速乾NSへの  
**ブルーフロンエコ速乾専用硬化促進剤**の添加量

	硬化促進剤の 添加量 (18kgセットに対して)	気温	可使用時間	次工程までの 時間
添加なし		10℃	40分	12～48時間
		15℃	30分	6～48時間
		20℃	20分	4～48時間
		5℃	30分	8～48時間
0.03kg		10℃	20分	6～48時間
		15℃	15分	4～48時間
		0.06kg	5℃	25分
0.06kg		10℃	15分	4～48時間
		0.18kg	5℃	15分

●硬化促進剤は最大1.5%までの添加としてください。

# ブルーフロントップコート各種

## 【溶剤タイプ】

製品名	ブルーフロン GRトップ遮熱	ブルーフロン GRトップ フッ素	ブルーフロンEGトップ シリコンマイルド※1	ブルーフロン GRトップ	ブルーフロン GRトップ艶消T	ユータックFT
樹脂系	溶剤型2液 アクリルウレタン樹脂系	溶剤型2液 フッ素樹脂系	弱溶剤型2液 シリコン樹脂系	溶剤型2液 アクリルウレタン樹脂系	溶剤型2液 アクリルウレタン樹脂系	溶剤型2液 アクリルウレタン樹脂系
備考	遮熱タイプ 艶あり	超高耐候性タイプ 艶あり	超高耐候性、既調合タイプ 艶あり	標準タイプ 艶あり	軽量骨材入りタイプ 艶消し	標準タイプ 艶あり
荷姿	18kgセット (A液15kg、B液3kg) 6kgセット (A液5kg、B液1kg)	18kgセット (A液15kg、B液3kg) 6kgセット (A液5kg、B液1kg)	16kgセット (A液12kg、B液4kg)	18kgセット (A液15kg、B液3kg) 6kgセット (A液5kg、B液1kg)	14kgセット (A液12kg、B液2kg)	18kgセット (A液15kg、B液3kg) 6kgセット (A液5kg、B液1kg)
混合比(重量比)	A液：B液=5：1	A液：B液=5：1	A液：B液=3：1	A液：B液=5：1	A液：B液=6：1	A液：B液=5：1
希釈率(セットに対して)	0～20%	0～20%	無希釈	0～20%	0～20%	0～20%
可使時間(23℃)	4時間以内	4時間以内	4時間以内	4時間以内	4時間以内	4時間以内
歩行可能時間(23℃)	24時間以上	24時間以上	24時間以上	24時間以上	24時間以上	24時間以上

## 【水性タイプ】

製品名	ブルーフロンエコ 水性GRトップ遮熱※2	ブルーフロンエコ 水性GRトップ※2	ブルーフロンエコ 水性トップ	ブルーフロン 水性上塗シルバー
樹脂系	水性2液 水性アクリルウレタン 樹脂系	水性2液 水性アクリルウレタン 樹脂系	水性1液、 無機質系骨材入り 水性アクリル樹脂系	水性1液 水性アクリル樹脂系
備考	環境対応遮熱タイプ 艶あり	環境対応タイプ 艶あり	環境対応タイプ 艶消し骨材入り	非歩行用 シルバー色
荷姿	11kgセット (A液10kg、B液1kg)	11kgセット (A液10kg、B液1kg)	20kg	16kg
混合比(重量比)	A液：B液=10：1	A液：B液=10：1	—	—
希釈率(セットに対して)	0～2%	0～2%	0～30%	無希釈
標準塗布量	0.2kg/㎡	0.2kg/㎡	0.35kg/㎡×2回	0.2kg/㎡
可使時間(23℃)	1時間以内	1時間以内	—	—
歩行可能時間(23℃)	24時間以上	24時間以上	24時間以上	24時間以上

※1：ブルーフロンEGトップシリコンマイルドは他のトップコートと比較し、硬化が遅いため、養生テープなどは施工しながら取り除いてください。翌日以降に養生テープを剥がすと、端末からの剥離が生じやすいため、ご注意ください。冬場などで粘度が高い場合はブルーフロンエコシンナーにて希釈を行なってください(塗料用シンナーAでは溶解しません)。

※2：ブルーフロンエコ水性GRトップ遮熱、ブルーフロンエコ水性GRトップの場合、施工後の補修、タッチアップは指触乾燥後24時間以内(23℃)に行なってください。それ以上施工間隔が離れた場合は付着力が弱くなるため、別途プライマーが必要となります。

## 【トップコートと防水層の適合性】 ○=推奨仕様 ×=使用不可(付着不良)

製品名	ブルーフロン エコ	ブルーフロン バリュー	ブルーフロン エコ速乾	ブルーフロン エコMID	ブルーフロン エコNS	ブルーフロン バリューNS	ブルーフロン エコ速乾NS	ブルーフロン QS
ブルーフロンGRトップ遮熱	○	○	○	○	○	○	○	○
ブルーフロンGRトップ フッ素	○	○	○	○	○	○	○	○
ブルーフロンEGトップ シリコンマイルド	○	○	○※	○	○	○	○※	○※
ブルーフロンGRトップ	○	○	○	○	○	○	○	○
ブルーフロンGRトップ艶消T	○	○	○	○	○	○	○	○
ブルーフロンエコ水性GRトップ	○	○※	○	○	○	○※	○	○※
ブルーフロンエコ水性トップ	○※	○※	○※	○※	○※	○※	○※	○※
ブルーフロン水性上塗シルバー	○	○	×	○	○	○	×	○

※ブルーフロン塗り替え用プライマーもしくはブルーフロンプライマーUを倍希釈して施工し、6時間以内に該当のトップコートを施工してください(環境対応仕様はブルーフロンエコプライマーをブルーフロンエコシンナーにて倍希釈して使用してください/46ページをご参照ください)。

## 【防滑材の重量比に対する混入比】

製品名	ブルーフロン GRトップ遮熱	ブルーフロン GRトップ フッ素	ブルーフロンEGトップ シリコンマイルド	ブルーフロン GRトップ	ブルーフロンエコ 水性GRトップ遮熱	ブルーフロンエコ 水性GRトップ	ユータック FT
エストップ#20、 ブルーフロンチップ	3～5%	3～5%	3～5%	3～5%	3～5%	3～5%	3～5%
NTマイクロ骨材	2%	2%	2%	2%	2%	2%	2%



## ブルーフロン通気緩衝シート各種

製品名	ブルーフロン NT-FタックシートS	ブルーフロン NT-Fシート	ブルーフロン NT-Fシート#2	ブルーフロン NT-Fシート#2(フィルム付き)	ブルーフロン NT-Fパンチシート	
組成	自着層付き不織布改質 アスファルト横層シート	発泡ポリエチレン サンドシート	ポリエチレン不織布シート	ポリエチレン不織布シート (フィルム付き)	ポリエチレン不織布シート	
寸法	幅1.04m×長さ15.7m/巻	幅1.15m×長さ30m/巻	幅1.0m×長さ25m/巻	幅1.0m×長さ25m/巻	幅1.0m×長さ50m/巻	
厚さ(平均)	1.4mm	3.0mm	1.4mm	1.4mm	1.4mm	
引張強度 N/50	縦	780	320	578	1,220	592
	横	760	165	549	1,180	567
伸び	縦	4%	26%	69%	74%	74%
	横	4%	25%	71%	61%	71%
ジョイントテープ の種類	ブルーフロンNT-FタックテープS ブルーフロンNT-FジョイントテープPET ブルーフロンNT-F端末テープS	ブルーフロンNT-F ジョイントテープ	ブルーフロンNT-F ジョイントテープ	ブルーフロンNT-F ジョイントテープPET	ブルーフロンNT-F ジョイントテープ	

- ブルーフロンNT-Fパンチシートの物性値はパンチ処理前の値となります。●いずれの物性値も代表値であり、保証値ではありません。
- ブルーフロンNT-FタックシートSの裏面には接着層が0.2kg/m<sup>2</sup>コーティングされています。
- ブルーフロンNT-Fシート#2(フィルム付き)とブルーフロン速乾の組み合わせはできません。
- ブルーフロンNT-FタックシートS(突き付けタイプ)は幅1m×長さ15mの寸法となります。

### 【接着剤(ボンドとプライマー)の塗布方法】

製品名	成分	標準塗布量	塗布 部位	塗装方法	シート張りまでの施工間隔 (23℃)
ブルーフロンNT-Fボンド	クロロプレンゴム系	0.6~0.8kg/m <sup>2</sup> (下地0.3kg、シート0.3kg)	両面	ローラー、刷毛	20分~8時間
ブルーフロンNT-F水性ボンド	水性エマルジョン樹脂系	0.3~0.6kg/m <sup>2</sup>	片面	専用クシゴテ、ローラー	直ちに(0分~20分)
ブルーフロンNT-FエコボンドH	環境対応型1液湿気硬化ウレタン樹脂系	0.3~0.6kg/m <sup>2</sup>	片面	専用クシゴテ	直ちに(0分~20分)
ブルーフロンNT-FタックシートS用ボンド	1液湿気硬化溶剤ウレタン樹脂系	0.2~0.3kg/m <sup>2</sup>	片面	ローラー、刷毛	2時間~12時間
ブルーフロンエコボンド	環境対応型1液湿気硬化溶剤ウレタン樹脂系	0.2~0.3kg/m <sup>2</sup>	片面	ローラー、刷毛	2時間~12時間
ブルーフロンエコ水性ボンドホワイト	環境対応型2液水性エポキシ樹脂系	0.2~0.3kg/m <sup>2</sup>	片面	ローラー、刷毛	4時間~24時間
ブルーフロンプライマー-S	1液湿気硬化溶剤ウレタン樹脂系	0.2~0.3kg/m <sup>2</sup>	片面	ローラー、刷毛	3時間~72時間
ブルーフロンプライマー-U	1液湿気硬化溶剤ウレタン樹脂系	0.2~0.3kg/m <sup>2</sup>	片面	ローラー、刷毛	2時間~12時間
ブルーフロンエコプライマー	環境対応型1液湿気硬化溶剤ウレタン樹脂系	0.2~0.3kg/m <sup>2</sup>	片面	ローラー、刷毛	2時間~12時間
ブルーフロンエコ水性プライマーホワイト	環境対応型2液水性エポキシ樹脂系	0.2~0.3kg/m <sup>2</sup>	片面	ローラー、刷毛	4時間~24時間

### 【接着用ボンドとプライマーの通気緩衝シートとの適応】 ○=適合 ×=使用不可 ○環=環境対応型への対応用

製品名	ブルーフロン NT-FタックシートS	ブルーフロン NT-Fシート	ブルーフロン NT-Fシート#2	ブルーフロン NT-Fパンチシート
ブルーフロンNT-Fボンド	○※1	○	○	○
ブルーフロンNT-F水性ボンド	×	○環	○環	×
ブルーフロンNT-FエコボンドH	×	○環	○環	○環※2
ブルーフロンNT-FタックシートS用ボンド	○	×	×	×
ブルーフロンエコボンド	○環	×	×	×
ブルーフロンエコ水性ボンド	○環	×	×	×
ブルーフロンプライマー-S	○	×	×	×
ブルーフロンプライマー-U	○	×	×	×
ブルーフロンエコプライマー	○環	×	×	×
ブルーフロンエコ水性プライマーホワイト	○環	×	×	×

●ブルーフロンNT-Fシート#2(フィルム付き)はブルーフロンNT-Fシート#2と同じ適応になります。

※1: ブルーフロンNT-FボンドをブルーフロンNT-FタックシートSに使用する場合、ボンドは下地(片面)のみに塗布してください。

※2: ブルーフロンNT-FエコボンドHをブルーフロンNT-Fパンチシートに使用する場合、ブルーフロンNT-Fパンチシートを張り付け後、次工程へ進める時間は、夏期:3時間以上、冬期:6時間以上を目安としてください。

# 各種の試験で実証された高性能

## ■ブルーフロンシリーズ試験成績

### 防水材各種 試験成績書

試験項目			JIS A 6021:2011 ウレタンゴム系 高伸長形(旧1類)の 要求性能	一般用				立上がり用			共用	
				ブルーフロン エコ	ブルーフロン バリュー	ブルーフロン エコ速乾	ブルーフロン エコMID	ブルーフロン エコNS	ブルーフロン バリューNS	ブルーフロン エコ速乾NS	ブルーフロン エコ目止材	ブルーフロン QS
引張性能	引張強さ N/mm <sup>2</sup>	試験時温度 23℃	2.3以上	3.5	2.5	4.5	3.1	3.9	3.0	5.0	3.9	11.0
		試験時温度-20℃	2.3以上	7.4	6.2	9.7	8.6	10.1	5.8	13.2	10.1	28.1
		試験時温度 60℃	1.4以上	2.9	1.7	3.5	1.9	2.8	2.1	3.4	2.8	7.9
	破断時の伸び率 %	試験時温度 23℃	450以上	950	740	765	660	778	568	626	778	640
		試験時温度 23℃	280以上	660	380	693	400	617	340	626	617	1357
		試験時温度 23℃	300以上	550	420	549	370	514	336	513	514	420
破断時の つかみ間の 伸び率 %	試験時温度 23℃	300以上	550	420	549	370	514	336	513	514	420	
	試験時温度-20℃	250以上	540	460	463	510	627	319	517	627	370	
	試験時温度 60℃	200以上	460	300	435	220	394	247	372	394	340	
引裂性能	引裂強さ N/mm	14以上	17	14	17	16	17	14	17	17	55	
加熱伸縮性状	伸縮率 %	-4.0以上,1.0以下	-0.3	-0.1	-0.3	-0.2	-0.3	-0.8	-0.3	-0.3	-0.3	
劣化処理後 の引張性能	引張強さ比 %	加熱処理	80以上	89	80	113	97	94	94	105	94	100
		促進曝露処理	60以上	86	84	98	90	81	93	95	81	92
		アルカリ処理	60以上	94	112	102	106	99	89	100	99	103
		酸処理	80以上	97	104	114	100	99	103	103	99	98
	破断時の 伸び率 %	加熱処理	400以上	940	810	765	770	698	565	601	698	670
		促進曝露処理	400以上	900	800	730	680	728	535	582	728	530
		アルカリ処理	400以上	970	820	725	670	770	505	620	770	660
		酸処理	400以上	890	870	758	670	753	550	627	753	680
伸び時の劣化性状	加熱処理	いずれの試験片にも、 ひび割れ及び著しい 変形を認めないこと。	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	
	促進曝露処理		合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	
	オゾン処理		合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	
たれ抵抗性能*	たれ長さ mm	いずれの試験体も 3.0以下	-	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	しわの発生	いずれの試験体にも あってはならない。	-	-	-	-	合格	合格	合格	合格	合格	
固形分 %		表示値±3.0	97	96	97	97	97	97	97	97	97	
硬化物密度 Mg/m <sup>3</sup>		表示値±0.1	1.3	1.4	1.3	1.3	1.3	1.4	1.3	1.3	1.0	

※一般平場部に用いる一般用には適用しません。

### トップコート各種 試験成績書一覧

試験項目	試験条件	ブルーフロン GRトップ 遮熱	ブルーフロン GRトップ フッ素	ブルーフロン EGトップ シリコンマイルド	ブルーフロン GRトップ	ブルーフロン GRトップ 艶消T	ブルーフロン エコ 水性GRトップ遮熱	ブルーフロン エコ 水性GRトップ	ブルーフロン エコ 水性トップ	ブルーフロン 水性上塗 シルバー	ユータック FT
付着性	碁盤目(2mm×2mm 100弁) テープテスト	100/100 (残分)	100/100 (残分)	100/100 (残分)	100/100 (残分)	100/100 (残分)	100/100 (残分)	100/100 (残分)	100/100 (残分)	100/100 (残分)	100/100 (残分)
耐水性	蒸留水に浸漬	異常なし (30日間)	異常なし (30日間)	異常なし (30日間)	異常なし (30日間)	異常なし (30日間)	異常なし (30日間)	異常なし (30日間)	異常なし (30日間)	異常なし (7日間)	異常なし (30日間)
耐アルカリ性	5%水酸化ナトリウム に浸漬	異常なし (7日間)	異常なし (30日間)	-	異常なし (7日間)	異常なし (7日間)	-	-	異常なし (7日間)	-	異常なし (7日間)
	セメント飽和液に浸漬	異常なし (7日間)	異常なし (7日間)	異常なし (7日間)	異常なし (7日間)	異常なし (7日間)	異常なし (7日間)	異常なし (7日間)	異常なし (7日間)	異常なし (7日間)	異常なし (7日間)
耐酸性	5%硫酸に浸漬	異常なし (7日間)	異常なし (30日間)	異常なし (7日間)	異常なし (7日間)	異常なし (7日間)	異常なし (7日間)	異常なし (7日間)	異常なし (7日間)	-	異常なし (7日間)
	5%塩酸に浸漬	異常なし (7日間)	異常なし (30日間)	異常なし (7日間)	異常なし (7日間)	異常なし (7日間)	異常なし (7日間)	異常なし (7日間)	異常なし (7日間)	-	異常なし (7日間)
促進耐候性	サンシャイン ウエザオメーター	異常なし (1000時間)	異常なし (3000時間)	異常なし (2000時間)	異常なし (1000時間)	異常なし (1000時間)	異常なし (1000時間)	異常なし (1000時間)	異常なし (1000時間)	異常なし (1000時間)	異常なし (1000時間)
凍結融解 サイクル	80℃×6時間+ 水中(20℃)×2時間+ 水中凍結(-20℃)×16時間 を1サイクルとして30サイクル	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	-	-	異常なし	-	異常なし
屋外暴露		異常なし (1年間)	異常なし (3年間)	異常なし (2年間)	異常なし (1年間)	異常なし (1年間)	異常なし (1年間)	異常なし (1年間)	異常なし (1年間)	異常なし (1年間)	異常なし (1年間)

# ブルーフロンシリーズ副資材一覧



**ブルーフロンNT-F  
タックシートS** (自着層付きタイプ)

- 荷姿：厚さ1.4mm×幅1.04m×長さ15.7m/巻
- 適用：PK、PKD、PN工法用シート

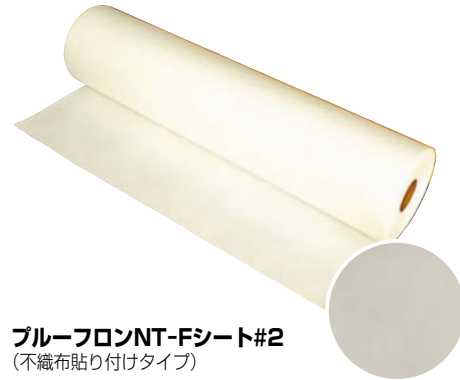
ガラス補強布、改質アスファルトの積層シートです。表面にはウレタン防水材と相性のよい特殊加工が施され、水のしみ込みリスクを低減します(突き付けタイプ厚さ1.4mm×幅1m×長さ15mは受注生産となります)。



**ブルーフロンNT-Fシート**  
(不織布貼り付けタイプ)

- 荷姿：厚さ3.0mm×幅1.15m×長さ30m/巻
- 適用：PN工法用シート

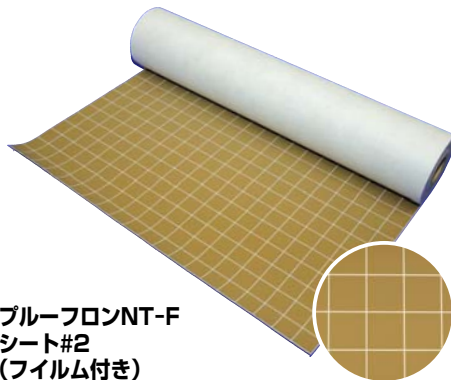
高分子膜を中間層として両面を不織布で被覆した通気緩衝特殊シートです。軽微な不陸調整も兼ね、亀裂などを吸収する働きもあります。



**ブルーフロンNT-Fシート#2**  
(不織布貼り付けタイプ)

- 荷姿：厚さ1.4mm×幅1.0m×長さ25m/巻
- 適用：PN工法用シート

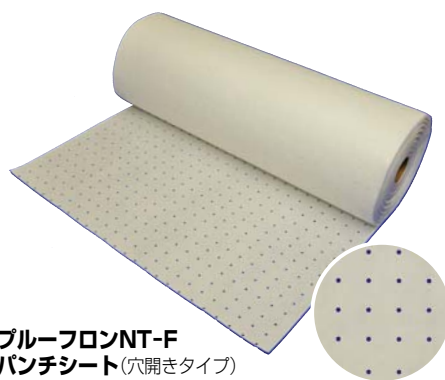
高分子膜を中間層として両面を不織布で被覆した通気緩衝特殊シートです。亀裂などを吸収する働きもあります。



**ブルーフロンNT-F  
シート#2**  
(フィルム付き)

- 荷姿：厚さ1.4mm×幅1.0m×長さ25m/巻
- 適用：PN工法用シート

ブルーフロンNT-Fシート#2の表面に特殊ポリエステルフィルムを貼り合わせ、シート単位での雨養生を可能としたハイブリッドタイプです。ブルーフロンエコ速乾との組み合わせはできません。



**ブルーフロンNT-F  
パンチシート** (穴開きタイプ)

- 荷姿：厚さ1.4mm×幅1.0m×長さ50m/巻
- 適用：PN工法用シート

ポリエチレン繊維通気緩衝シートで、穴が開いたタイプです。素地に密着しながら発生する蒸気を脱気装置へ導きます。



**ブルーフロンNT-FタックテープS**

- 荷姿：幅30mm×長さ50m/巻 1本単位
- 適用シート：ブルーフロンNT-FタックシートS

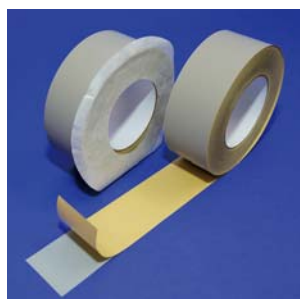
ポリエステル製粘着層付きのジョイント処理用テープです。



**ブルーフロンNT-F  
ジョイントテープ**

- 荷姿：幅50mm×長さ50m/巻 1本単位
- 適用シート：ブルーフロンNT-Fシート、ブルーフロンNT-Fシート#2、ブルーフロンNT-Fパンチシート

不織布粘着層付きのジョイント処理用テープです。



**ブルーフロンNT-F  
ジョイントテープPET**

- 荷姿：幅50mm×長さ50m/巻 1本単位
- 適用シート：ブルーフロンNT-FタックシートS、ブルーフロンNT-Fシート#2(フィルム付き)

幅が広く作業性に優れたジョイント処理用テープです。



**ブルーフロンNT-F端末テープS**

- 荷姿：幅75mm×長さ25m/巻 1本単位
- 適用シート：ブルーフロンNT-FタックシートS

ブチルゴム製粘着層付きの端末処理用テープです。

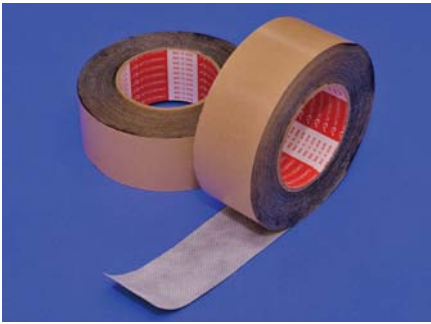


**ブルーフロン補強テープ**  
(粘着剤付き)

- 荷姿：幅0.14m×長さ50m/巻  
幅0.2m×長さ50m/巻  
幅0.3m×長さ50m/巻  
幅0.5m×長さ50m/巻

高強度ビニロクロス(アクリル系粘着材)で、防水材の補強および通気シート端末部の押さえ用として使用します。





### NTブチルテープ

- 荷姿：幅50mm×長さ20m/巻  
幅100mm×長さ20m/巻  
1本単位
- 適用：伸縮目地部などに貼り付け

ブチルゴム製粘着層付きの緩衝用テープです。



### NT水切りテープ(粘着剤付き)

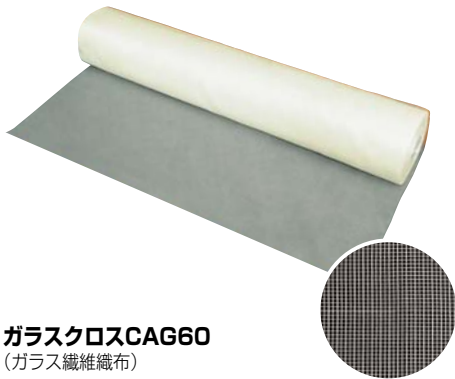
- 荷姿：幅50mm×長さ50m/巻 1本単位
- 適用：水切りがないパラペットのアゴ下に貼り付けて防水材の施工を行ない、雨仕舞いの改善を目的としたテープです。



### ブルーフロン防水材用トナー

- 荷姿：500g 1個単位
- 色相：レッド、ブルー
- 適用：ブルーフロン各種防水材に着色可能な環境対応タイプのトナーです。

現場でブルーフロン各種防水材に添加することで攪拌状態が目視で確認でき、工程管理がしやすくなります。添加量(20~50g/セット)



### ガラスクロスCAG60 (ガラス繊維織布)

- 荷姿：幅1.04m×長さ100m/巻
- 網目状のガラス繊維補強布です。防水材補強布として使用します。(平場用、立上がり用兼用)  
※裁断品(10cm幅、粘着剤付き)もあります。



### ブルーフロンソフトクロス (合成繊維織布)

- 荷姿：幅1.0m×長さ50m/巻
- ポリエステル繊維の防水材用補強布です。下地の凹凸になじみやすく、施工も容易です。(平場用、立上がり用兼用)



### コルバック30H (合成繊維不織布)

- 荷姿：幅1.04m×長さ100m/巻
- ナイロン、ポリエステル複合繊維の防水材補強布です。織布のコシが強く層間剥離が起きません。オープン構造のため、材料の浸透性に優れます。(平場用、立上がり用兼用)



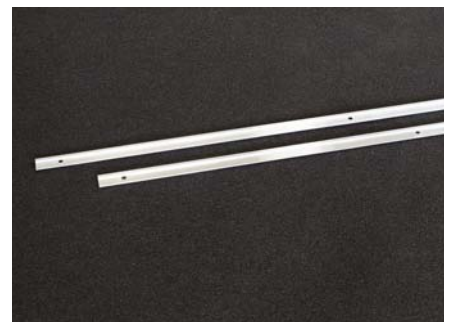
### ブルーフロンW-1クロス (合成繊維不織布)

- 荷姿：幅1.04m×長さ100m/巻
- 特殊ビニロン不織布+ガラス系の不織布です。防水材をよく浸透させ、柔軟性があり、作業性に優れています。防水材全般に使用します。(平場用、立上がり用兼用)



### アルミキャント-40

- 荷姿：幅30-40-30mm×長さ2m×厚さ0.8mm 20本/箱
  - 適用シート：ブルーフロンNT-FタックシートS
- 耐食アルミ製でPK工法(機械的固定工法)・PKD工法(機械的固定・断熱・遮熱工法)入隅コーナー用です。(10穴/本)



### 端末プレート

- 荷姿：幅30mm×長さ2m×厚さ3.3mm 20本/箱
  - 適用シート：ブルーフロンNT-FタックシートS
- 耐食アルミ製でPK工法(機械的固定工法)・PKD工法(機械的固定・断熱・遮熱工法)入隅用です。(5穴/本)





### キャントプレートアンカー40

- 荷姿：  
つば13mm×長さ40mm 500本/箱
  - 適用金物：  
アルミキャント、端末プレート
  - 適用シート：  
ブルーフロンNT-FタックシートS
  - ドリル径：5.5mm
- アルミキャント40、端末プレートを固定するためのプラグです。  
※躯体への埋め込み深さは30mm以上を選定してください。



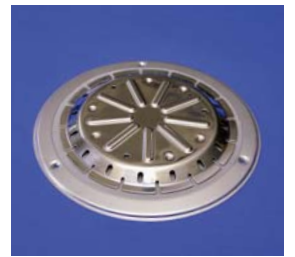
### メカニカルアンカー40、70、100

- 荷姿：つば30mm×長さ40mm、70mm、100mm 500本/箱  
※100mmは受注生産品です。
  - 適用シート：  
ブルーフロンNT-FタックシートS
  - ドリル径：8mm
- 耐食アルミ製でPK工法・PKDI工法用プラグです。  
※躯体への埋め込み深さは30mm以上を選定してください。



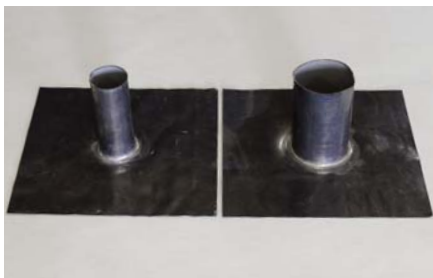
### ステンレス脱気筒

- 荷姿：台座φ190×高さ194mm 2個/箱
  - ドリル径：3.4mm
  - 付属品：補強布、押さえ金具
- 耐食ステンレス製のPN工法(通気緩衝工法)平場用の脱気筒です。耐熱工法各種で使用する場合、専用コアが必要となる場合があります(別売り)。



### 脱気盤

- 荷姿：盤235×17.3mm φ185×高さ12mm 5個/箱
  - ドリル径：5mm
  - 付属品：補強布、押さえ金具
- 変性ポリエチレン製のPN工法(通気緩衝工法)平場用の脱気盤です。耐食ステンレスカバーで劣化を防止します。



### 鉛改修ドレン

- 荷姿：φ70×厚さ1.5mm×つば330mm×330mm 高さ150mm×外径63mm 1個/箱  
φ100×厚さ1.5mm×つば330mm×330mm 高さ150mm×外径95mm 1個/箱
- ※その他φ80、φ90も準備可能です。  
※施工には必ず、金属面用プライマーの塗布が必要です。  
縦、横引き共通の改修用鉛ドレンです。



### 鉛ドレン用蛇腹

- 荷姿：  
φ70用：  
外径71.2mm×長さ500mm 1個/箱  
φ100用：  
外径110.5mm×長さ500mm 1個/箱
- 改修用鉛ドレンに使用する蛇腹で、締め付けバンドが付属しています。



### 目皿(ドレン用ストレーナーキャップ)各種

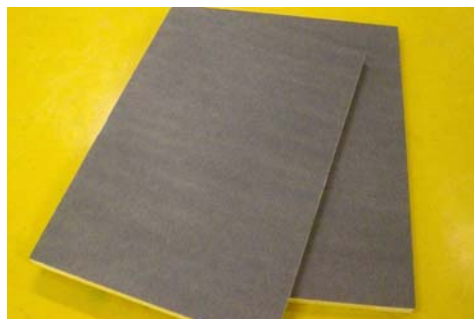
- 荷姿：  
目皿タテ型：配水管径40~100mmの大きさに適用  
目皿ヨコ型：配水管径30~140mmの大きさに適用
- アルミ合金ダイカスト製の目皿です。



### ブルーフロン断熱材 (軟質断熱材)

- 荷姿：  
厚さ10mm×幅1m×長さ50m/巻 直径約850mm  
厚さ15mm×幅1m×長さ25m/巻 直径約730mm  
厚さ20mm×幅1m×長さ25m/巻 直径約850mm  
厚さ25mm×幅1m×長さ2m/枚  
厚さ30mm×幅1m×長さ2m/枚

PD工法(断熱・遮熱工法)用のポリエチレンフォーム製断熱材です(1巻・1枚単位)。



### ブルーフロン硬質断熱材(硬質断熱材)

- 荷姿：※40mm厚は受注生産品です。  
・25mm厚 厚さ25×幅605×長さ910mm 20枚梱包  
・30mm厚 厚さ30×幅605×長さ910mm 17枚梱包  
・35mm厚 厚さ35×幅605×長さ910mm 14枚梱包  
・40mm厚※ 厚さ40×幅605×長さ910mm 12枚梱包  
・50mm厚 厚さ50×幅605×長さ910mm 10枚梱包

PKD工法で、改修工事を行なう場合に使用するポリウレタンフォーム製の断熱材です。



### ビニルキャップ

- 荷姿：M8、M10
- 塩化ビニル樹脂製の金属屋根ボルトキャップです。取り付けが簡単で、しかも美観向上がはかれます。

# ブルーフロンシリーズ製品一覧①

品種	品名	成分、組成、用途	
下地処理材	NTカチオンタイトF	カチオン系ラテックスモルタル樹脂系	
	NTカチオンタイト目地用充填材	ガラス発泡骨材(通気緩衝工法専用下地処理材)	
	NTカチオンフィラー	セメント・ポリマー複合型カチオンセメントフィラー	
	NT速乾カチオンL	速硬型カチオン性無機樹脂系	
	NTミラクルフィラー	エポキシ樹脂系下地処理兼用プライマー	
	NTカチオンエース	セメント・ポリマー複合型カチオンセメントフィラー(プレミックスタイプ)	
金属面用プライマー	エボラ#2プライマー	2液弱溶剤変性エポキシ樹脂系	
	エボラ#3プライマー	2液溶剤エポキシ樹脂系	
	シルビア金属用プライマーM	2液溶剤エポキシ樹脂系	
	エボラ#3000Sプライマー	2液溶剤エポキシ樹脂系	
コンクリートモルタル面用プライマー および塩ビシート用	溶剤系	ブルーフロンプライマーS	湿気硬化型1液ウレタン樹脂系
		ブルーフロンプライマーU	湿気硬化型1液ウレタン樹脂系
		ブルーフロンプライマー	湿気硬化型1液ウレタン樹脂系
		ブルーフロンエコプライマー	湿気硬化型TXフリー1液ウレタン樹脂系：環境対応型
		NT塩ビシートプライマー	湿気硬化型1液ウレタン樹脂系
		スプレーユータックプライマー	湿気硬化型1液ウレタン樹脂系
	水系	ブルーフロンエコ水性プライマーホワイト	2液水性エポキシ樹脂系：環境対応型
塗り替え用	溶剤系	ブルーフロン塗り替え用プライマー	湿気硬化型1液ウレタン樹脂系
URトップコート用	溶剤系	ブルーフロンUR層間プライマー	湿気硬化型1液ウレタン樹脂系
ウレタン塗膜防水材	一般用(平場用)	ブルーフロンエコ	建築用塗膜防水材ウレタンゴム系高伸長形(旧1類) 一般用：環境対応型
		ブルーフロンバリュー	建築用塗膜防水材ウレタンゴム系高伸長形(旧1類) 一般用
		ブルーフロンエコ速乾	建築用塗膜防水材ウレタンゴム系高伸長形(旧1類) 一般用：速乾タイプ、環境対応型、特化則非該当
		ブルーフロンエコMID	建築用塗膜防水材ウレタンゴム系高伸長形(旧1類) 一般用：環境対応型
	立上がり用	ブルーフロンエコNS	建築用塗膜防水材ウレタンゴム系高伸長形(旧1類) 立上がり用：環境対応型
		ブルーフロンバリューNS	建築用塗膜防水材ウレタンゴム系高伸長形(旧1類) 立上がり用
		ブルーフロンエコ速乾NS	建築用塗膜防水材ウレタンゴム系高伸長形(旧1類) 立上がり用：速乾タイプ、環境対応型、特化則非該当
	共用	ブルーフロンエコ目止材	建築用塗膜防水材ウレタンゴム系高伸長形(旧1類) 共用：環境対応型
	超速硬化ウレタン防水材	共用	ブルーフロンQS
超速硬化ウレタン吹付け材		スプレーユータックN	ウレタン樹脂系超速硬化タイプ
ウレタン系保護材		ユータックFエコ	ウレタン樹脂系保護材：環境対応型
トップコート	溶剤系	ブルーフロンGRトップ遮熱	溶剤アクリルウレタン樹脂系
		ブルーフロンGRトップフッ素	溶剤フッ素樹脂系
	弱溶剤系	ブルーフロンEGトップシリコンマイルド	弱溶剤シリコン樹脂系：環境対応型
	溶剤系	ブルーフロンGRトップ	溶剤アクリルウレタン樹脂系
		ブルーフロンGRトップ艶消T	溶剤アクリルウレタン樹脂系
		ユータックFT	溶剤アクリルウレタン樹脂系
		スプレーユータック上塗	溶剤アクリルウレタン樹脂系
	水系	ブルーフロンエコ水性GRトップ遮熱	水性アクリルウレタン樹脂系：環境対応型
		ブルーフロンエコ水性GRトップ	水性アクリルウレタン樹脂系：環境対応型
		ブルーフロンエコ水性トップ	水性アクリルエマルション樹脂系(無機質系骨材入り)：環境対応型
ブルーフロン水性上塗シルバー		水性アクリルエマルション樹脂系	
ブルーフロンURトップコート		水性アクリルエマルション樹脂系(無機質系骨材入り)：環境対応型	
粘度調整・洗浄液		ブルーフロンシンナー	ブルーフロンバリュー、ブルーフロンバリューNS用
		ブルーフロンエコシンナー	ブルーフロンエコ、ブルーフロンエコMID、ブルーフロンエコNS、ブルーフロンエコ速乾、ブルーフロンエコ速乾NS、ユータックFエコ用
		ブルーフロンGRトップシンナー	ブルーフロンGRトップ各種用

	荷姿	備考	F☆☆☆☆ 登録番号
	20kgセット(主材：15.5kg、硬化液：4.5kg)	—	—
	20kg	NTカチオンタイトF 20kgセットに対し、7.5～10kg混合	—
	30kgセット(主材：20kg、硬化液：10kg)	—	—
	18kgセット(主材：13.5kg、硬化液：4.5kg)	—	—
	20kgセット(A液：4kg、B液：4kg、パウダー：12kg)	—	N03179
	20kg	—	N03202
	16kgセット(A液：14.4kg、B液：1.6kg)	—	N03105
	16.5kgセット(A液：15kg、B液：1.5kg)・1.1kgセット(A液：1kg、B液：0.1kg)	—	N03188
	18kgセット(A液：15kg、B液：3kg)	—	N03102
	8ℓセット(A液：4ℓ、B液：4ℓ)	—	N03106
	16kg、4kg	浸透タイプ	N03121
	16kg、4kg	速乾タイプ	N03124
	16kg	高粘度タイプ	—
	16kg	エコタイプ	N03141
	12kg	塩ビシート用プライマー	—
	16kg	速乾タイプ	N03071
	16kgセット(A液：8kg、B液：8kg)：リサイクル缶対応可	エコタイプ	N03138
	12kg	速乾タイプ	—
	16kg	層間プライマー	—
	18kgセット(主剤：6kg、硬化剤：12kg)：リサイクル缶対応可※	エコタイプ・ペール缶および角缶対応	N03139
	20kgセット(主剤：5kg、硬化剤：15kg)	ペール缶および角缶対応	N03174
	18kgセット(主剤：6kg、硬化剤：12kg)	エコタイプ・ペール缶および角缶対応	N03199
	18kgセット(主剤：6kg、硬化剤：12kg)	エコタイプ・ペール缶および角缶対応	N03185
	18kgセット(主剤：6kg、硬化剤：12kg)：リサイクル缶対応可※	エコタイプ・ペール缶および角缶対応	N03140
	20kgセット(主剤：5kg、硬化剤：15kg)	ペール缶および角缶対応	N03181
	18kgセット(主剤：6kg、硬化剤：12kg)	エコタイプ・ペール缶および角缶対応	N03200
	18kgセット(主剤：6kg、硬化剤：12kg)	エコタイプ・ペール缶および角缶対応	N03201
	390kgセット(A液：182kg、B液：200kg、トナー：8kg) 36kgセット(A液：18kg、B液：18kg) A液にトナーが混入されています。	専用機械使用	—
	390kgセット(A液：182kg、B液：200kg、トナー：8kg) 36kgセット(A液：18kg、B液：18kg) A液にトナーが混入されています。	超速硬化タイプ 専用機械使用	N03072
	20kgセット(A液：10kg、B液：10kg)	エコタイプ・ペール缶	JIS K 5970認証
	18kgセット(A液：15kg、B液：3kg)・6kgセット(A液：5kg、B液：1kg)	艶あり、遮熱タイプ	—
	18kgセット(A液：15kg、B液：3kg)・6kgセット(A液：5kg、B液：1kg)	艶あり	N03183
	16kgセット(A液：12kg、B液：4kg)	エコタイプ・艶あり	N03177
	18kgセット(A液：15kg、B液：3kg)・6kgセット(A液：5kg、B液：1kg)	艶あり	N03122
	14kgセット(A液：12kg、B液：2kg)	艶消しタイプ	—
	18kgセット(A液：15kg、B液：3kg)・6kgセット(A液：5kg、B液：1kg)	艶あり	JIS K 5970認証
	18kgセット(A液：15kg、B液：3kg)・6kgセット(A液：5kg、B液：1kg)	艶あり	JIS K 5970認証
	11kgセット(A液：10kg、B液：1kg)	エコタイプ・艶あり、遮熱タイプ	—
	11kgセット(A液：10kg、B液：1kg)	エコタイプ・艶あり	N03182
	20kg：リサイクル缶対応	エコタイプ・艶消し、防滑タイプ	N03145
	16kg	シルバー、非歩行タイプ	—
	20kg	エコタイプ・艶消し、防滑タイプ	—
	16ℓ、4ℓ	—	—
	16ℓ	エコタイプ	—
	16ℓ、4ℓ	—	—

※ブルーフロンエコリサイクル缶荷姿 18kgセット { 主剤：6kg(アルミパウチ2kg×3パック)  
硬化剤：12kg(回収ペール缶)

●容器回収工法のリサイクルペール缶は受注生産品のため、事前に最寄りの営業所にて納期確認を行なってください。

# ブルーフロンシリーズ製品一覧②

品種		品名	成分、組成、用途
補強布		ガラスクロスCAG60	平場用、立上がり用
		ブルーフロンW-1クロス	ソフトタイプ 平場用、立上がり用
		ブルーフロンソフトクロス	ソフトタイプ 平場用、立上がり用
		コルバック30H	ソフトタイプ 平場用、立上がり用
		ブルーフロン補強テープ	ソフトタイプのり付き
通気緩衝シート		ブルーフロンNT-FタックシートS	ガラス繊維強化改質アスファルト積層シート(接着剤コーティング自着層付き)
		ブルーフロンNT-FタックシートS突き付けタイプ	ガラス繊維強化改質アスファルト積層シート(接着剤コーティング自着層付き)耳なしタイプ
		ブルーフロンNT-Fシート	ポリエチレン繊維+発泡ポリエチレン
		ブルーフロンNT-Fシート#2	ポリエチレン繊維
		ブルーフロンNT-Fシート#2(フィルム付き)	ポリエステルフィルム付きポリエチレン繊維
		ブルーフロンNT-Fパンチシート	ポリエチレン繊維
通気緩衝シート用ボンド	溶剤系	ブルーフロンNT-Fボンド	クロロプレンゴム樹脂系
	無溶剤系	ブルーフロンNT-FエコボンドH	無溶剤1液ウレタン樹脂系：環境対応型
	溶剤系	ブルーフロンNT-FタックシートS用ボンド	湿気硬化型1液ウレタン樹脂系
		ブルーフロンエコボンド	湿気硬化型TXフリー1液ウレタン樹脂系：環境対応型
	水系	ブルーフロンNT-F水性ボンド	水性アクリルエマルション樹脂系：環境対応型
	ブルーフロンエコ水性ボンド ホワイト	2液水性エポキシ樹脂系：環境対応型	
補助剤		ミルコンMS-2(ダレ止め剤)	環境対応型増粘剤
		液状ダレ止め剤	粘度調整用液状添加剤
		ブルーフロンエコ専用硬化促進剤	防水用硬化促進剤：環境対応型
		ブルーフロンエコ速乾専用硬化促進剤	防水用硬化促進剤：環境対応型
		ウレタンゴム用硬化促進剤	防水層用硬化促進剤
		ブルーフロン溶剤系トップコート硬化促進剤	2液溶剤型トップコート用硬化促進剤
		エストップ#20	防滑仕上げ用軽量チップ
		NTマイクロ骨材	防滑仕上げ用軽量骨材
	ブルーフロンチップ	防滑仕上げ用軽量チップ	
副資材		ブルーフロンNT-FタックテープS	ブルーフロンNT-FタックシートS用ジョイントテープ
		ブルーフロンNT-Fジョイントテープ	ブルーフロンNT-Fシート用ジョイントテープ
		ブルーフロンNT-FジョイントテープPET	ブルーフロンタックシートS、ブルーフロンNT-F#2シート(フィルム付き)用ジョイントテープ
		ブルーフロンNT-F端末テープS	ブルーフロンNT-FタックシートS用端末処理用テープ
		NTブチルテープ	ブチルゴム製粘着層付き緩衝用テープ
		NT水切りテープ	水切りのないアゴ下用テープ
		ブルーフロン防水材用トナー	各種防水材用着色トナー：環境対応型
		アルミキャント40	入隅用押さえアルミ金具
		端末プレート	端末用押さえアルミ金具
		キャントプレートアンカー40	アルミキャント用アルミ製アンカー
		メカニカルアンカー40	ブルーフロンNT-FタックシートS用機械固定用アルミ製アンカー
		メカニカルアンカー70	ブルーフロンNT-FタックシートS用機械固定用アルミ製アンカー
		メカニカルアンカー100	ブルーフロンNT-FタックシートS用機械固定用アルミ製アンカー
		ステンレス脱気筒	脱気装置
		ステンレス脱気筒 コア付き	脱気装置(コア付き)
		脱気盤	脱気装置
		鉛改修ドレン	改修用ドレンφ70、φ100
		鉛ドレン用蛇腹	改修ドレンφ70用、φ100用蛇腹
		目皿	タテ型、ヨコ型
		ブルーフロン断熱材	軟質断熱材 発泡ポリエチレンフォーム
	ブルーフロン硬質断熱材	硬質断熱材 発泡ポリウレタンフォーム	
	ビニルキャップ	塩化ビニル樹脂製金属屋根ボルトキャップ	



荷姿	備考	F☆☆☆☆ 登録番号
幅1.04m×長さ100m/巻	—	—
幅1.04m×長さ100m/巻	—	—
幅1.0m×長さ50m/巻	—	—
幅1.04m×長さ100m/巻	—	—
幅0.14m×長さ50m/巻、幅0.2m×長さ50m/巻、幅0.3m×長さ50m/巻、幅0.5m×長さ50m/巻	—	—
厚さ1.4mm×幅1.04m×長さ15.7m/巻(15㎡分)	自着層付きタイプ	—
厚さ1.4mm×幅1.0m×長さ15m/巻(15㎡分)	自着層付き、突き付けタイプ	—
厚さ3.0mm×幅1.15m×長さ30m/巻(34.5㎡分)	—	—
厚さ1.4mm×幅1.0m×長さ25m/巻(25㎡分)	—	—
厚さ1.4mm×幅1.0m×長さ25m/巻(25㎡分)	フィルム付き	—
厚さ1.4mm×幅1.0m×長さ50m/巻(50㎡分)	穴あきタイプ	—
15kg	両面タイプ	—
10kg	片面タイプ、エコタイプ	N03184
16kg	片面タイプ	—
16kg	片面タイプ、エコタイプ	—
18kg	片面タイプ、エコタイプ	N03203
16kgセット(A液：8kg、B液：8kg)	片面タイプ、エコタイプ	—
5kg	エコタイプ	—
15kg、4kg	—	—
4kg、1kg	エコタイプ	—
1kg	エコタイプ	—
20kg、4kg	—	—
1kg	—	—
12kg	—	—
1kg	—	—
12kg	UR都市機構・バルコニー床等防水工法用	—
幅30mm×長さ50m/巻 1本単位	—	—
幅50mm×長さ50m/巻 1本単位	—	—
幅50mm×長さ50m/巻 1本単位	—	—
幅75mm×長さ25m/巻 1本単位	—	—
幅50mm×長さ20m/巻、幅100mm×長さ20m/巻 各1本単位	—	—
幅50mm×長さ50m/巻 1本単位	—	—
500g 1個単位	色相：レッド、ブルー、エコタイプ	—
幅30-40-30mm×長さ2m×厚さ0.8mm 20本/箱	10穴/本	—
幅30mm×長さ2m×厚さ3.3mm 20本/箱	5穴/本	—
つば13mm×長さ40mm 500本/箱	—	—
つば30mm×長さ40mm 500本/箱	—	—
つば30mm×長さ70mm 500本/箱	—	—
つば30mm×長さ100mm 500本/箱(受注生産)	—	—
台座190×194mm φ90×高さ194mm 2個/箱	50～100㎡に1カ所	—
コア：台座140×140×高さ174mm、脱気筒：台座φ190×高さ194mm 2組セット単位	—	—
盤235×173mm φ185×高さ12mm 5個/箱	50～100㎡に1カ所	—
1個単位(詳細な荷姿は54ページをご参照ください)	縦、横引き共通	—
1個単位(詳細な荷姿は54ページをご参照ください)	—	—
—(詳細な荷姿は54ページをご参照ください)	—	—
—(詳細な荷姿は54ページをご参照ください)	PD工法[断熱・遮熱工法]用シート	—
—(詳細な荷姿は54ページをご参照ください)	PKD工法[機械的固定・断熱・遮熱工法]用シート	—
M8、M10	—	—

## 「ブルーロン防水工法」をご採用いただいたお施主様へ (取り扱いとメンテナンスのお願い)

ブルーロン各種材料は、液状のウレタンゴムを塗布して化学反応により硬化し、防水層を形成するシステムです。

硬化した防水層は柔軟性があり、その上を歩行することが可能です。

### ■防水工事施工中のご注意

- 防水工事の施工現場・足場内・資材置き場などは危険が伴うため、立ち入らないでください。
- 防水材料、洗浄材料には有機溶剤を含有している物もありますので、材料や工具には近寄ったり、手を触れたりしないでください。また、施工中は臭気が発生する場合もあるため、その期間中は窓を閉める等、できるだけ作業外気との接触を避けるようご協力をお願いいたします。
- ブルーロンの各種防水材、仕上げ塗料は、塗布後硬化、乾燥するまで養生が必要です。硬化・乾燥前のブルーロン各種防水層に水をこぼしたり、物を置いたり、歩行したりしないでください。

### ■メンテナンスのお願い

- 防水層に苔・草などを生やさないようにしてください。
- 側溝、ドレン周辺に土砂等が蓄積しないよう、定期的に取り除いてください。
- 防水層の端末・排水ドレン周辺は、半年ごとに点検を実施し、異常があった場合はご相談ください。
- 防水層の仕上げ塗料は、定期的な塗り替えをお勧めします。
- 防水層の点検・補修・仕上げ塗料の再塗装を行なう場合は、専門業者へ依頼してください(有償)。

### ■ウレタン塗膜防水材ご使用上の注意事項

- ①防水層は可燃物ですので、火気は絶対に使用しないでください。また、煙草の吸殻の投げ捨てや花火なども厳禁です。
- ②防水層の上にガソリンや溶剤、不凍液などをこぼした際は直ちに除去してください。防水層が軟化し、フクレや剥離が生じます。
- ③防水層の上に人工芝を施工することはお勧めいたしません。ご使用になる場合は「置き式」の方法をお願いします。
- ④防水層の上で重い箱などを引きずったり、角の鉄材などの損傷を与える物を落とさないでください。防水層の剥離や損傷を受けます。
- ⑤防水層の上では、防水層を損傷する恐れのある履物(ハイヒールやスパイクシューズなど)での歩行はしないでください。
- ⑥防水層の上に椅子やテーブルなどを置く場合、脚をゴムキャップなどで保護してください。また、長期間にわたり重量物を設置する場合は養生ゴム板(3mm程度)や角を丸くしたベニア板などを下に敷いてください。同様に高熱を発する器具や物などを直接設置しないでください。また、カッターなどの鋭利なもので

- 傷をつけないでください。
- ⑦防水層の上でゴルフの練習や一輪車、ローラースケートなどの練習は止めてください。クラブや車輪で防水層を傷つける恐れがあります。
- ⑧防水層の一般的な汚れの清掃の際は中性洗剤(クレンザーは不可)を使用の上、モップなどで行なってください。また、清掃の際には水で濡れていますので、スリップなどによる転倒事故に充分注意してください。
- ⑨防水層の上に醤油や酢などをこぼした場合は床面に染みつきやすいので、直ちに拭き取って水洗いを行なってください。
- ⑩防水層の上にマジックインキなどの油性筆記具で書かないでください(防水層面に染みつきやすく取れません)。また、防水層の上では塗料や強いアルカリ性や酸性の薬剤、洗剤は使用しないでください。
- ⑪防水層の上で犬や鶏などの家畜を飼育しないでください。
- ⑫クーリングタワーの防藻剤や殺菌剤などの種類によっては、防水層に損傷を与えますので注意してください。

## 「ブルーロンシリーズ」取り扱い上の注意事項 (よく読んでご使用ください)

- 火気のあるところでは、絶対に使用しないでください。
- 万一、火災が発生した場合は炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。水は使用しないでください。
- ブルーロンバリュー、ブルーロンバリューNS、ブルーロンエコ、ブルーロンエコ目止材、ブルーロンエコNS、ブルーロンエコ速乾、ブルーロンエコMID、ブルーロンエコ速乾NS、ユータックFエコは主剤・硬化剤(A液、B液)を混合し、容器中にそのまま放置しますと急激に発熱し、危険な状態になることがありますので、仕様書の手順を守ってください。
- 施工中、乾燥中ともに換気を充分に行ない、ミストや蒸気を吸い込まないようにしてください。
- 取り扱い中は皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、手袋および前掛けなどの保護具を着用してください。
- 取り扱い作業中、容器からこぼれないよう注意してください。こぼれた場合は、直ちに布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 塗料の付着した布やウエスなどは自然発火や引火の危険性があるため、廃棄するまで水につけておいてください。
- 容器はつり上げないでください。止むを得ずつり上げるときには、適切な

- つり具で垂直に持ち上げ、落下に充分注意してください(偏荷重になると取っ手が外れ、落下する危険性があります)。
- 取り扱い後は手洗いおよびうがいを充分に行なってください。
- 目に入った場合は多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合はできるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 材料が皮膚に付着し、痛みや外観変化があるときは、医師の診察を受けてください。
- 蒸気やガスを吸い込んで気分が悪くなった場合は空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じ医師の診察を受けてください。
- 保管は必ずフタをして、直射日光の当たらない場所に保管してください(水系塗料は凍結を避けてください)。
- 子供の手の届かないところに保管してください。
- 中身を使いきってから廃棄してください。また、廃液・汚泥などは関係法規に基づき、自社で適正に処理するか、産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。
- 詳細な内容が必要な場合は警告ラベル、または化学物質等安全データシート(MSDS)をご参照ください。

### ■ブルーロンシリーズの施工上・取り扱い上の注意事項

- ①推奨施工温度は10~30℃です。高温・高湿下、もしくは気温が5℃未満の場合での施工は避けてください。
- ②下地のレイタンス、砂、ほこり、ゴミは完全に除去してください。
- ③ブルーロン防水層の液相分離が見られる場合は、攪拌機を使用し充分に攪拌してください。

- ④降雨や降雪が予想される場合は、施工を行なわないでください。
- ⑤ブルーロン各種の開封後は当日中に使用してください。
- ⑥下地に巣穴がある場合はピンホールが発生する場合があります。適切な下地処理を行なってください。
- ⑦冬季は硬化速度が遅くなります。施工間隔は充分に注意してください。

\* 製品改良のため、仕様などを予告なしに変更することもあります。ご了承ください。

【その他、ご不明な点がございましたら、最寄りの営業所へお問い合わせください】

## 日本特殊塗料株式会社

### ■お問い合わせ先

東京営業所 〒114-8584 東京都北区王子5-16-7

☎(03)3913-6203 FAX(03)3913-6323

平塚営業所 〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10

☎(0463)23-2135 FAX(0463)23-3739

名古屋営業所 〒472-0006 愛知県知立市山町東並木12

☎(0566)81-8111 FAX(0566)81-8124

大阪営業所 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-28-10

☎(06)6386-8492 FAX(06)6338-3560

広島営業所 〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13

☎(082)423-8231 FAX(082)423-8256

福岡営業所 〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726

☎(0942)89-5766 FAX(0942)89-5762

●日本特殊塗料ホームページ <http://www.ntonory.co.jp/>

### ■代理店